

峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町

合 併 協 議 会

第 4 回新市建設計画策定小委員会

日時 : 平成 1 4 年 7 月 1 7 日(水)

場所 : 丹後町役場 会議室

## 次 第

### 1 開会

### 2 議題

( 1 ) 報告第 1 号 「新しいまちの建設計画策定のための住民意識調査結果報告」  
について

( 2 ) 協議第 1 号 新市建設計画について  
・「 2 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町の現況」  
( 修正について )  
・「 3 6 町合併の必要性」

( 3 ) 協議第 2 号 新市建設計画における財政計画策定の考え方について

( 4 ) 次回の議題について  
新市建設計画について  
その他

( 5 ) 次回の小委員会の日程等  
第 5 回新市建設計画策定小委員会  
日程 平成 1 4 年 8 月 2 0 日(火) 午後 1 時 3 0 分  
場所 弥栄町役場 2 階会議室

### 3 その他

**報告第1号**

報告第1号

「新しいまちの建設計画策定のための住民意識調査結果  
報告」について

新しいまちの建設計画策定のための

# 住民意識調査結果報告

---

## 目次

1	一般意識調査結果	
1.1	概要	1
1.2	地域の将来像	4
1.3	まちの現状評価	8
1.4	将来望まれる施策	14
1.5	合併への期待	18
1.6	合併への不安	22
1.7	自由記述	26
2	高校生意識調査結果	
2.1	概要	27
2.2	高校卒業後の進路	29
2.3	定住意向	30
2.4	将来望まれる施策	35
2.5	地域の将来像	39
2.6	地域の自慢と誇り	43
2.7	自由記述	46
3	調査票	
3.1	一般意識調査	47
3.2	高校生意識調査	51

---

# 1 一般意識調査結果

## 1.1 概要

### (1) 調査目的

6町の将来の方向性や地域の現状、合併に対する意識等について、住民の方々の意向を把握し、合併の協議・検討や建設計画策定のための基礎的資料を得ることを目的として、一般意識調査を実施した。

### (2) 実施概要

実施にあたっては、6町全体、各町別、年代別の傾向等を把握するため、次のとおり人口比や年齢構成比等を勘案し、各町の住民基本台帳をもとに無作為に抽出、郵送により配布、回収を行った。

	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	備考
人口	13,564	10,805	16,056	7,164	6,132	11,857	65,578 H12国調人口
配布数	1,450	1,140	1,710	780	640	1,280	7,000

統計学上、有意な分析を行うには、対象者(20歳以上51,521人)の5%約2,600票回収できれば十分とされ、本調査においては十分な票数が確保されている。また、回収された票における各町の人口構成比、年齢構成においても偏りはなかった。

- 調査日：平成14年5月(5月15日発送、5月27日締め切り)
- 配布回収状況

配布数：7,000票

有効回収数：3,251票

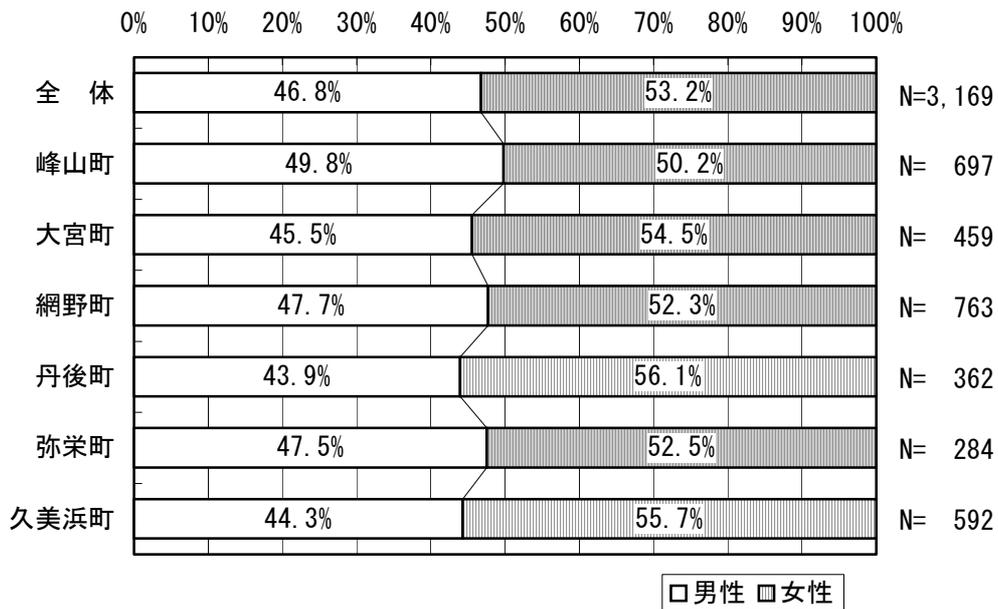
回収率：46.4%

### (3) 回答者の属性

【問1】あなたのお住まいはどちらですか。

	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	無回答	全体
回収数	716	468	771	367	289	599	41	3,251

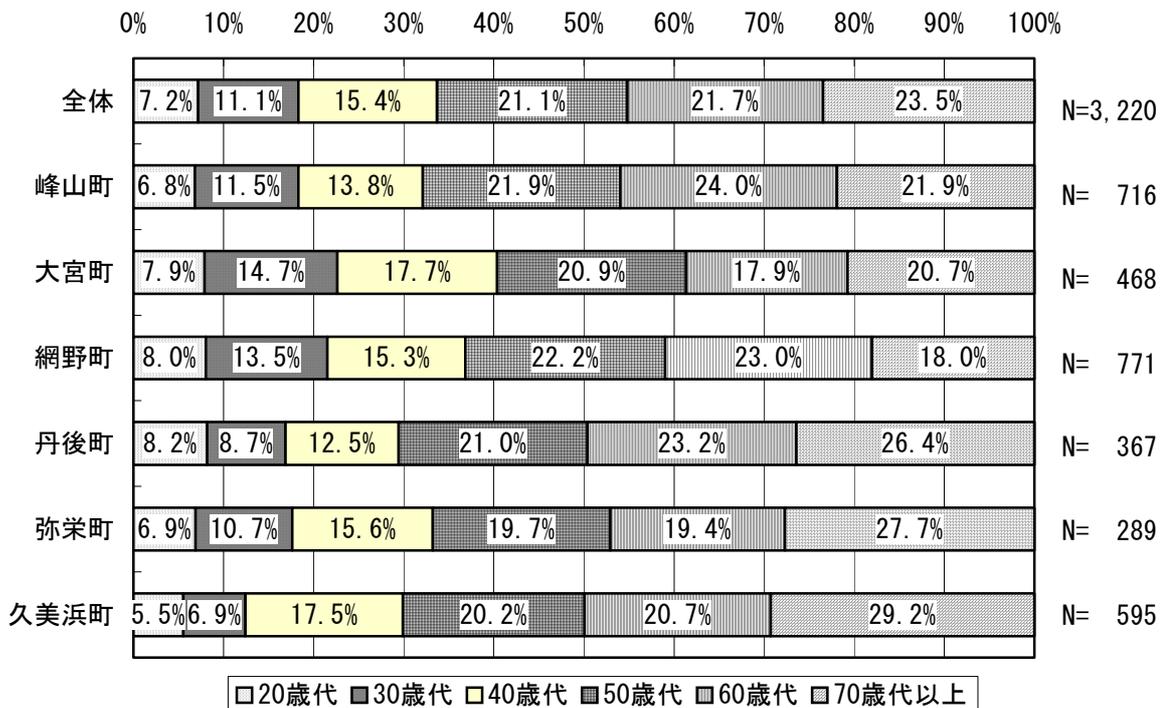
【問2】あなたの性別はどちらですか。



問2 性別

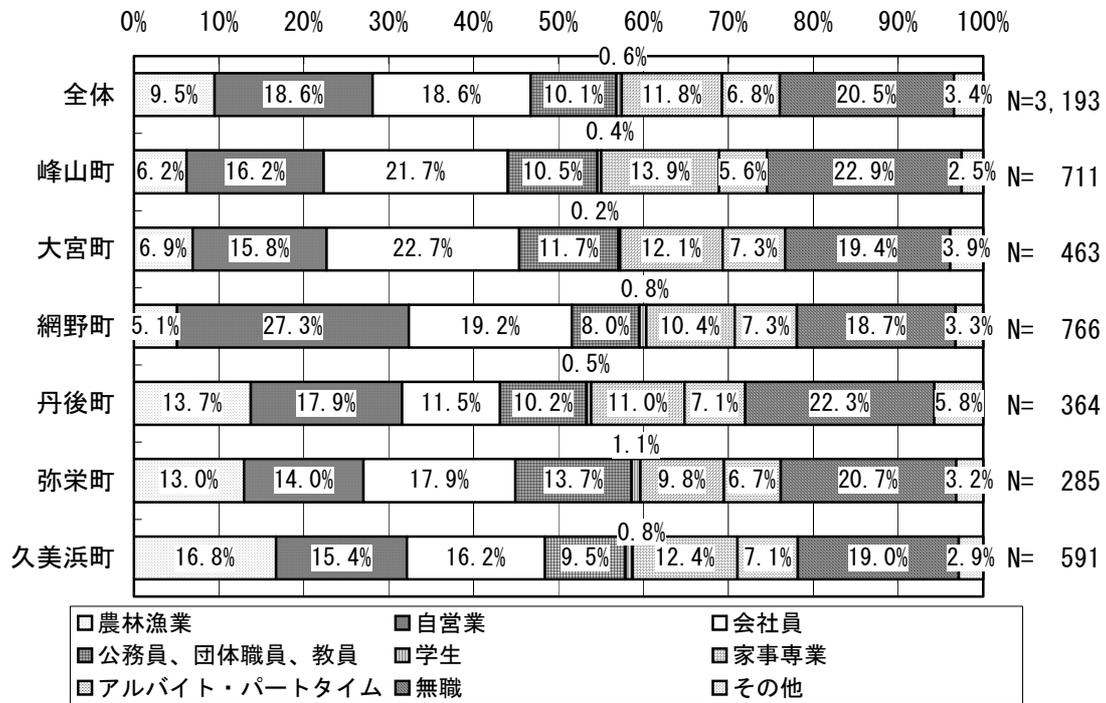
※N は当該質問に対する有効回答総数（以下同様）を表し、町別の総数と全体と一致しない場合がある。

【問3】あなたの年齢はどれにあたりますか。



問3 年齢構成

【問4】あなたの職業は次のうちどれにあたりますか。（1つに を付けてください。）



問4 職業

## 1.2 地域の将来像

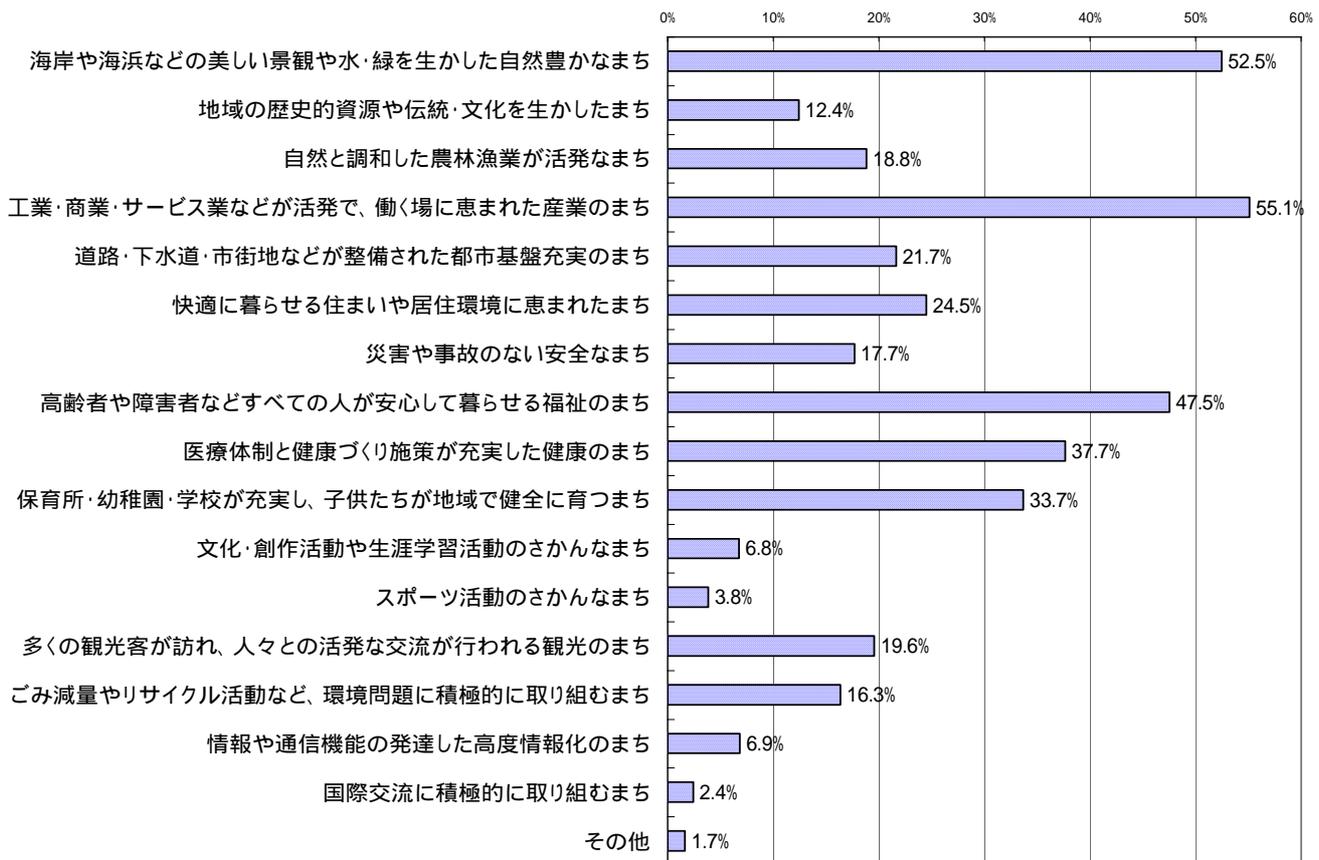
【問 5】丹後 6 町は将来的にどのようなまちになっていけばよいと思われますか。以下の中から 4 つ以内で を付けてください。

### 【全体の傾向】

全体では、「工業・商業・サービス業などが活発で、働く場に恵まれた産業のまち」（選択率（以下同様）55.1%）、「海岸や海浜などの美しい景観や水・緑を生かした自然豊かなまち」（52.5%）への意向が高く、50%以上の割合を示している。

続いて、「高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせる福祉のまち」（47.5%）、「医療体制と健康づくり施策が充実した健康のまち」（37.7%）、「保育所・幼稚園・学校が充実し、子供たちが地域で健全に育つまち」（33.7%）が高くなっている。

N=3, 120



問 5 地域の将来像

### 【町別の傾向】

町別では、「工業・商業・サービス業が活発で働く場に恵まれた産業のまち」が峰山町（62.6%）及び大宮町（54.1%）で最も高くなっている。網野町でも60%以上を占め、各町で高い割合を示している。

網野町、丹後町、久美浜町では「海岸や海浜などの美しい景観や水・緑を生かした自然豊かなまち」が最も高く地域の特性を反映している。弥栄町では「高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせる福祉のまち」が最も高くなっている。

### 【年代別の傾向】

年代別では、20歳代、40歳代において、「海岸や海浜などの美しい景観や水・緑を生かした自然豊かなまち」が、30歳代では「保育所・幼稚園・学校が充実し、子供たちが地域で健全に育つまち」が最も高く、50歳代、60歳代では「工業・商業・サービス業などが活発で、働く場に恵まれた産業のまち」が最も高くなっている。70歳以上では、「高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせる福祉のまち」が最も高く、この項目の選択率及び順位は、年代が上がるにつれて高くなる傾向にある。

項目の選択率及び順位は各年代別の関心事が反映されている。

問 5 地域の将来像

(上位3位)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位	
全 体		工業・商業・サービス業が活発で働く場に恵まれた産業のまち	海岸や海浜などの美しい景観や水・緑を生かした自然豊かなまち	高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせる福祉のまち	
		55.1%	52.5%	47.5%	
町別	峰山町	工業・商業・サービス業が活発で働く場に恵まれた産業のまち	高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせる福祉のまち	海岸や海浜などの美しい景観や水・緑を生かした自然豊かなまち	
		62.6%	47.0%	41.4%	
	大宮町	工業・商業・サービス業が活発で働く場に恵まれた産業のまち	高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせる福祉のまち	保育所・幼稚園・学校が充実し、子供たちが地域で健全に育つまち	
		54.1%	50.4%	44.3%	
	網野町	海岸や海浜などの美しい景観や水・緑を生かした自然豊かなまち	工業・商業・サービス業が活発で働く場に恵まれた産業のまち	高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせる福祉のまち	
		63.8%	63.0%	41.3%	
	丹後町	海岸や海浜などの美しい景観や水・緑を生かした自然豊かなまち	工業・商業・サービス業が活発で働く場に恵まれた産業のまち	高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせる福祉のまち	
		67.1%	50.8%	48.3%	
	弥栄町	高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせる福祉のまち	工業・商業・サービス業が活発で働く場に恵まれた産業のまち	海岸や海浜などの美しい景観や水・緑を生かした自然豊かなまち	
		57.0%	55.6%	42.3%	
	久美浜町	海岸や海浜などの美しい景観や水・緑を生かした自然豊かなまち	高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせる福祉のまち	工業・商業・サービス業が活発で働く場に恵まれた産業のまち	
		61.7%	52.0%	43.3%	
	年代別	20代	海岸や海浜などの美しい景観や水・緑を生かした自然豊かなまち	工業・商業・サービス業が活発で働く場に恵まれた産業のまち	快適に暮らせる住まいや居住環境に恵まれたまち
			61.5%	42.5%	38.1%
		30代	保育所・幼稚園・学校が充実し、子供たちが地域で健全に育つまち	工業・商業・サービス業が活発で働く場に恵まれた産業のまち	海岸や海浜などの美しい景観や水・緑を生かした自然豊かなまち
			54.0%	52.0%	51.4%
		40代	海岸や海浜などの美しい景観や水・緑を生かした自然豊かなまち	工業・商業・サービス業が活発で働く場に恵まれた産業のまち	高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせる福祉のまち
			59.0%	56.4%	37.6%
50代		工業・商業・サービス業が活発で働く場に恵まれた産業のまち	海岸や海浜などの美しい景観や水・緑を生かした自然豊かなまち	高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせる福祉のまち	
		66.7%	56.7%	43.2%	
60代		工業・商業・サービス業が活発で働く場に恵まれた産業のまち	高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせる福祉のまち	海岸や海浜などの美しい景観や水・緑を生かした自然豊かなまち	
		58.1%	55.6%	51.4%	
70代以上		高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせる福祉のまち	工業・商業・サービス業が活発で働く場に恵まれた産業のまち	海岸や海浜などの美しい景観や水・緑を生かした自然豊かなまち	
		65.6%	49.6%	45.8%	

【その他】

その他の項目として、産業の育成に関すること、地域特性（自然）を活かしたまちづくりについて記述があったが、選択項目の補足的なものであった。

「その他」の主なもの

意見の内容
産業の育成と雇用の確保
地域の特性を活かしたまちづくり
自然を活かした（残した）まちづくり

### 1.3 まちの現状評価

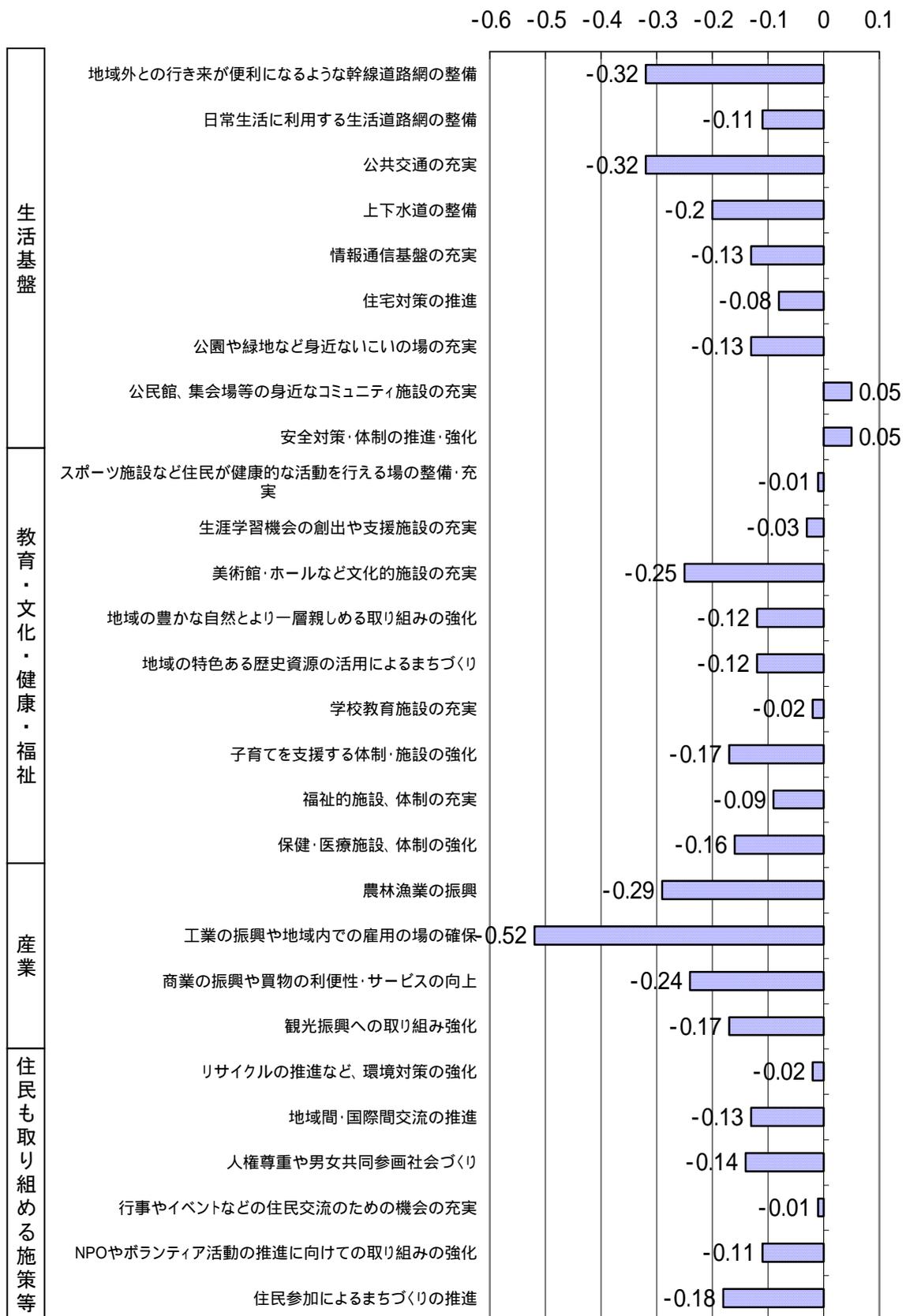
【問6】現在のあなたのまちの現状について、どのように感じていますか。下記の各項目についてその満足度を1～5のうちから1つだけ を付けて下さい。

現状の評価の分析にあたっては、評価を平均得点化して、順位付けを行った。平均得点化はそれぞれの回答割合について、「大変満足×(+1.0)」「やや満足×(+0.5)」「どちらともいえない×(±0.0)」「やや不満×(-0.5)」「大変不満×(-1.0)」の合計値として算出した。

#### 【全体の傾向】

全体では、「公民館、集会場等の身近なコミュニティ施設の充実」、「安全対策・体制の推進・強化」を除くすべての項目が、マイナスポイントとなっている。

「地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備」及び「公共交通の充実」( 0.32)、「農林漁業の振興」( 0.29)、特に「工業の振興や地域内での雇用の場の確保」( 0.52)の評価が低くなっており、雇用状況の厳しさがうかがえる。



問 6 まちの現状評価

### 【町別の傾向】

町別においても、得点がプラスとなる項目が少なく、また、プラスの項目であっても、非常に低い値となっている。その中で、弥栄町においては「上下水道の整備」(0.61)、「保健・医療施設、体制の強化」(0.23)、「安全対策・体制の推進・強化」(0.21)となっている。

すべての町において「工業の振興や地域内での雇用の場の確保」が最も評価の低い項目となっている。これ以外の項目については、各町ばらつきがみられるが、「公共交通の充実」、「地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備」といった交通基盤に関する項目や「農林漁業の振興」といった項目の満足度が低くなっている。

### 【年代別の傾向】

年代別においても、得点がプラスとなる項目は少なく、特に評価の高い項目もみられない。特に30歳代ではプラスの項目は全くみられない。

評価の低い項目としては、「工業の振興や地域内での雇用の場の確保」がすべての年代にわたって最も低くなっている。また、70歳以上を除き、「地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備」や「公共交通の充実」といった交通基盤に関する項目への評価が共通して低くなっている。

問 6 まちの現状評価

評価点がプラスの上位3項目(0を超える項目を対象)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位	
全 体		安全対策・体制の推進、強化 (防災、交通安全、消防体制の 充実) 0.05			
町別	峰山町	スポーツ施設など住民が健康的な活動を行える場の整備・充実 0.14	安全対策・体制の推進、強化 (防災、交通安全、消防体制の 充実) 0.13	生涯学習機会の創出や支援施設(図書館など)の充実 0.11	
	大宮町	公民館、集会場等の身近なコミュニティ施設の充実 0.04	日常生活に利用する生活道路網の整備 0.01		
	網野町	生涯学習機会の創出や支援施設(図書館など)の充実 0.09	公民館、集会場等の身近なコミュニティ施設の充実 0.04	安全対策・体制の推進、強化 (防災、交通安全、消防体制の 充実) 0.02	
	丹後町	公民館、集会場等の身近なコミュニティ施設の充実 0.11	安全対策・体制の推進、強化 (防災、交通安全、消防体制の 充実) 0.04	学校教育施設の充実 0.02	
	弥栄町	上下水道の整備 0.61	保険・医療施設、体制の強化 (病院、健康相談の充実など) 0.23	安全対策・体制の推進、強化 (防災、交通安全、消防体制の 充実) 0.21	
	久美浜町	行事やイベントなどの住民交流のための機会の充実 0.03			
	年代別	20代	安全対策・体制の推進、強化 (防災、交通安全、消防体制の 充実) 0.06	公民館、集会場等の身近なコミュニティ施設の充実 0.04	リサイクルの推進など、環境対策の強化 0.02
		30代	評価点がプラスの項目なし		
		40代	安全対策・体制の推進、強化 (防災、交通安全、消防体制の 充実) 0.01		
		50代	公民館、集会場等の身近なコミュニティ施設の充実 0.07	安全対策・体制の推進、強化 (防災、交通安全、消防体制の 充実) 0.05	スポーツ施設など住民が健康的な活動を行える場の整備・充実 0.02
		60代	公民館、集会場等の身近なコミュニティ施設の充実 0.07	安全対策・体制の推進、強化 (防災、交通安全、消防体制の 充実) 0.06	学校教育施設の充実 0.05
		70代以上	安全対策・体制の推進、強化 (防災、交通安全、消防体制の 充実) 0.13	公民館、集会場等の身近なコミュニティ施設の充実 0.12	スポーツ施設など住民が健康的な活動を行える場の整備・充実 0.10

問 6 まちの現状評価

評価点がマイナスの上位3項目(0に満たない項目を対象)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全 体		工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保 -0.52	公共交通の充実(鉄道・バス路線の整備、便数の増加など) -0.32	農林漁業の振興(生産基盤の整備、後継者育成など) -0.29
町別	峰山町	工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保 -0.44	公共交通の充実(鉄道・バス路線の整備、便数の増加など) -0.31	農林漁業の振興(生産基盤の整備、後継者育成など) -0.30
	大宮町	工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保 -0.53	保険・医療施設、体制の強化(病院、健康相談の充実など) -0.30	農林漁業の振興(生産基盤の整備、後継者育成など) -0.28
	網野町	工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保 -0.61	上下水道の整備 -0.47	地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備 -0.44
	丹後町	工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保 -0.54	公共交通の充実(鉄道・バス路線の整備、便数の増加など) -0.40	農林漁業の振興(生産基盤の整備、後継者育成など) -0.33
	弥栄町	工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保 -0.48	公共交通の充実(鉄道・バス路線の整備、便数の増加など) -0.29	農林漁業の振興(生産基盤の整備、後継者育成など) -0.26
	久美浜町	工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保 -0.52	美術館・ホールなど文化的施設の充実 -0.48	地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備 -0.41
	年代別	20代	工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保 -0.47	公共交通の充実(鉄道・バス路線の整備、便数の増加など) -0.45
30代		工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保 -0.51	地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備 -0.39	公共交通の充実(鉄道・バス路線の整備、便数の増加など) -0.36
40代		工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保 -0.53	地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備 -0.40	公共交通の充実(鉄道・バス路線の整備、便数の増加など) -0.39
50代		工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保 -0.58	地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備 -0.40	農林漁業の振興(生産基盤の整備、後継者育成など) -0.34
60代		工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保 -0.54	農林漁業の振興(生産基盤の整備、後継者育成など) -0.31	地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備 -0.28
70代以上		工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保 -0.46	農林漁業の振興(生産基盤の整備、後継者育成など) -0.31	美術館・ホールなど文化的施設の充実 -0.24

【その他】

その他の項目として、以下のような意見があげられた。

「その他」の主なもの

役所の対応が遅い
税金の無駄使いが目立つ（利用もしないホールや施設）
公務員の自発的なボランティア活動への参加が少ない

#### 1.4 将来望まれる施策

【問6】また、丹後6町の将来のまちづくりをすすめるにあたって、どのような施策が重要だと思われますか。重要とお考えになる項目について5つ以内でを付けてください。

##### 【全体の傾向】

全体では、「工業の振興や地域内での雇用の場の確保」（選択率（以下同様）49.2%）が最も高い。続いて「地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備」（42.1%）、「福祉的施設、体制の充実」（34.5%）、「保健・医療施設、体制の強化」（34.5%）といった項目が高い割合を示している。

##### 【町別の傾向】

町別にみると、久美浜町以外では「工業の振興や地域内での雇用の場の確保」が最も高く、約50%の割合を得ている。久美浜町においては、「地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備」（43.3%）が最も高い割合を示しているが、網野町（47.2%）、丹後町（45.6%）ではこの項目について、久美浜町以上に高い割合を示している。

また、「福祉的施設、体制の充実」が、すべての町において30%以上、「保健・医療施設、体制の強化」が、丹後町、久美浜町を除いて30%以上の高い割合を示している。

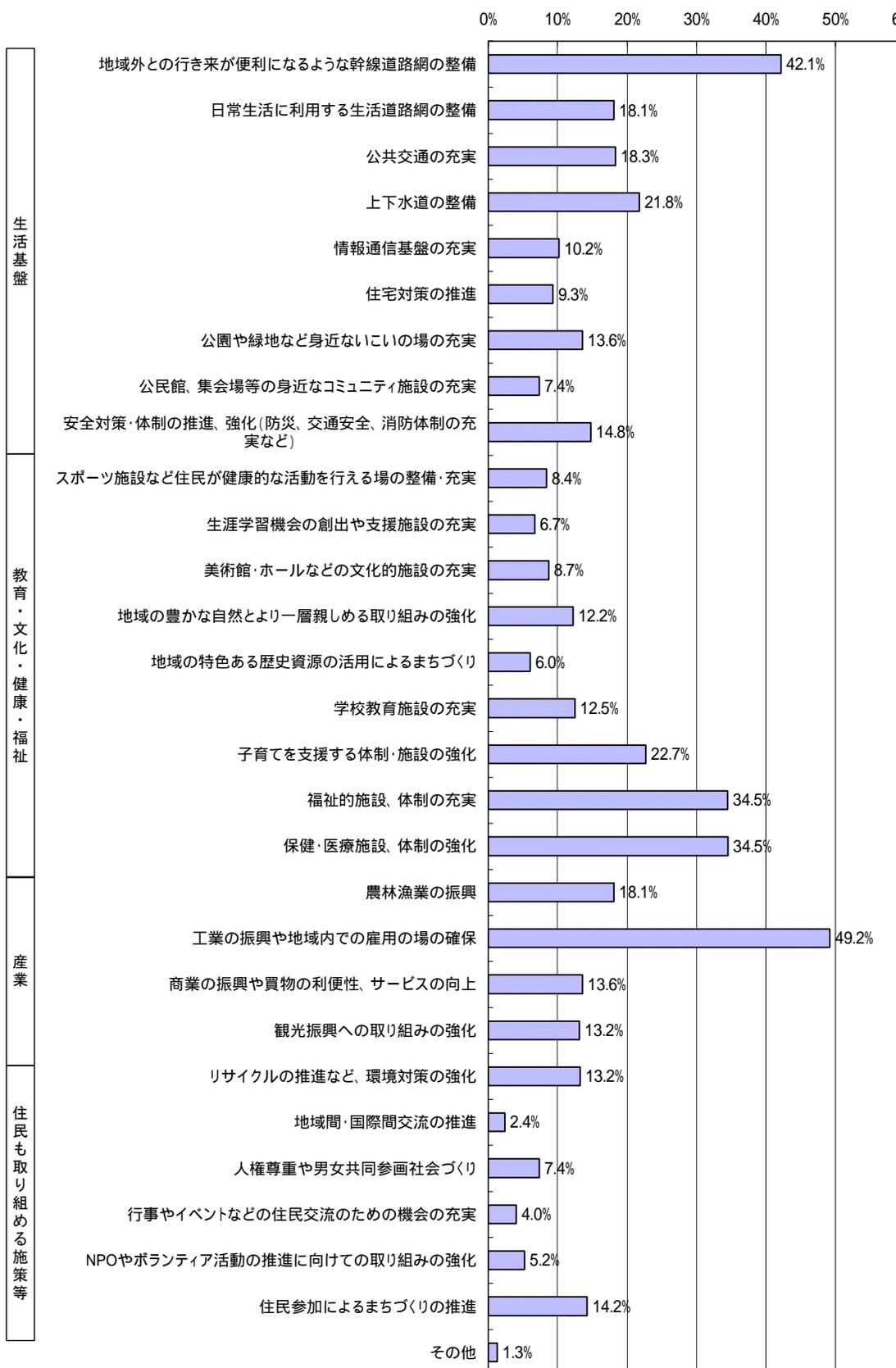
##### 【年代別の傾向】

年代別では、30～60歳代では「工業の振興や地域内での雇用の場の確保」が最も高く、特に50歳代では60%以上の割合を示している。

「地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備」については、70歳以上を除いて40%程度の割合を示しており、特に20歳代はこの項目が最も高い割合を示している。

「福祉的施設、体制の充実」については、70歳代以上で最も高い割合を示しており、この傾向は高年齢層になるに従って高い順位を示している。

また、「保健・医療施設、体制の強化」についても、各年代にわたって要望が高い項目となっている。



問 6 将来望まれる施策

問 6 将来望まれる施策

全 体	工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保	地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備	保健・医療施設、体制の強化(病院、健康相談の充実など)	子育てを支援する体制・施設の強化	上下水道の整備		
	49.2%	42.1%	34.5%	22.7%	21.8%		
町別	峰山町	工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保	保健・医療施設、体制の強化(病院、健康相談の充実など)	地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備	福祉的施設、体制の充実(老人・障害者施設の整備、高齢者対策など)	子育てを支援する体制・施設の強化	
		51.5%	39.7%	39.4%	35.7%	22.7%	
	大宮町	工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保	保健・医療施設、体制の強化(病院、健康相談の充実など)	地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備	福祉的施設、体制の充実(老人・障害者施設の整備、高齢者対策など)	子育てを支援する体制・施設の強化	
		49.1%	38.1%	35.4%	33.0%	31.9%	
	網野町	工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保	地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備	保健・医療施設、体制の強化(病院、健康相談の充実など)	上下水道の整備	福祉的施設、体制の充実(老人・障害者施設の整備、高齢者対策など)	
		53.2%	47.2%	40.1%	33.5%	32.7%	
	丹後町	工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保	地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備	福祉的施設、体制の充実(老人・障害者施設の整備、高齢者対策など)	農林漁業の振興(生産基盤の整備、後継者育成など)	保健・医療施設、体制の強化(病院、健康相談の充実など)	
		51.2%	45.6%	32.2%	26.9%	26.1%	
	弥栄町	工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保	地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備	福祉的施設、体制の充実(老人・障害者施設の整備、高齢者対策など)	保健・医療施設、体制の強化(病院、健康相談の充実など)	農林漁業の振興(生産基盤の整備、後継者育成など)	
		50.0%	41.1%	37.7%	30.5%	23.7%	
	久美浜町	地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備	工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保	福祉的施設、体制の充実(老人・障害者施設の整備、高齢者対策など)	日常生活に利用する生活道路網の整備	保健・医療施設、体制の強化(病院、健康相談の充実など)	
		43.3%	38.8%	36.3%	24.6%	24.2%	
	年代別	20代	地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備	工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保	公共交通の充実(鉄道・バス路線の整備、便数の増加など)	子育てを支援する体制・施設の強化	保健・医療施設、体制の強化(病院、健康相談の充実など) 商業の振興(中心商業地域の形成など)や買物の利便性、サービスの向上
			40.3%	32.7%	26.5%	26.1%	24.6%
30代		工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保	地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備	保健・医療施設、体制の強化(病院、健康相談の充実など)	子育てを支援する体制・施設の強化	福祉的施設、体制の充実(老人・障害者施設の整備、高齢者対策など)	
		43.7%	40.7%	40.1%	38.2%	24.5%	
40代		工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保	地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備	保健・医療施設、体制の強化(病院、健康相談の充実など)	福祉的施設、体制の充実(老人・障害者施設の整備、高齢者対策など)	子育てを支援する体制・施設の強化	
		50.3%	41.9%	36.4%	28.1%	25.2%	
50代		工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保	地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備	保健・医療施設、体制の強化(病院、健康相談の充実など)	福祉的施設、体制の充実(老人・障害者施設の整備、高齢者対策など)	上下水道の整備	
		62.1%	50.0%	33.4%	32.7%	23.3%	
60代		工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保	地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備	福祉的施設、体制の充実(老人・障害者施設の整備、高齢者対策など)	保健・医療施設、体制の強化(病院、健康相談の充実など)	上下水道の整備	
		49.7%	41.5%	40.1%	36.9%	25.7%	
70代		福祉的施設、体制の充実(老人・障害者施設の整備、高齢者対策など)	工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保	地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備	保健・医療施設、体制の強化(病院、健康相談の充実など)	上下水道の整備	
		47.2%	43.5%	35.4%	32.3%	23.2%	

## 【その他】

その他の意見として下記のことがあげられた。特に行財政改革、少子・高齢化対策といった内容に多くの意見があげられた。

### 「その他」の主なもの

<b>&lt; 行財政改革 &gt;</b>
公務員の質の向上
各町の負債処理
税制の再検討
中心部と周辺部の均衡（合併後）
大きな町に追随しない特徴あるまちづくり
税制を再検討
公務員の削減と人件費の削減
経営感覚を取り入れた行政組織づくり
予算の有効活用
イベント・行事の見直し、スリム化による補助費の削減と減税
<b>&lt; 少子・高齢化 &gt;</b>
老後に安心して生活できるしくみづくり（経済的、精神的）
心を大切にした福祉施策（建物ではない）
人口減少対策（人口の増える都市計画）
シルバー産業の育成
若者が定着できる（若者にとって魅力ある）まちづくり
<b>&lt; 自然 &gt;</b>
山野を利用したファミリーランドの整備
自然資源の保護
<b>&lt; 教育 &gt;</b>
学校教育の充実（施設ではなく教育の内容、体制）
学校施設の老朽化対策

### 1.5 合併への期待

【問7】現在、市町村合併についていろいろなところで議論されていますが、あなたは町が合併することについて、どのようなことを期待されますか、また不安に感じますか。

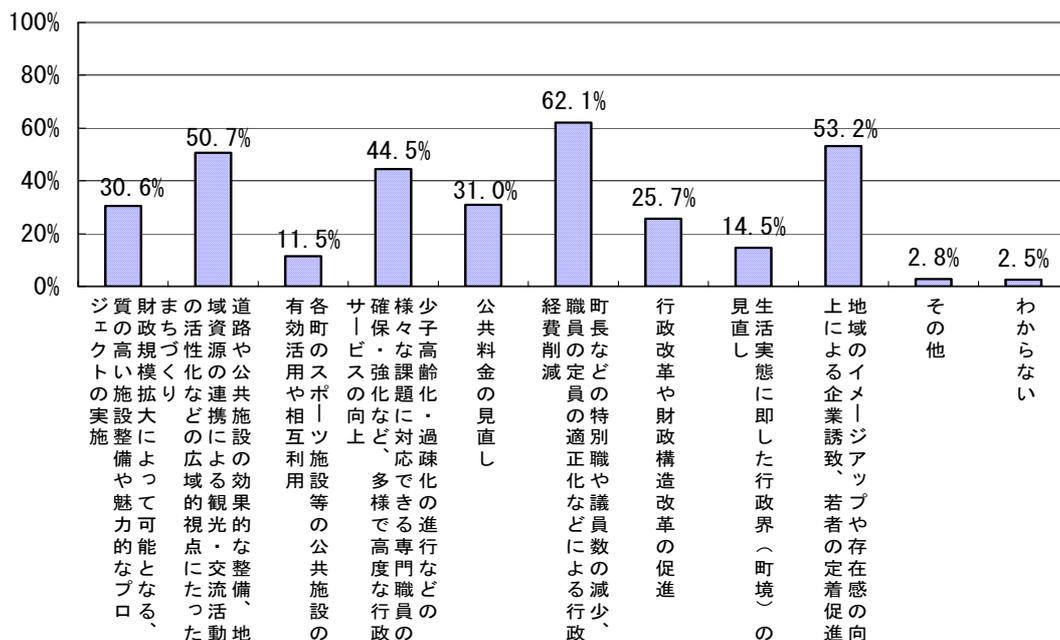
【7-1】期待されることで重要と思われるものを、以下の中から4つ以内で を付けてください。

#### 【全体の傾向】

全体では「町長などの特別職や議員数の減少、職員の定員の適正化などによる行政経費の削減」(62.1%)が最も高く、「地域のイメージアップや存在感の向上による企業誘致、若者の定着促進」(53.2%)、「道路や公共施設の効果的な整備、地域資源の連携による観光・交流活動の活性化などの広域的視点にたったまちづくり」(50.7%)が50%を超える高い割合を示している。

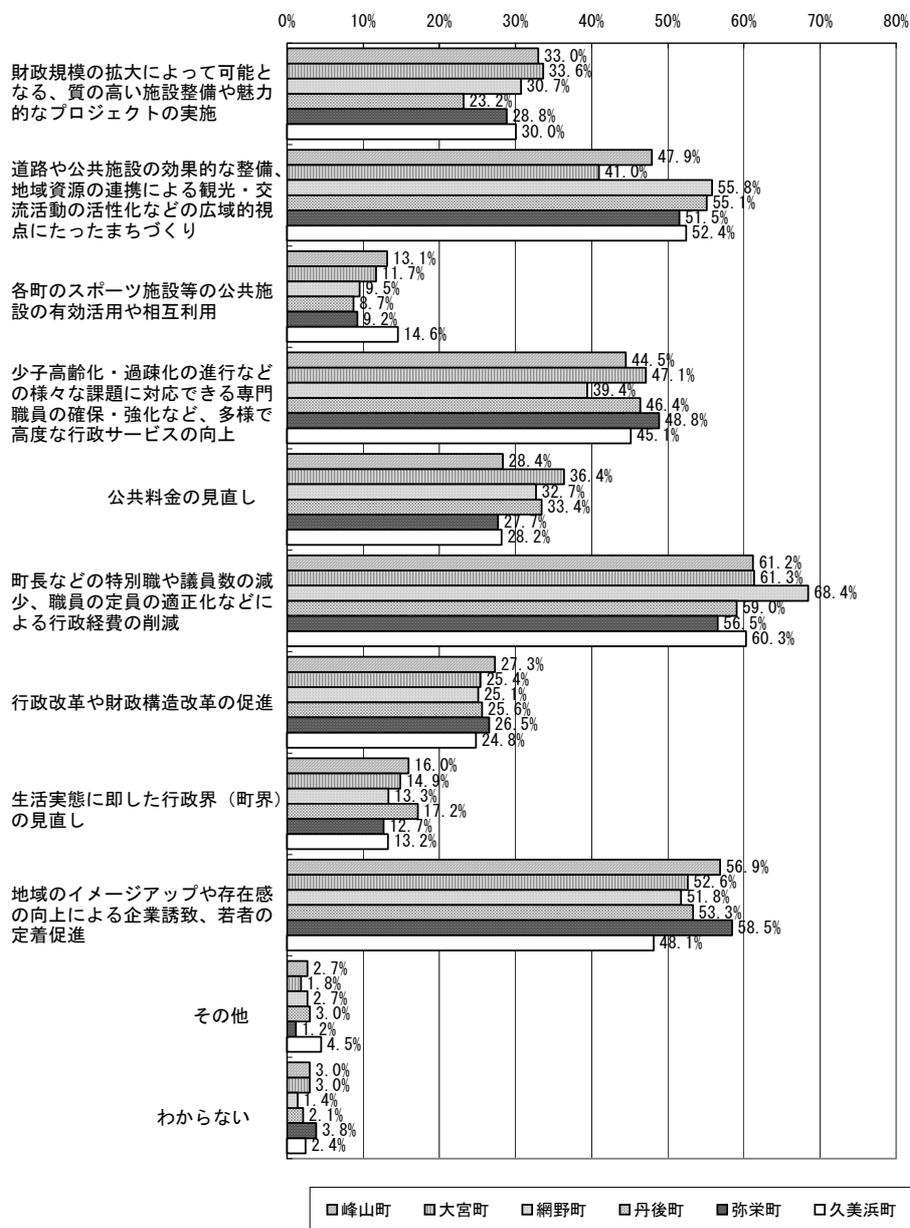
続いて「少子高齢化・過疎化の進行などの様々な課題に対応できる専門職員の確保・強化など、多様で高度な行政サービスの向上」(44.5%)、「公共料金の見直し」(31.0%)、「財政規模の拡大によって可能となる、質の高い施設整備や魅力的なプロジェクトの実施」(30.6%)と続いている。

N=2, 977



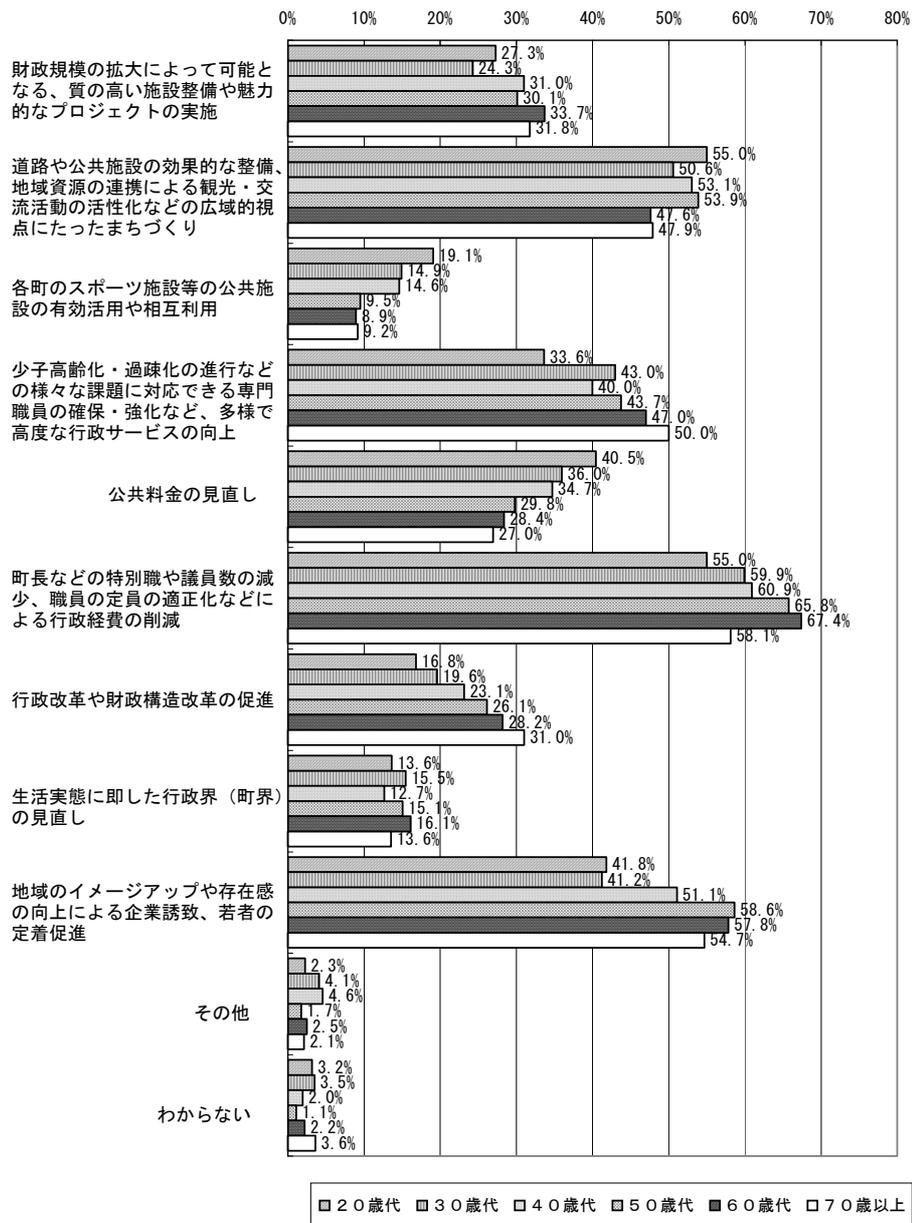
【町別の傾向】

町別では、概ね似かよった傾向を示しているが、比較して選択率が高い項目として、網野町の「町長などの特別職や議員数の減少、職員の定員の適正化などによる行政経費の削減」があげられる。また、選択率が低い項目として、丹後町の「財政規模の拡大によって可能となる、質の高い施設整備や魅力的なプロジェクトの実施」、大宮町の「道路や公共施設の効果的な整備、地域資源の連携による観光・交流活動の活性化などの広域的視点にたったまちづくり」、網野町の「少子高齢化・過疎化の進行などの様々な課題に対応できる専門職員の確保・強化など、多様で高度な行政サービスの向上」などがあげられる。



【年代別の傾向】

年代別では、どの年代も「町長などの特別職や議員数の減少、職員の定員の適正化などによる行政経費の削減」が最も高い割合となっているなど、概ね似かよった傾向を示している。また、年齢に沿って期待度が高まる項目として「少子高齢化・過疎化の進行などの様々な課題に対応できる専門職員の確保・強化など、多様で高度な行政サービスの向上」、「行政改革や財政構造改革の促進」が、逆に下がる項目としては「公共料金の見直し」、「各町のスポーツ施設等の公共施設の有効活用や相互利用」があげられる。



問 7-1 合併への期待（年代別）

【その他】

その他の意見として下記のことあげられた。

「その他」の主なもの

<b>&lt;行財政改革&gt;</b>
議員・公務員の給与・人数削減
議員・特別職への定年制度の導入
議員・職員の質の向上
必要のない公共投資をやめて他の使い方をする
<b>&lt;産業&gt;</b>
若者が定着するような働ける場の創出
全ての年齢層での雇用安定
地域の産業の活性化
農業の支援強化
<b>&lt;教育・福祉&gt;</b>
医療の充実
教育の充実
福祉の向上
<b>&lt;その他&gt;</b>
情報ネットワークの環境整備
国道バイパスの整備
民間活用の広域化
公共料金の値下げ
観光地の周遊がスムーズになる
地域活動の拡大と歴史の見直し

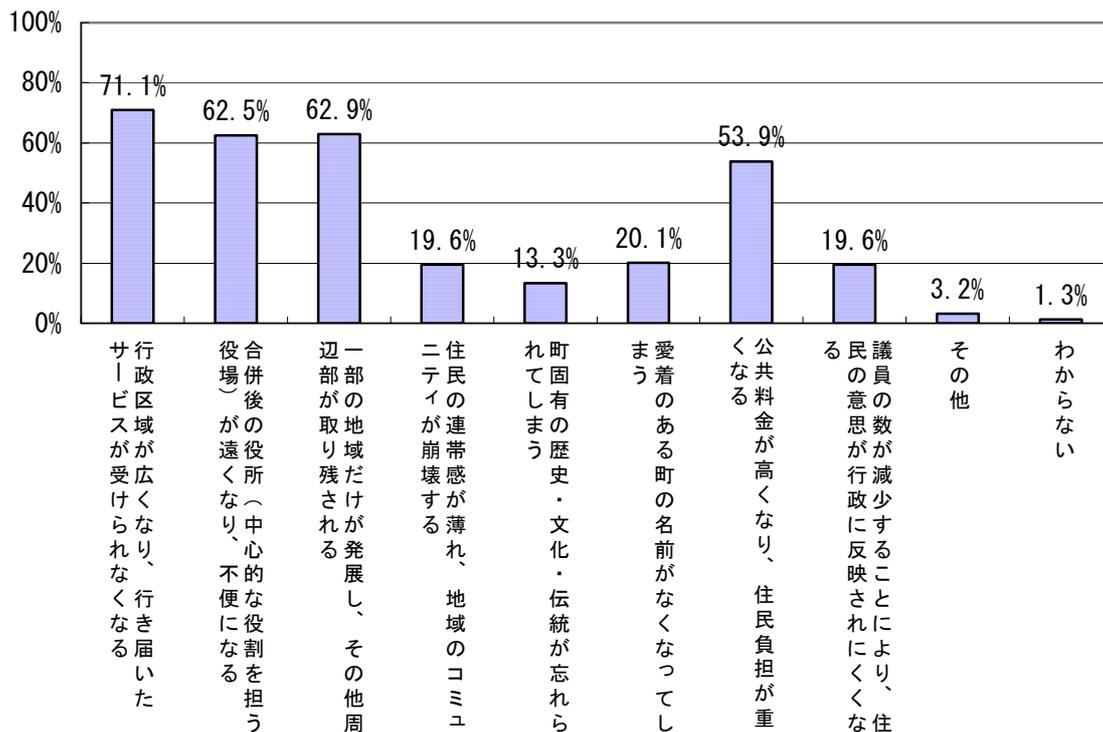
## 1.6 合併への不安

【7-2】不安に思われることで重要と思われるものを、以下の中から4つ以内で付けてください。

### 【全体の傾向】

全体では、「行政区域が広くなり、行き届いたサービスが受けられなくなる」(71.1%)、「一部の地域だけが発展し、その他周辺部が取り残される」(62.9%)、「合併後の役所(中心的な役割を担う役場)が遠くなり、不便になる」(62.5%)、「公共料金が高くなり、住民負担が重くなる」(53.9%)の項目が高い割合となっている。

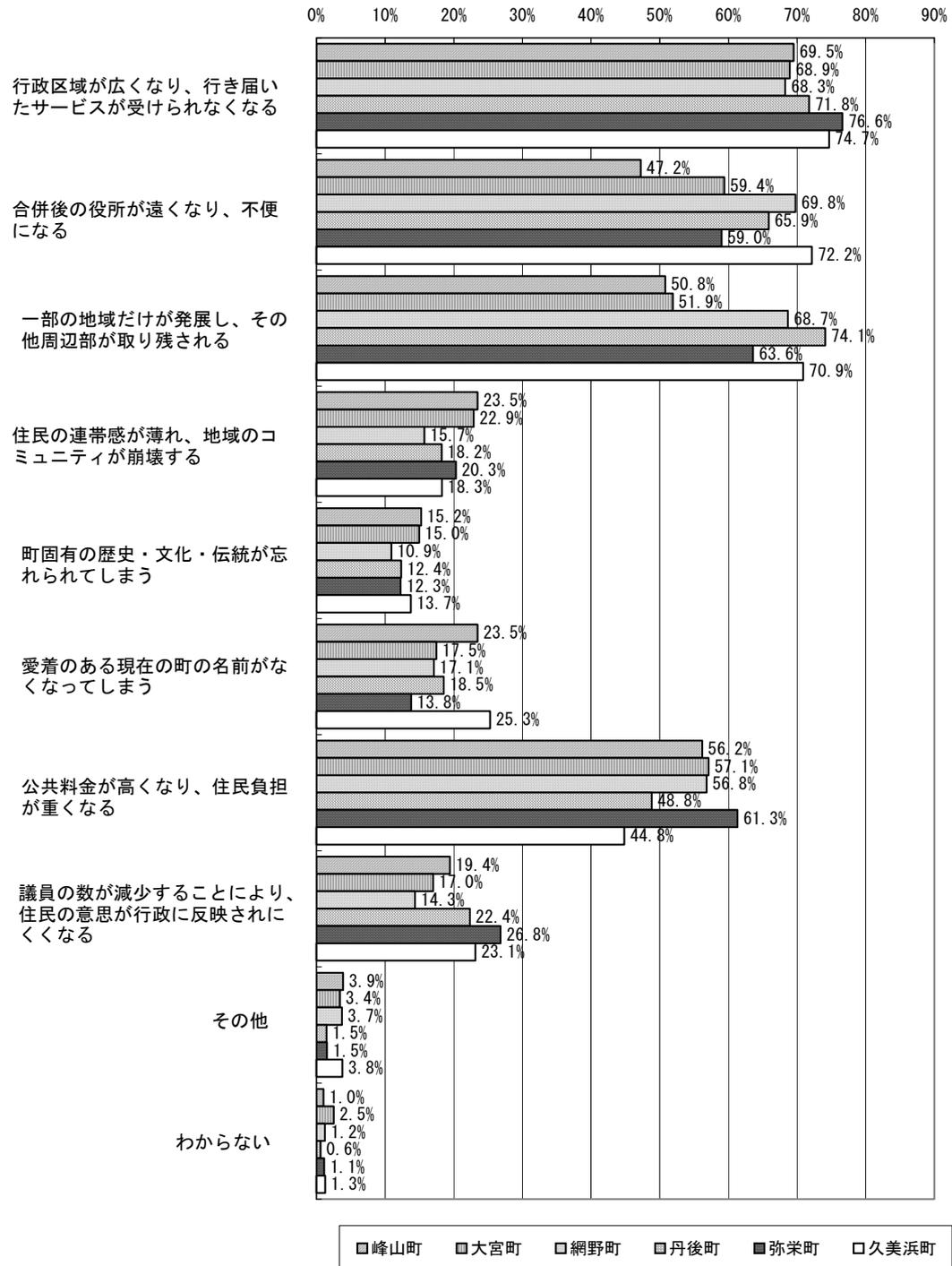
N=3,023



問 7-2 合併への不安

【町別の傾向】

「合併後の役所が遠くなり、不便になる」、「一部の地域だけが発展し、その他周辺部が取り残される」、「公共料金が高くなり、住民負担が重くなる」の項目については、各町で高い割合を示すが、町別には比較的ばらつきが見られる。

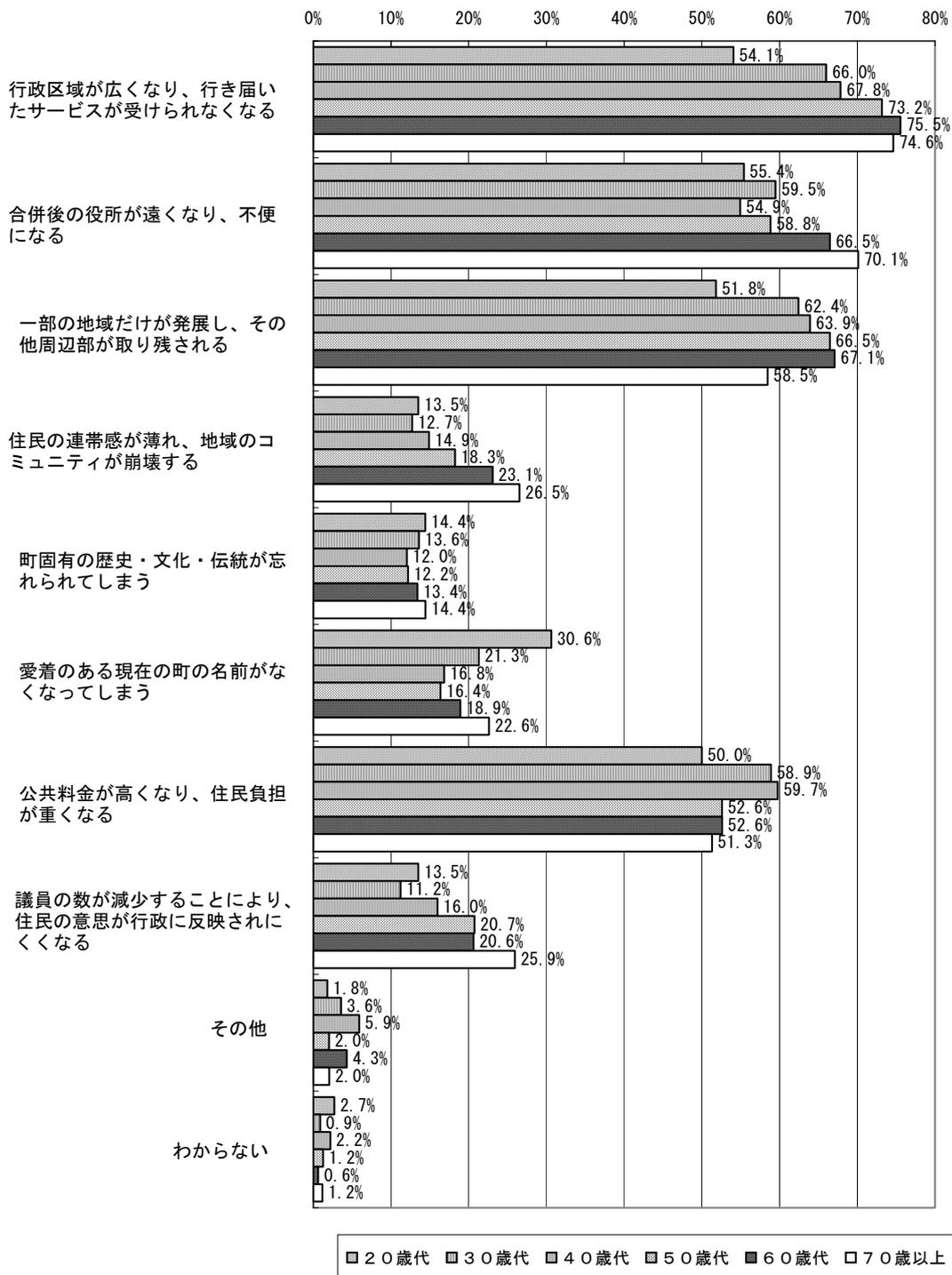


問 7-2 合併への不安（町別）

【年代別の傾向】

年代別では、50歳代以上で「行政区域が広くなり、行き届いたサービスが受けられなくなる」、60歳代以上で「合併後の役所が遠くなり、不便になる」、50～60歳代で「一部の地域だけが発展し、その他周辺部が取り残される」への不安が特に高くなっている。

また、30～40歳代で「公共料金が高くなり、住民負担が重くなる」への不安が高くなっている。



問 7-2 合併への不安（年代別）

【その他】

その他の意見として、特に行財政に関する具体的な意見が多くあげられた。

「その他」の主要意見

<b>&lt;行財政&gt;</b>
財政不安
公務員の意識の低下
各町の議員、職員が合わさってリーダーシップのある人が出るのか
経費削減が実現できるのか
<b>&lt;その他&gt;</b>
合併による地域エゴ
地場産業の衰退
教育水準の低下

## 1.7 自由記述

【問 8】その他、今後のまちづくりに向けたご提案、合併に関するご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。

自由記述では、1,466 人の方から延べ 1,687 件のご意見をいただいた。

将来のまちづくり等の方向性や具体的施策の提言や要望に関するものが 1,136 件と大半占め、道路や教育・福祉施設等の整備や充実、働く場の確保、企業誘致等の産業活性化、行政サービスの強化等「将来望まれる施策」の設問の補足する要望が主にあげられた。

また、これらのうち特に合併を契機とした施策の展開や合併に際しての不安や配慮して欲しいこととして、合併を契機とした行財政の効率化・機能強化、バランスある（公平な）地域の発展、公共料金等の住民負担の軽減への期待、地域の特性（伝統）が消失することや広域化による住民の声が届きにくくなることへの配慮といった意見なども寄せられた。また、新市の名称についての意見や合併の組み合わせや是非等に関する意見が寄せられた。

このほか、合併の協議・検討に関する意見として、十分な情報提供や住民参画の機会の確保などの意見があった。

## 2 高校生意識調査結果

### 2.1 概要

#### (1) 回答結果概要

一般意識調査を補足し、若い世代の意向の把握とアイデアを募る目的で、高校生調査を実施した。

調査にあたっては、丹後地域内、府立峰山高等学校、府立網野高等学校、府立久美浜高等学校の協力を得て、6町内にお住まいの高校最終学年の方々を対象とした。

- 調査時期：平成14年5月
- 配布、回収状況

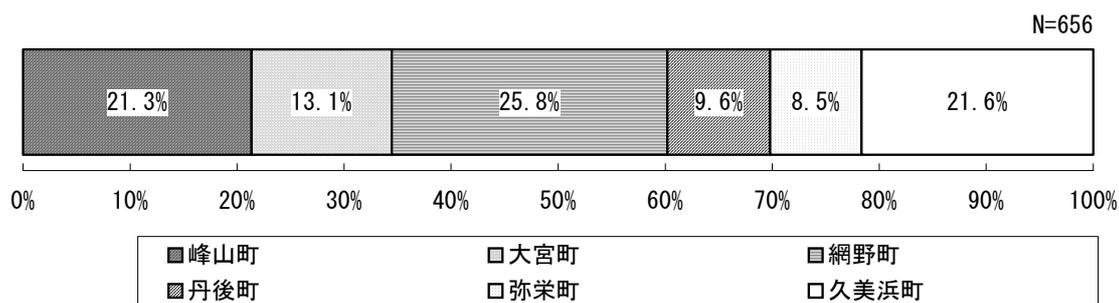
配布数：685票

回収数：659票（峰山高校：299票、網野高校：235票、久美浜高校：125票）

回収率：96.2%

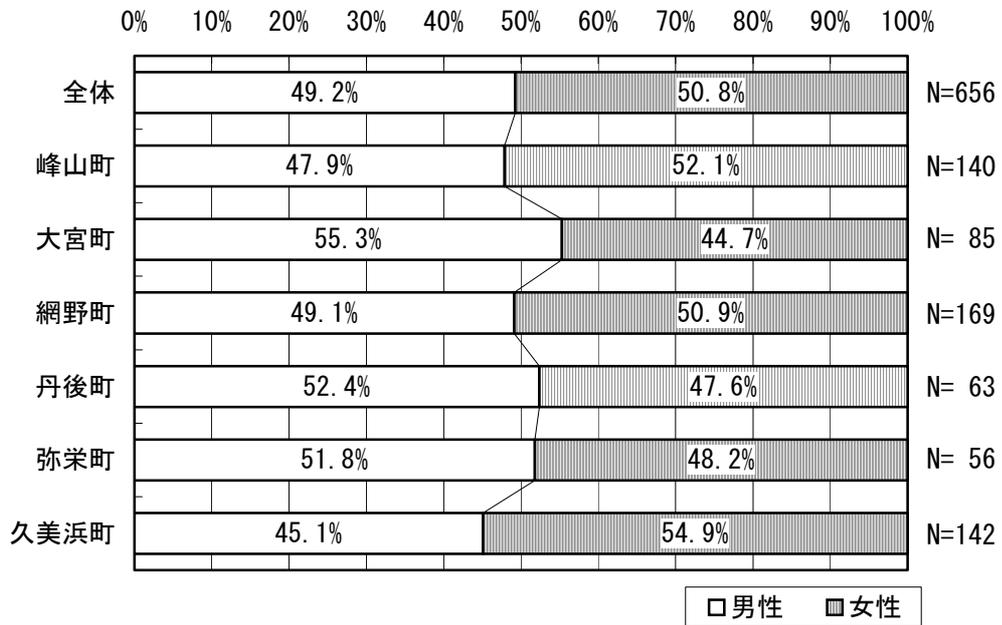
#### (2) 属性

【問1】あなたのお住まいはどちらですか。



問2 居住地

【問2】あなたの性別はどちらですか。



問2 性別

## 2.2 高校卒業後の進路

【問 3】高校卒業後の進路をどのように考えていますか。

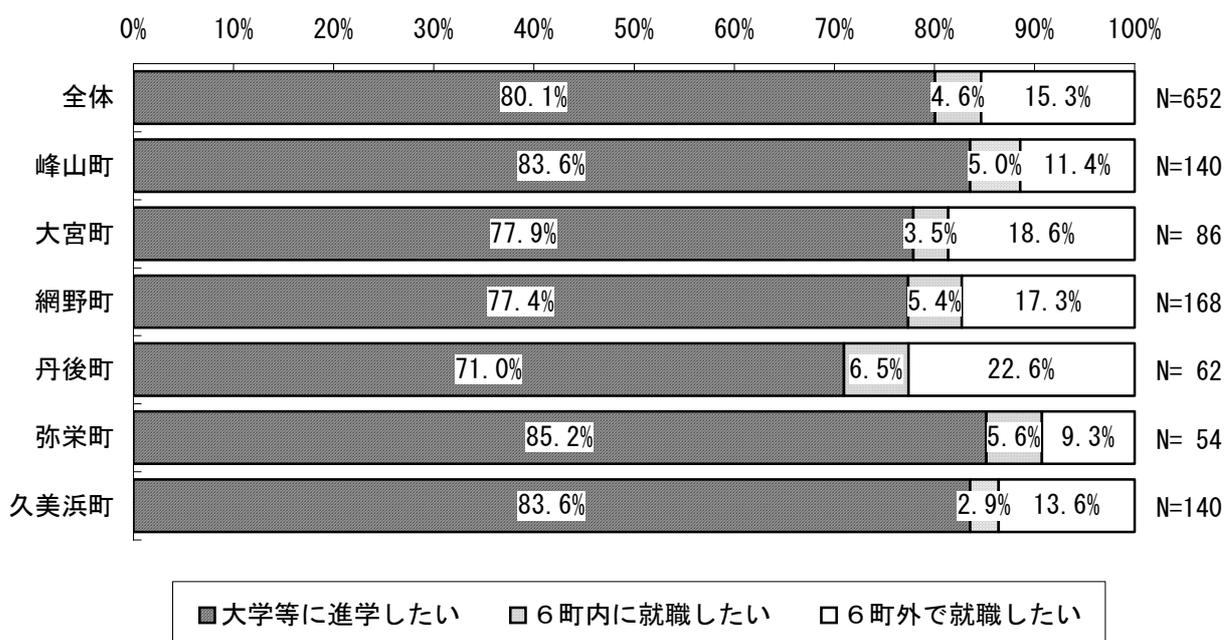
### 【全体の傾向】

高校卒業後の予定は「大学等に進学したい」が 80.1%（選択率（以下同様））を占めている。「6町内に就職したい」は 4.6%と低くなっており、ほとんどが高校卒業後、6町外への進路を希望している。

### 【町別の傾向】

すべての町において「6町内で就職したい」は、最も低い割合である。

「6町外で就職したい」の割合は概ね 10%～20%となっているが、丹後町（22.6%）の割合が高く、弥栄町（9.3%）及び峰山町（11.4%）で低くなっている。



問 3 卒業後の進路

### 2.3 定住意向

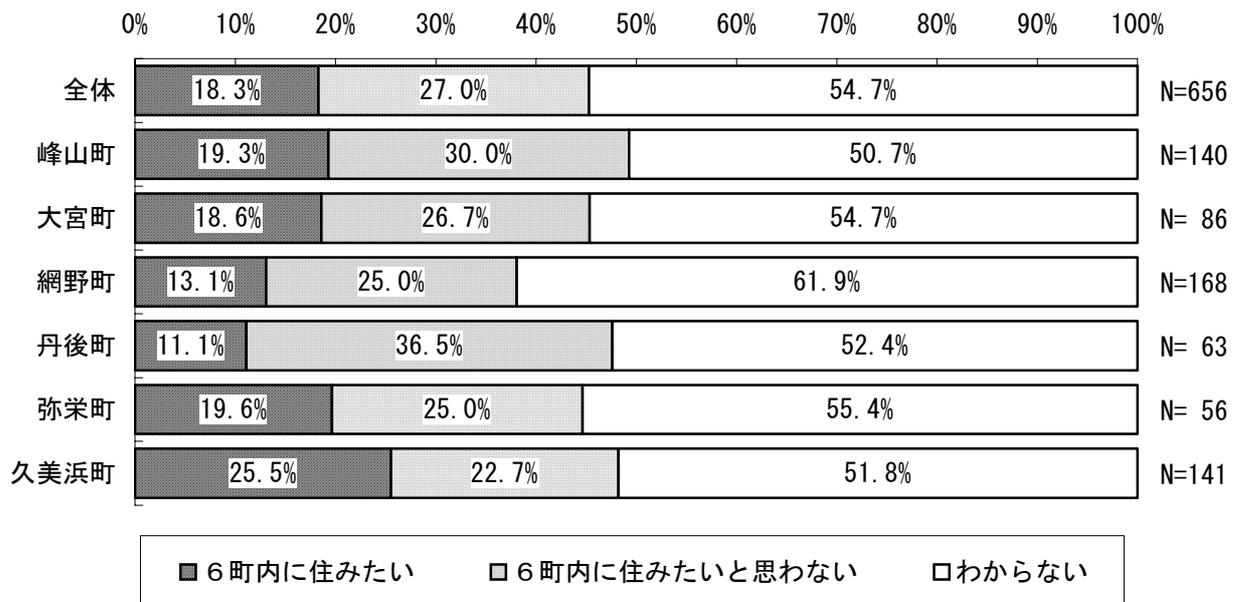
【問 4】将来、社会人になったり、結婚したりした時に、6 町内に住みたいと考えていますか。

#### 【全体の傾向】

全体では、「わからない」が 54.7%で最も多くなっている。「丹後 6 町内に住みたい」は 18.3%、「丹後 6 町内に住みたくない」が 27.0%と、6 町外での生活を希望する人が多くなっている。

#### 【町別の傾向】

町別は、「わからないが」が全ての町で 50%を超えている。久美浜町では「6 町内に住みたい」が 25.5%と他町に比べ高く、「6 町内に住みたいと思わない」22.7%を上回っている。



問 4 定住意向

(問4で、1を選んだ人のみお答えください)

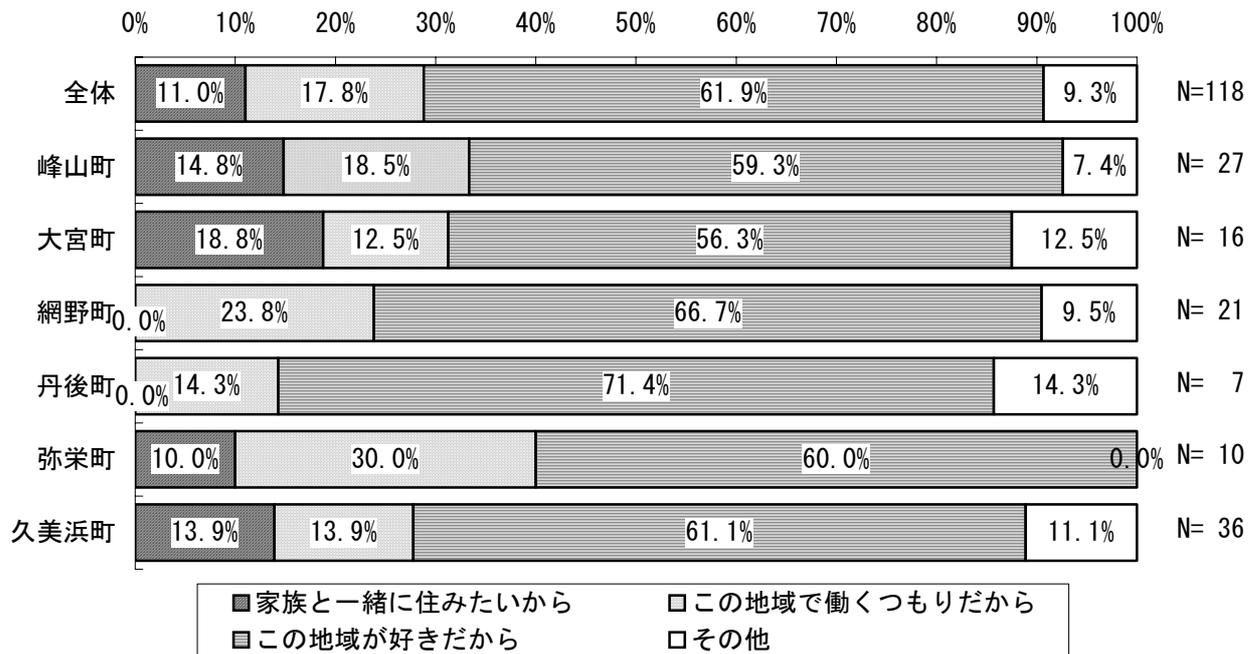
(4-2)この地域に住みたいと思う理由はなんですか。あてはまるものに1つに付けてください。

【全体の傾向】

この地域に住みたい理由としては、「この地域が好きだから」(61.9%)が最も高く、続いて「この地域で働くつもりだから」(17.8%)、「家族と一緒に住みたいから」(11.0%)となっている。

【町別の傾向】

町別では、サンプル数も少ないため、偏りが大きいですが、丹後町の「この地域が好きだから」(71.4%)、弥栄町の「この地域で働くつもりだから」(30.0%)といった項目が、他町に比べ高くなっている。



問4-2 住みたい理由

【その他】

その他としては、「家族（親）の近くにいたい」等選択肢「家族と一緒に住みたいから」に近い意味合いの意見が多くあげられた。

(問4で、1を選んだ人のみお答えください)

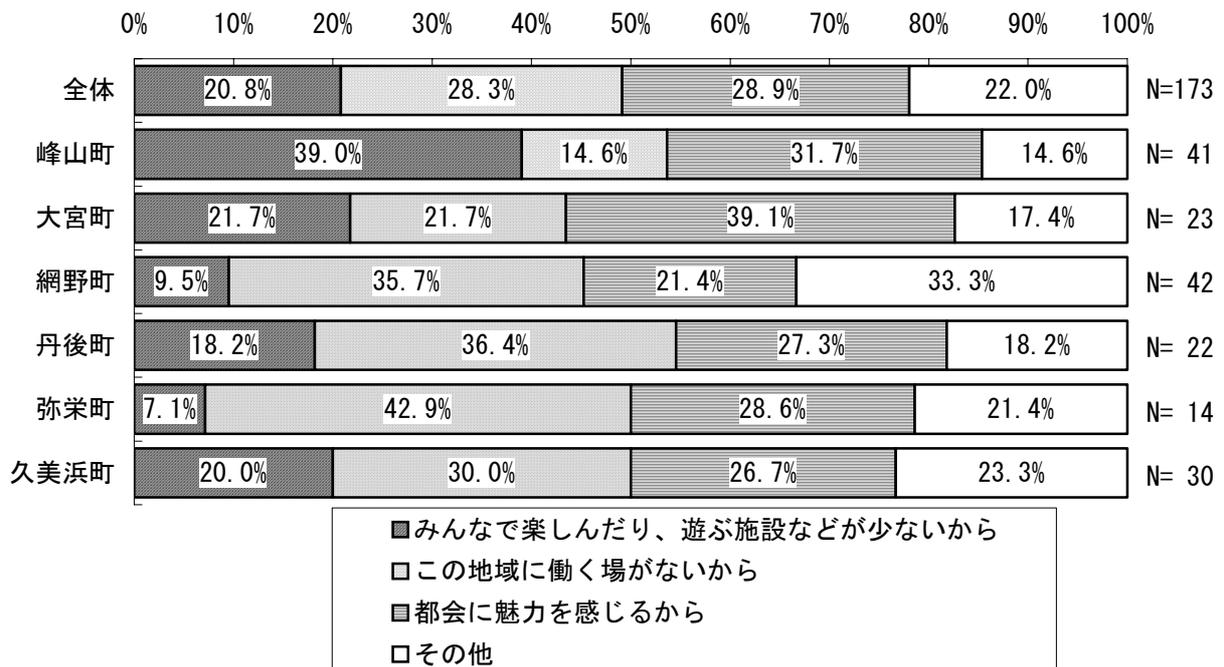
(4-3)この地域に住みたくないと思う理由は何ですか。あてはまるもの1つに付けてください。

### 【全体の傾向】

この地域に住みたくない理由としては、「都会に魅力を感じるから」(28.9%)が最も多く、次いで「この地域に働く場所がないから」(28.3%)となっている。「みんなで楽しんだり、遊ぶ施設など少ないから」も20.8%となっており、分散した結果となっている。

### 【町別の傾向】

町別では、「みんなで楽しんだり、遊ぶ施設が少ないから」が峰山町(39.0%)、「この地に働く場が無いから」は弥栄町(42.9%)、丹後町(36.4%)、網野町(35.7%)での割合が他町と比べて高くなっている。



問4-3 住みたくない理由

## 【その他】

その他の意見としては、「交通の便が悪い」をあげるものが約4割、その他に「都会に住みたい」「親元を離れたい」など町の雰囲気や利便性、他の地区の魅力を重視した意見があった。

## 2.4 将来望まれる施策

【問5】丹後の6町において、将来的にどのような施策や取り組みを行って欲しいですか。あてはまるものについて5つ以内で を付けてください。

### 【全体の傾向】

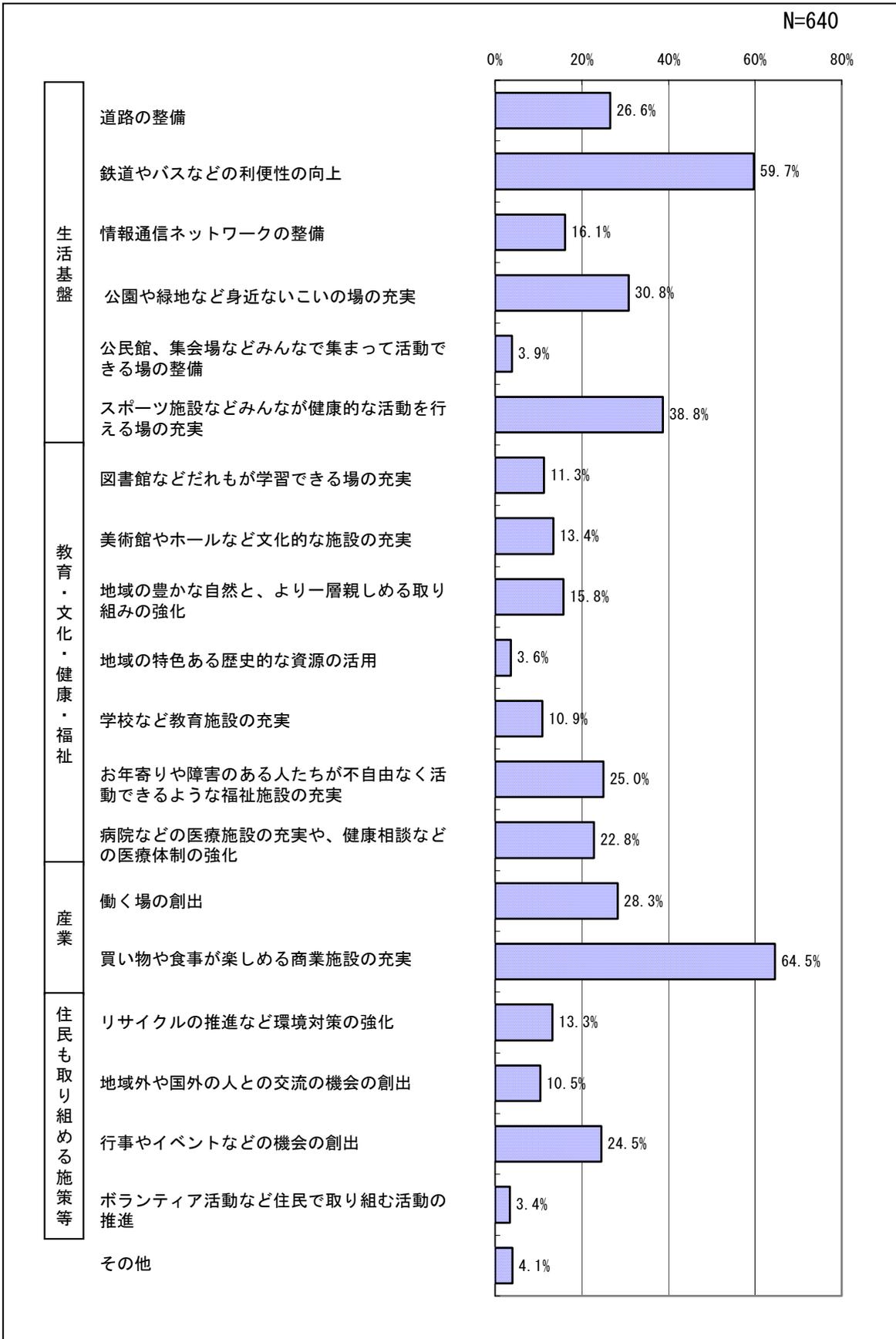
全体では「買い物や食事が楽しめる商業施設の充実」（選択率（以下同様）64.5%）と「鉄道やバスなどの利便性の向上」（59.7%）が突出して高い割合を示している。次いで「スポーツ施設などみんなが健康的な活動を行える場の充実」（38.0%）となっている。

### 【町別の傾向】

町別にみると、大宮町以外では「買い物や食事が楽しめる商業施設の充実」が最も高く、60%以上の割合を示している。

また、大宮町では「鉄道やバスなどの利便性の向上」（58.1%）で最も高くなっている。この項目は、すべての町において50%以上の高い割合を示しており、各町共通して要望が高い項目である。

この他、各町共通して要望の高い項目としては、「スポーツ施設などみんなが健康的な活動を行える場の充実」（30~40%）があげられる。また、「働く場の創出」が、峰山町、久美浜町を除く4町で5位以内となっている。



問 5 将来望まれる施策

問 5 将来望まれる施策

(上位5位)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位	第 4 位	第 5 位	
全 体		買物や食事が楽しめる商業施設の充実	鉄道やバスなどの利便性の向上	スポーツ施設などみんなが健康的な活動を行える場の充実	公園や緑地など身近ないこいの場の充実	働く場の創出	
		64.5%	59.7%	38.8%	30.8%	28.3%	
町別	峰山町	買物や食事が楽しめる商業施設の充実	鉄道やバスなどの利便性の向上	スポーツ施設などみんなが健康的な活動を行える場の充実	公園や緑地など身近ないこいの場の充実	お年寄りや障害のある人たちが不自由なく活動できるような福祉施設の充実	
		62.9%	52.9%	41.4%	35.0%	30.0%	
	大宮町	鉄道やバスなどの利便性の向上	スポーツ施設などみんなが健康的な活動を行える場の充実	公園や緑地など身近ないこいの場の充実	病院などの医療施設の充実や、健康相談などの医療体制の強化	働く場の創出	
		買物や食事が楽しめる商業施設の充実	58.1%	41.9%	36.0%		31.4%
	網野町	買物や食事が楽しめる商業施設の充実	鉄道やバスなどの利便性の向上	スポーツ施設などみんなが健康的な活動を行える場の充実	働く場の創出	行事やイベントなどの機会の創出	
		69.1%	55.2%	30.3%	29.7%	29.1%	
	丹後町	買物や食事が楽しめる商業施設の充実	鉄道やバスなどの利便性の向上	スポーツ施設などみんなが健康的な活動を行える場の充実	働く場の創出	お年寄りや障害のある人たちが不自由なく活動できるような福祉施設の充実	
		74.2%	71.0%	35.5%	33.9%	24.2%	
	弥栄町	買物や食事が楽しめる商業施設の充実	鉄道やバスなどの利便性の向上	スポーツ施設などみんなが健康的な活動を行える場の充実	公園や緑地など身近ないこいの場の充実	お年寄りや障害のある人たちが不自由なく活動できるような福祉施設の充実	
		道路の整備	働く場の創出	62.5%	58.9%		30.4%
	久美浜町	買物や食事が楽しめる商業施設の充実	鉄道やバスなどの利便性の向上	スポーツ施設などみんなが健康的な活動を行える場の充実	道路の整備	公園や緑地など身近ないこいの場の充実	
		66.0%	63.1%	44.7%	35.5%	31.2%	

## 【その他】

その他の意見としては、遊び場やにぎわいの創出、交通利便性に関する意見が多く出された。

### 「その他」の主なもの

<b>&lt;遊び場、にぎわい&gt;</b>
遊ぶ所が欲しい(映画館、遊園地等)
野球以外のスポーツ
夜中まで開いている店をつくってほしい
祭りを増やして欲しい
祭りを派手にする
丹後町でもっと野球大会を開く
<b>&lt;交通利便性&gt;</b>
全部の町に駅をつくる
汽車を増やす
空港をつくる
高速道路を近くに作って欲しい
<b>&lt;自然&gt;</b>
緑を増やす
海をきれいに
<b>&lt;その他&gt;</b>
下水道の設備
観光客が集まる何か
商店街の活性化
緑をなくす

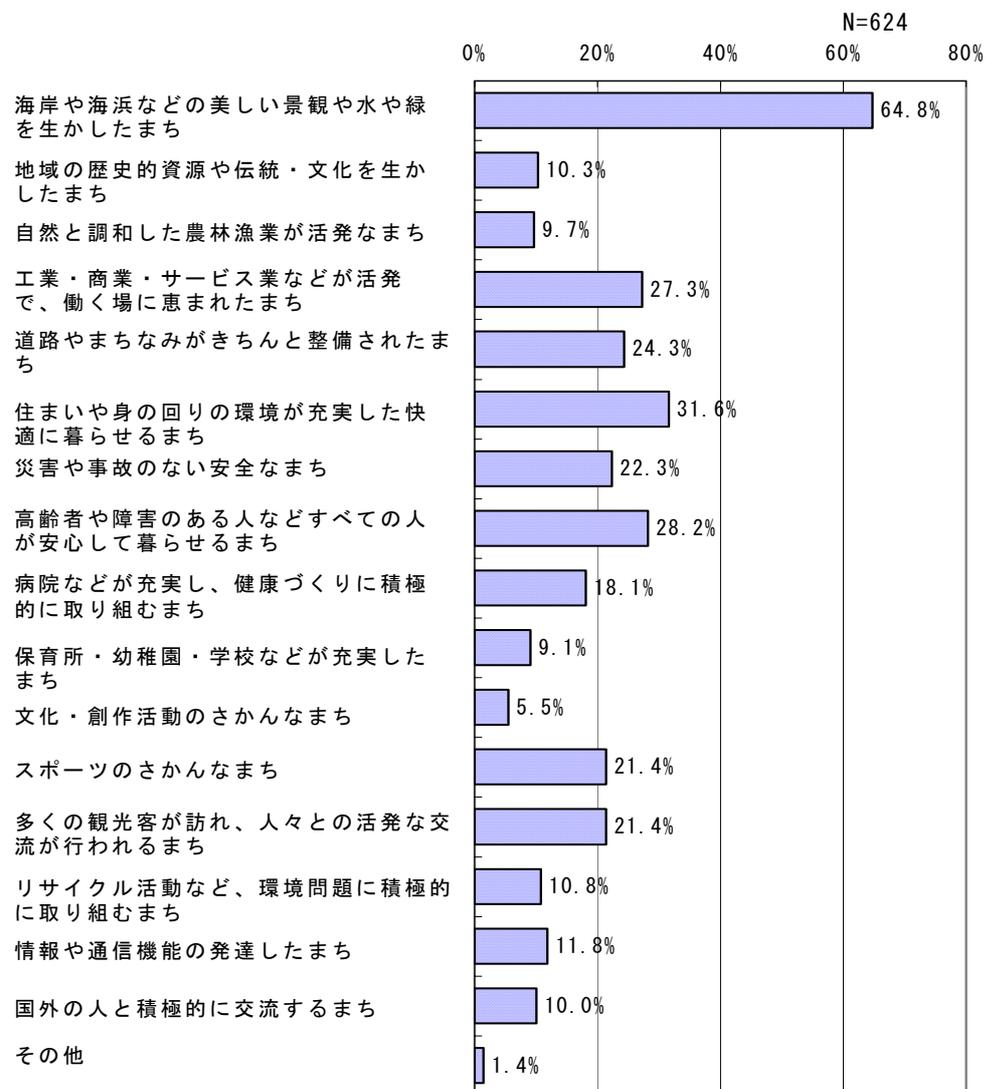
## 2.5 地域の将来像

【問 6】丹後の 6 町は将来的に、どのようなまちになっていけばよいと思いますか。あてはまるものを 4 つ以内で を付けてください。

### 【全体の傾向】

全体では、「海岸や海浜など美しい景観や水や緑を生かしたまち」（選択率（以下同様）64.8%）が特に高くなっている。

続いて、「住まいや身の回りの環境が充実した快適に暮らせるまち」（31.6%）、「高齢者や障害のある人などすべての人が安心して暮らせるまち」（28.2%）、「工業・商業・サービス業などが活発で、働く場に恵まれたまち」（27.3%）が約 3 割の選択率となっている。



問 6 まちの将来像

【町別の傾向】

町別でも、すべての町において「海岸や海浜などの美しい景観や水や緑を生かしたまち」が最も高く、50%以上の選択率となっている。

また、「住まいや身の回りの環境が充実した快適に暮らせるまち」が峰山町を除く5町で3位以内にあげられている。「高齢者や障害ある人などすべての人が安心して暮らせるまち」についても、3町で2位に位置付けられ、約30%の選択率となっている。

問 6 まちの将来像

(上位3位)

		第 1 位	第 2 位	第 3 位
全 体		海岸や海浜などの美しい景観や水・緑を生かした自然豊かなまち 64.8%	住まいや身の回りの環境が充実した快適なまち 31.6%	高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせる福祉のまち 29.0%
町 別	峰 山 町	海岸や海浜などの美しい景観や水・緑を生かした自然豊かなまち 55.1%	高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせる福祉のまち 33.3%	工業・商業・サービス業が活発で働く場に恵まれた産業のまち 31.9%
	大 宮 町	海岸や海浜などの美しい景観や水・緑を生かした自然豊かなまち 68.2%	高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせる福祉のまち 32.9%	住まいや身の回りの環境が充実した快適なまち 31.8%
	網 野 町	海岸や海浜などの美しい景観や水・緑を生かした自然豊かなまち 71.5%	高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせる福祉のまち 28.5%	住まいや身の回りの環境が充実した快適なまち 27.9%
	丹 後 町	海岸や海浜などの美しい景観や水・緑を生かした自然豊かなまち 61.4%	住まいや身の回りの環境が充実した快適なまち 43.9%	工業・商業・サービス業が活発で働く場に恵まれた産業のまち 36.8%
	弥 栄 町	海岸や海浜などの美しい景観や水・緑を生かした自然豊かなまち 53.7%	災害や事故のない安全なまち 37.0%	住まいや身の回りの環境が充実した快適なまち 35.2%
	久美浜町	海岸や海浜などの美しい景観や水・緑を生かした自然豊かなまち 77.9%	住まいや身の回りの環境が充実した快適なまち 34.3%	工業・商業・サービス業が活発で働く場に恵まれた産業のまち 31.4%

【その他】

その他として、下記のような意見があげられた。

「その他」の主なもの

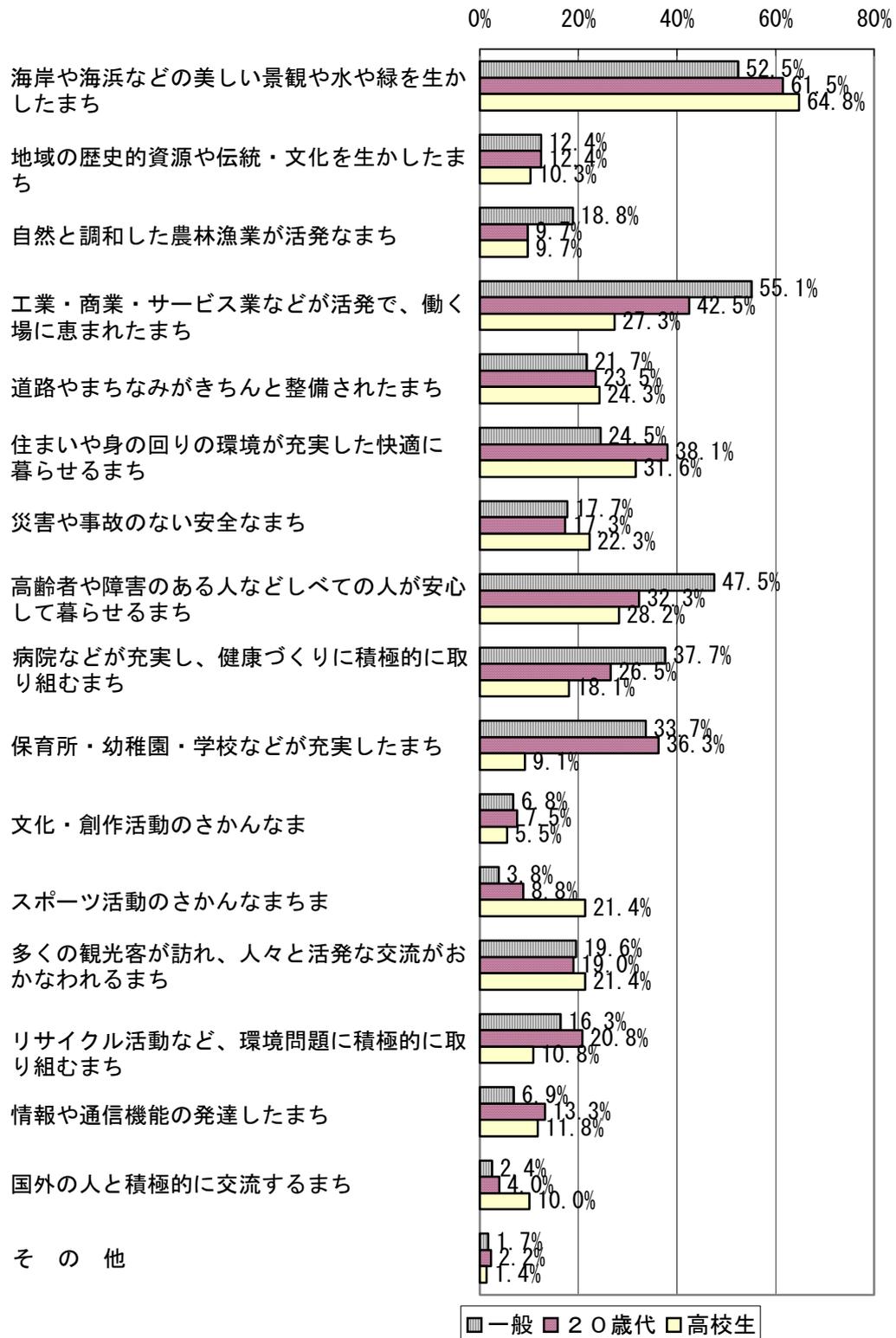
これ以上自然を壊さないまち
おしゃれなまち
夜は静かなまち
にぎやかなまち
デパートとかをつくってほしい
無駄なことに税金を使わないまち

## 一般意識調査と高校生意識調査との比較

丹後 6 町の将来像については、一般意識調査と高校生意識調査の双方において設問を設け、同様の内容についての選択肢を設定している。

そこで、双方の結果を比較してみると、高校生の方が特に高い割合を示した項目として、「海岸や海浜などの美しい景観や水や緑を生かしたまち」「住まいや身の回りの環境が充実した快適に暮らせるまち」「スポーツ活動の盛んなまち」があげられる。

その中で、「海岸や海浜などの美しい景観や水や緑を生かしたまち」「スポーツ活動の盛んなまち」については、一般意識調査において、最も若い世代である 20 歳代の選択率が高い項目でもあり、今後地域を担う若い世代が特に重視する項目として位置づけられる。



将来像の比較

## 2.6 地域の自慢と誇り

【問7】あなたの住む町で、自慢できるものや好きな場所、他にはない特色などがあれば、具体的に書いて下さい。

自慢できるものや好きな場所、他にはない特色として、337人から意見が出された。その傾向は以下のとおりである。

### 【意見の傾向】

分 類	票 数	割 合
自然全般	49	14.5%
海	127	37.7%
山・緑・川等	40	11.9%
特定地名	74	22.0%
特定施設名・施設等	40	11.9%
食物・特産物・行事等	35	10.4%
その他 (人柄・人情・雰囲気等)	68	20.2%
記入者合計	337	100.0%

### (1) 自然環境

「海」、「山・緑・川等」を含め、意見の6割以上が自然環境に係る意見をあげており、まちの将来像に関する設問とあわせ自然環境への関心の高さは注目される。

具体的には天然記念物である「琴引浜の鳴き砂」が特に多く、また、「琴引浜」に加え、「久美浜湾」等の海岸部の意見が多くなっている。また、山・緑・川等に関しては大宮町の「ブナ林」や「新庄の滝（霧降の滝）」などの回答が複数得られた。この他には、夕日や雪景色といった四季折々の景色のほか、「星」、「夜空」といった回答もみられた。

#### 自然環境

- ・ 鳴き砂（19人）
- ・ 琴引浜（7人）
- ・ 久美浜湾（4人）
- ・ ブナ林（4人）
- ・ 夕日（2人）
- ・ 星・夜空（3人） 等

(2) 特定地名・特定施設名・施設等

特定地名や施設名、施設等としては、観光的施設が特に多くあげられた。

個別の施設では、「丹後あじわいの郷（弥栄町）」や「森林公園スイス村（弥栄町）」といった地元の自然や一次産品を活用した施設があげられた。また、「天女の里（峰山町）」や「小野小町（墓・公園）（大宮町）」など地域の歴史にちなんだ施設もあげられた。

このほか、地域内に多く分布する温泉に多くの回答が得られた。

特定施設名・施設等

- ・ 丹後あじわいの郷（5人）
- ・ 森林公園スイス村（4人）
- ・ 天女の里（2人）
- ・ プナ林（4人）
- ・ 小野小町（墓・公園）（5人）
- ・ 温泉（9人） 等

また、地名そのものを自慢、誇りとする意見もみられ、その中でも「甲山（久美浜町）」が最も多い回答を得られた。

地名

- ・ 甲山（8人）
- ・ 丹後大宮という駅名（1人）
- ・ 峰山という町名（1人） 等

このほか、地元の住民が利用する施設、特に「峰山球場」、「峰山途中ヶ丘公園」の回答が多く得られた。

また、「図書館」や「文化施設」にも複数の回答が得られている。

### (3) 食物・特産物・行事等

食物としては、「カニ」の意見が特に多く、また、カキにも複数の意見があげられるなど、地域の海産物にちなんだ意見が多くあげられた。

また、地域の主要産業である「丹後ちりめん」が複数あげられている。

行事については、「ドラゴンカヌー選手権」が最も多かったが、「秋祭り」も複数あげられるなど、新旧の行事にわたっている。

#### 食物・特産物・行事

- ・ カニ（11人）
- ・ カキ（4人）
- ・ 丹後ちりめん（3人）
- ・ ドラゴンカヌー選手権（6人）
- ・ 秋祭り（3人）

### (4) その他

その他として、「近所付き合い」や「まちの人の人柄」、「人情」、「知らない人に挨拶できる気質」といった意見や、「落ち着く」、「のんびりゆったり」、「静か」といった地域の風土ともいうべき意見が多くあげられている。

## 2.7 自由記述

【問 8】その他、この地域のまちづくりに関するご意見やまちが元気になるアイデア等がありましたら、自由に書いてください。

自由記述では、220 人から 240 件の意見が出された。その内訳は以下のとおりである。

### 主要意見（10人以上からの意見）

- ・ バス・鉄道の本数を増やし、新駅を作るなど交通を便利にする
- ・ コンビニや大型商業施設を増やす
- ・ 自然を大切にし、自然と調和した自然を活かした町づくりを行う
- ・ 独自のイベント（祭り・スポーツ大会）を開催する
- ・ スポーツ施設をたくさん作る
- ・ 道路（歩道や高速道路含む）の整備
- ・ ごみ箱を増やすなどして環境をよくする（海をきれいにする）
- ・ 娯楽施設を増やす

### その他の意見

- ・ フリーマーケット等のリサイクル活動を積極的に行う
- ・ 海外交流の活発化
- ・ 大勢が集まれる公共施設の整備
- ・ 小野小町、羽衣伝説を利用したまちづくり
- ・ 独自の教育
- ・ 若者にとって魅力あるまちづくり
- ・ 他地域からも入学希望者が出るような魅力ある学校の設立 等

### 3 調査票

#### 3.1 一般意識調査

# みなさんのご意見をお寄せください

## 新しいまちの建設計画策定のためのアンケート調査ご協力をお願い

峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町では、丹後6町の将来のあり方について検討するため、この4月1日に、地方自治法及び市町村の合併の特例に関する法律に基づく法定合併協議会を設立しました。

合併協議会では、今後、合併の是非も含めて、合併に関するさまざまな項目について検討・協議を行っていきます。

また、合併するとしたら、どのようなまちをめざすのか、そのためにどのような施策を展開していくのかなどを新市建設計画として作成していきます。

このために、みなさんご自身で、将来の丹後6町について考えていただき、そのご意見やご要望を協議会や計画策定の参考とさせていただきたいと考えています。

そこで今回、6町内にお住まいの20歳以上の方から、総計7,000人の方々を無作為に選び調査票をお送りさせていただきました。みなさん自身のお考えをお答えいただければ幸いです。

ご回答いただきました調査票は、大変お手数ですが、同封の返送用封筒（切手を貼る必要はありません）に入れ、

5月27日（月）

までに、ご返送（投函）くださいますようお願いいたします。

なお、この調査は無記名で、調査の結果は統計的にのみ処理いたしますので、みなさんにご迷惑をおかけすることは決してございません。大変お忙しいとは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成14年5月

峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議会  
問い合わせ先

調査についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議会事務局

担当:計画班

TEL ; 69-5252

FAX ; 69-5253

ホームページ <http://www.gappei6.com>

あなたご自身のことについておたずねします

問1 あなたのお住まいはどちらですか。

1. 峰山町      2. 大宮町      3. 網野町  
4. 丹後町      5. 弥栄町      6. 久美浜町

問2 あなたの性別はどちらですか。

1. 男性      2. 女性

問3 あなたの年齢はどれにあたりますか。

1. 20 歳代      2. 30 歳代      3. 40 歳代  
4. 50 歳代      5. 60 歳代      6. 70 歳以上

問4 あなたの職業は次のうちどれにあたりますか。(1つに    を付けてください)

1. 農林漁業(主として)      2. 自営業(商業、工業、サービス業)  
3. 会社員(商業、工業、サービス業)      4. 公務員、団体職員、教員  
5. 学生      6. 家事専業  
7. アルバイト・パートタイム      8. 無職  
9. その他(具体的に:      )

地域の将来像についてお聞きします

問5 丹後6町は、将来的にどのようなまちになっていけばよいと思われませんか。以下のの中から4つ以内で    を付けてください。

1. 海岸や海浜などの美しい景観や水・緑を生かした自然豊かなまち  
2. 地域の歴史的資源や伝統・文化を生かしたまち  
3. 自然と調和した農林漁業が活発なまち  
4. 工業・商業・サービス業などが活発で、働く場に恵まれた産業のまち  
5. 道路・下水道・市街地などが整備された都市基盤充実のまち  
6. 快適に暮らせる住まいや居住環境に恵まれたまち  
7. 災害や事故のない安全なまち  
8. 高齢者や障害者などすべての人が安心して暮らせる福祉のまち  
9. 医療体制と健康づくり施策が充実した健康のまち  
10. 保育所・幼稚園・学校が充実し、子供たちが地域で健全に育つまち  
11. 文化・創作活動や生涯学習活動のさかんなまち  
12. スポーツ活動のさかんなまち  
13. 多くの観光客が訪れ、人々との活発な交流が行われる観光のまち  
14. ごみ減量やリサイクル活動など、環境問題に積極的に取り組むまち  
15. 情報や通信機能の発達した高度情報化のまち  
16. 国際交流に積極的に取り組むまち  
17. その他(具体的に:      )

問6 現在のあなたのまちの現状について、どのように感じていますか。下記の各項目についてその満足度を1～5のうちから1つだけ を付けて下さい。

また、丹後6町の将来のまちづくりをすすめるにあたって、どのような施策が重要だと思われるか。重要とお考えになる項目について5つ以内で を付けてください。

		大変満足	やや満足	どちらとも いえない	やや不満	大変不満	重要な項目
生活 基盤	1. 地域外との行き来が便利になるような幹線道路網の整備	1	2	3	4	5	
	2. 日常生活に利用する生活道路網の整備	1	2	3	4	5	
	3. 公共交通の充実(鉄道・バス路線の整備、便数の増加など)	1	2	3	4	5	
	4. 上下水道の整備	1	2	3	4	5	
	5. 情報通信基盤の充実	1	2	3	4	5	
	6. 住宅対策(公的な住宅供給を含む)の推進	1	2	3	4	5	
	7. 公園や緑地など身近ないこいの場の充実	1	2	3	4	5	
	8. 公民館、集会場等の身近なコミュニティ施設の充実	1	2	3	4	5	
	9. 安全対策・体制の推進、強化(防災、交通安全、消防体制の充実など)	1	2	3	4	5	
教育・ 文化・ 健康・ 福祉	10. スポーツ施設など住民が健康的な活動を行える場の整備・充実	1	2	3	4	5	
	11. 生涯学習機会の創出や支援施設(図書館など)の充実	1	2	3	4	5	
	12. 美術館・ホールなどの文化的施設の充実	1	2	3	4	5	
	13. 地域の豊かな自然とより一層親しめる取り組みの強化	1	2	3	4	5	
	14. 地域の特色ある歴史資源の活用によるまちづくり	1	2	3	4	5	
	15. 学校教育施設の充実	1	2	3	4	5	
	16. 子育てを支援する体制・施設の強化	1	2	3	4	5	
	17. 福祉的施設、体制の充実(老人・障害者施設の整備、高齢者対策など)	1	2	3	4	5	
	18. 保健・医療施設、体制の強化(病院、健康相談の充実など)	1	2	3	4	5	
産 業	19. 農林漁業の振興(生産基盤の整備、後継者育成など)	1	2	3	4	5	
	20. 工業の振興(企業誘致や地元企業の育成、起業の支援、伝統産業の活性化など)や地域内での雇用の場の確保	1	2	3	4	5	
	21. 商業の振興(中心商業地域の形成など)や買物の利便性、サービスの向上	1	2	3	4	5	
	22. 観光振興への取り組みの強化	1	2	3	4	5	
住民も 取り 組める 施策等	23. リサイクルの推進など、環境対策の強化	1	2	3	4	5	
	24. 地域間・国際間交流の推進	1	2	3	4	5	
	25. 人権尊重や男女共同参画社会(男女がともに能力を生かすことのできる社会)づくり	1	2	3	4	5	
	26. 行事やイベントなどの住民交流のための機会の充実	1	2	3	4	5	
	27. NPO(営利を目的としない公益的な民間の組織)やボランティア活動の推進に向けての取り組みの強化	1	2	3	4	5	
	28. 住民参加によるまちづくりの推進	1	2	3	4	5	
	29. その他(具体的に: )						

問7 現在、市町村合併についていろいろなところで議論されていますが、あなたは町が合併することについて、どのようなことを期待されますか、また不安に感じますか。

7-1 期待されることで重要と思われるものを、以下の中から4つ以内で を付けてください。

1. 財政規模の拡大によって可能となる、質の高い施設整備や魅力的なプロジェクトの実施
2. 道路や公共施設の効果的な整備、地域資源の連携による観光・交流活動の活性化などの広域的視点にたったまちづくり
3. 各町のスポーツ施設等の公共施設の有効活用や相互利用
4. 少子高齢化・過疎化の進行などの様々な課題に対応できる専門職員の確保・強化など、多様で高度な行政サービスの向上
5. 公共料金の見直し
6. 町長などの特別職や議員数の減少、職員の定員の適正化などによる行政経費の削減
7. 行政改革や財政構造改革の促進
8. 生活実態に即した行政界（町境）の見直し
9. 地域のイメージアップや存在感の向上による企業誘致、若者の定着促進
10. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
11. わからない

7-2 不安に思われることで重要と思われるものを、以下の中から4つ以内で を付けてください。

1. 行政区域が広くなり、行き届いたサービスが受けられなくなる
2. 合併後の役所（中心的な役割を担う役場）が遠くなり、不便になる
3. 一部の地域だけが発展し、その他周辺部が取り残される
4. 住民の連帯感が薄れ、地域のコミュニティが崩壊する
5. 町固有の歴史・文化・伝統が忘れられてしまう
6. 愛着のある現在の町の名前がなくなってしまう
7. 公共料金が高くなり、住民負担が重くなる
8. 議員の数が減少することにより、住民の意思が行政に反映されにくくなる
9. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）
10. わからない

問8 その他、今後のまちづくりに向けたご提案、合併に関するご意見・ご要望などがありましたら、自由にお書きください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

# みなさんの声をお聞かせください

## 高校生アンケート調査 ご協力をお願い

みなさん、こんにちは。峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議会です。

私たちは、丹後地域の6町（峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町）全体がともに発展するために将来のまちづくりについての話し合いをすすめています。

まちづくりの計画は、今すぐできる計画からみなさんがちょうど20歳～30歳ぐらいになるまでにできるものまで幅広く検討していきます。

このような計画をつくるには、大人の考えだけでなく、将来のまちを支えるみなさんの意見も、とても大事だと考えています。また、大人だけで話し合っても出てこないような、みなさんのアイデアも、将来のまちづくりの計画に取り入れていきたいと考えています。

ぜひ、ご協力をお願いします。

平成14年5月

峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町合併協議会

なお、このアンケート調査は、丹後6町（峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町）内の公立高校最終学年の方のうち、丹後6町のいずれかの町にお住まいの方を対象としています。

あ な た ご 自 身 の こ と に つ い て お 聞 き し ま す

問1 あなたのお住まいはどちらですか。

1. 峰山町
2. 大宮町
3. 網野町
4. 丹後町
5. 弥栄町
6. 久美浜町

問2 あなたの性別はどちらですか。

1. 男性
2. 女性

あ な た の 将 来 に つ い て お 聞 き し ま す

問3 高校卒業後の進路をどのように考えていますか。

1. 大学等（短期大学・専門学校を含めて）に進学したい
2. 6町（峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町）内に就職したい
3. 6町（峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町）外で就職したい

問4 将来、社会人になったり、結婚したりした時に、6町内に住みたいと考えていますか。

1. 6町（峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町）内に住みたい
2. 6町（峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町）内に住みたいと思わない
3. わからない

（問4で、1を選んだ人のみお答えください）

4-2 この地域に住みたいと思う理由は何ですか。  
あてはまるもの1つに を付けてください。

1. 家族と一緒に住みたいから
2. この地域で働くつもりだから
3. この地域が好きだから
4. その他（具体的に： \_\_\_\_\_）

(問4で、2を選んだ人のみお答えください)

4-3 この地域に住みたくないと思う理由は何ですか。  
あてはまるもの1つに を付けてください。

1. みんなで楽しんだり、遊ぶ施設などが少ないから
2. この地域に働く場がないから
3. 都会に魅力を感じるから
4. その他(具体的に： )

地域の将来像についてお聞きします

問5 丹後の6町において、将来的にどのような施策や取り組みを行って欲しいですか。  
あてはまるものについて5つ以内で を付けてください。

生活 基 盤	30. 道路の整備
	31. 鉄道やバスなどの利便性の向上
	32. 情報通信ネットワークの整備
	33. 公園や緑地など身近ないこいの場の充実
	34. 公民館、集会場などのみんなで集まって活動できる場の整備
教育・ 文化・ 健康・ 福祉	35. スポーツ施設などみんなが健康的な活動を行える場の充実
	36. 図書館などだれもが学習できる場の充実
	37. 美術館やホールなど文化的な施設の充実
	38. 地域の豊かな自然と、より一層親しめる取り組みの強化
	39. 地域の特色ある歴史的な資源の活用
	40. 学校などの教育施設の充実
	41. お年寄りや障害のある人たちが不自由なく活動できるような福祉施設の充実
	42. 病院などの医療施設の充実や、健康相談などの医療体制の強化
産 業	43. 働く場の創出
	44. 買い物や食事が楽しめる商業施設の充実
そ の 他	45. リサイクルの推進など環境対策の強化
	46. 地域外や国外の人との交流の機会の創出
	47. 行事やイベントなどの機会の創出
	48. ボランティア活動など住民で取り組む活動の推進
	49. その他(具体的に： )

問6 丹後の6町は将来的に、どのようなまちになっていけばよいと思いますか。  
あてはまるもの4つ以内で を付けてください。

1. 海岸や海浜などの美しい景観や水や緑を生かしたまち
2. 地域の歴史的資源や伝統・文化を生かしたまち
3. 自然と調和した農林漁業が活発なまち
4. 工業・商業・サービス業などが活発で、働く場に恵まれたまち
5. 道路やまちなみがきちんと整備されたまち
6. 住まいや身の回りの環境が充実した快適に暮らせるまち
7. 災害や事故のない安全なまち
8. 高齢者や障害のある人などすべての人が安心して暮らせるまち
9. 病院などが充実し、健康づくりに積極的に取り組むまち
10. 保育所・幼稚園・学校などが充実したまち
11. 文化・創作活動のさかんなまち
12. スポーツ活動のさかんなまち
13. 多くの観光客が訪れ、人々との活発な交流が行われるまち
14. リサイクル活動など、環境問題に積極的に取り組むまち
15. 情報や通信機能の発達したまち
16. 国外の人と積極的に交流するまち
17. その他（具体的に： \_\_\_\_\_ )

問7 あなたの住む町で、自慢できるものや好きな場所、他にはない特色などがあれば、具体的に書いて下さい。

具体的に：

問8 その他、この地域のまちづくりに関するご意見や、まちが元気になるアイデア等がありましたら、自由に書いてください。

以上で質問は終わりです。ご協力ありがとうございました。

協議第1号

協議第1号

新市建設計画について

# 目 次

## 1. 序 論

新市建設計画策定の方針	1-1
-------------	-----

## 2. 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町の現況

1 位置・地勢	2-1
2 歴史・沿革	2-4
3 人 口	2-7
4 交 通	2-9
5 地域間の連携の現状	
(1)日常生活圏域の状況	2-11
(2)広域行政等の現状	2-17
6 産 業	
(1)産業別就業者数	2-18
(2)農業	2-20
(3)漁業	2-22
(4)工業	2-23
(5)商業	2-26
(6)観光	2-28
7 観光的視点を中心とした地域資源の分布	
(1)自然資源	2-29
(2)歴史資源	2-29
(3)祭り・イベント	2-30
(4)地場産業資源	2-30
(5)温泉	2-30
8 主な公共・公益施設	2-31
9 既存計画にみるまちづくりの考え方	
(1)まちづくり上の課題に関する認識	2-32
(2)まちの将来像・基本目標	2-32

## 3. 6町合併の必要性

(1)暮らしやすい地域づくりにおける市町村の役割強化	3-1
生活圏の拡大への対応	
少子・高齢化への対応	3-2
多様化する住民ニーズへの対応	3-3
(2)地域の活力の向上と市町村の役割	3-6

- (3)地方分権で高まる市町村の役割強化 3-6
- (4)行財政の効率化に対する市町村の積極的な取組 3-7
  - 厳しい財政状況への対応
  - 納税者としての住民の意識への対応

## 1 . 序論

### 新市建設計画策定の方針

#### 計画の趣旨

本計画は、峰山町、大宮町、網野町、丹後町、弥栄町、久美浜町の合併後の新市の建設を総合的かつ効果的に推進することを目的とし、本計画を実現することにより、6町の速やかな一体化を促進し、住民福祉の向上と新市全体の均衡ある発展を図ろうとするものである。

なお、新市の進むべき方向についてのより詳細かつ具体的内容については、本計画に基づき、新市において作成する基本構想、基本計画、実施計画に委ねるものとする。

#### 計画の構成

本計画は新市を建設していくための基本方針および、これを実現するための主要事業、公共的施設の統合整備及び財政計画を中心として構成する。

#### 計画の期間

本計画における主要事業、公共的施設の統合整備及び財政計画は、合併後、概ね10年程度の期間について定めるものとする。

また、新市の基本方針を定めるに当たっては、将来を見据えた長期的視野に立つものとする。

#### その他

公共的施設の統合整備については、住民生活に急激な変化を及ぼさないよう十分配慮し、地域のバランス、さらに財政事情を考慮しながら逐次実施していくものとする。

財政計画については、地方交付税、国や府の補助金、地方債等の依存財源を過大に見積もることなく、新市において健全な財政運営が行われるよう十分留意して策定するものとする。

新たに誕生する市は、面積が広大になることから、全市域をカバーする事業と各地域の課題を把握したうえで地域の特性を生かせるような事業をハード、ソフトの両面にわたり、効果的な事業の展開を図っていくものとする。

また、本計画の検討に際しては、住民意向を十分に踏まえるとともに、合併の効果の最大活用、および合併に伴う懸念事項への適切な対応に、十分留意して策定するものとする。

## 新市建設計画の構成について

1. 序論	
(1)新市建設計画策定の方針	新市建設計画を策定するに当たっての策定方針を検討する。
2. 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町の概況	
(1)位置と地勢・歴史	6町の地勢・歴史的な背景を整理するとともに、社会・経済指標の推移を把握し、地域の現況を分析する。
(2)人口、産業の現状	
(3)広域圏における位置付け	広域市町村圏計画や京都府の長期計画等から、6町の広域圏における位置付け、役割等について整理する。
(4)地域の特性(まとめ)及び課題	(1)～(3)及び住民アンケート調査の結果などを踏まえ、6町の特性及び今後のまちづくりに向けての課題を検討する。
3. 6町合併の必要性	
(1)社会潮流から見た合併の必要性	地方分権の時代、高齢社会等の社会潮流からの合併の必要性について検討する。
(2)暮らしやすい地域づくりから見た合併の必要性	住民・行政サービスの高度化・多様化に対応する上での合併の必要性を検討する。
(3)地域の活性化と合併の必要性	地域の商工・農林漁業の活性化、観光・レクリエーションの振興といった視点からの合併の必要性を検討する。
(4)行財政の効率化と合併の必要性	活力ある自治体づくりに向けて、行財政の効率化の視点から、合併の必要性を検討する。
(5)合併に向けての留意点	上記(1)～(4)の必要性とともに、住民アンケート調査の結果などを踏まえ、住民にとって不利益、不便が生じないような合併及び新市づくりのための留意点を整理する。
4. 主要指標の見通し	
(1)人口	6町合併後の将来の総人口、就業人口とともに、年齢階層別人口、世帯数についてその見通しを検討する。
(2)世帯	
5. 新市建設の基本方針	
(1)新市の将来像	住民アンケート調査等の結果などを踏まえ、新市の“まちづくりの基本理念”を設定するとともに、その基本理念を具体化するための“新市建設の目標(将来像)”を示す。

(2)新市建設の基本方針	(1)の将来像を踏まえ、将来像実現のための“新市建設の基本方針”について、例えば、以下のような視点から検討する。 都市基盤整備 自然環境の保全と生活環境の整備 教育・文化の振興 健康・福祉の充実 産業の振興 住民参画型のまちづくりと連携・交流の推進 行財政の効率化
(3)都市構造と土地利用	ゾーニングと軸線により、概念的に新市の都市構造を設定するとともに、新市をいくつかの地域に分類し、地域別の土地利用の基本方向を検討する。
6.新市の施策	
(1)施策の体系化	5.(2)における基本方針ごとに、より具体的な施策方針を設定し、新市建設に向けての施策の体系化を行う。
(2)新市建設の基本方針に対応した施策展開	6.(1)における施策の体系の柱ごとに、住民アンケート調査の結果などを踏まえながら、施策展開に向けての考え方・方向性を設定し、それに対応した主要施策や事業の位置づけを行う。
7.新市における京都府事業の推進	新市において、推進すべき京都府事業について検討する。
8.公共的施設の統合整備	住民サービスの低下を招かないように配慮し、各地域のバランス及び財政事情を勘案して、公共的施設の統合整備の方向性について検討する。
9.財政計画	過去の歳入・歳出の推移や合併にともなう支援措置の活用等を踏まえ、合併後の財政計画について検討する。

## 2. 峰山町・大宮町・網野町・丹後町・弥栄町・久美浜町の現況

### 1 位置・地勢

丹後6町は、京都府の北西端に位置し、京都市から約150kmの距離にある。町域は東西に約25km、南北に約19km、面積約501.9km<sup>2</sup>である。

地形は、中国山脈の流れを受けた標高400～600mの山々が連なる山稜が広がり、中央部には盆地、北端には3町にまたがって連なる海岸といった形状を成している。また海岸部は、東側が若狭湾国立公園に、西側が山陰海岸国立公園に指定されている。

土地利用の状況は、地域の過半数の70.0%が山林・原野、田畑が13.9%、宅地は2.5%となっている。

多湿、多雨の典型的な日本海型気候で、年間平均降水量が2,000mm程度、降雨日数が100日程前後、降雪日数30日前後であり、晩秋から冬にかけては「うらにし」と呼ばれる、ぐずついた天気が続き、積雪も多い時には平野部で1m近くになる。

### 6町の面積

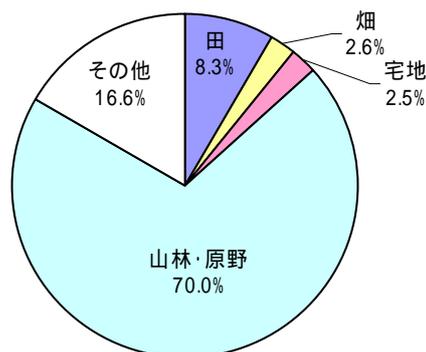
	峰山	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計
面積(km <sup>2</sup> )	67.5	68.9	75.1	65.0	80.4	145.0	501.9

### 6町土地利用状況

(単位:ha)

	峰山	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計
田	766	725	448	463	515	1,239	4,156
構成比(%)	11.4	10.5	6.0	7.1	6.4	8.5	8.3
畑	146	121	340	182	113	393	1,295
構成比(%)	2.2	1.8	4.5	2.8	1.4	2.7	2.6
宅地	251	202	293	117	145	237	1,245
構成比(%)	3.7	2.9	3.9	1.8	1.8	1.6	2.5
山林・原野	4,435	5,016	5,300	4,933	5,506	9,948	35,138
構成比(%)	65.8	72.8	70.6	75.9	68.5	68.6	70.0
その他	1,147	829	1,126	801	1,759	2,687	8,349
構成比(%)	17.0	12.0	15.0	12.3	21.9	18.5	16.6
計	6,745	6,893	7,507	6,496	8,038	14,504	50,183

交付税算定数基礎数値より



## 【各町の位置・地勢】

### 峰山町

---

京都府北部丹後半島の中心に位置し、峰山盆地の大部分を占めている。町域は東西 8.5km、南北 11.9km、面積 67km<sup>2</sup>で、そのうちの約 66%は山林・原野が占めている。四方を磯砂山、久次岳をはじめとする標高 400～600mの丘陵に囲まれ、1つの市街地と 18の集落からなっている。

### 大宮町

---

京都府の北西部に位置し、丹後半島のほぼ中心部にあり、丹後半島の玄関口のまちである。町域は東西 13.5km、南北 11.3km、面積 69 km<sup>2</sup>で、そのうちの約 73%を山林が占めている。

河川は、竹野川がその源を五十河に発し、町内を楕円形に流れ、常吉川、大谷川の支流と合流している。

### 網野町

---

日本標準時東経 135 度線上最北のまちで、京都府北部、丹後半島の西端に位置し、日本海に沿ってやや長く延びている。町域は東西 14.6km、南北 11.6km、面積 75 km<sup>2</sup>で、そのうちの約 71%を山林が占めている。土地の大半は中国山脈の余波を受けて複雑な山陵となり、標高の最高は久次岳頂上付近の約 540m、最低は浅茂川地区内の約 0.6m である。

主流である福田川と木津川の流域及び海岸沿いなどに約 400ha の平坦部が開け、福田川河口の網野、浅茂川地区が商工業の中心地である。

### 丹後町

---

京都府最北端に位置し、日本海に面している。町域は東西 15.8km、南北 6.3km、面積 65 km<sup>2</sup>で、そのうちの約 76%を山林が占めている。土地の大部分は標高 540m の依遅ヶ尾山を中心に中国山脈の流れを受けた帯状の山地であり、竹野川、宇川流域及び海岸沿いの平坦地に大小 32 の集落と約 430ha の田畑が展開している。海岸線は非常に変化に富み、若狭湾国定公園区域に指定され、6 の漁港と 8 の海水浴場がある。

### 弥栄町

---

京都府の北部、丹後半島の中央に位置している。町域は東西 13.2km、南北 9.3km、面積 80 km<sup>2</sup>で、そのうちの約 69%を山林が占めている。丹後半島を北流する竹野川と宇川が流れ、竹野川沿に約 600ha の肥沃な耕地が広がる平野部の弥栄地域と、標高 683mの太鼓山などの山岳と広大な山林をもつ山間部の野間地域に大別され、平野部では人口の 90%が集中している。

### 久美浜町

---

京都府の北西端に位置し、西は兵庫県、北は日本海に面し、北側を除いて周囲は山に囲まれている。町域は東西 13.8km、南北 15.8km、面積 145 km<sup>2</sup>（久美浜湾 7.3 km<sup>2</sup>を含む）で、そのうちの約 69%を山林が占めている。町内には、佐濃谷川、川上谷川、久美谷川、栃谷川の 4 本の主要河

川が南北に流れ、その流域に平野が広がり、集落が点在している。本町はこの河川を中心に水系 1 つとなっており、これらは全て久美浜湾に注いでいる。

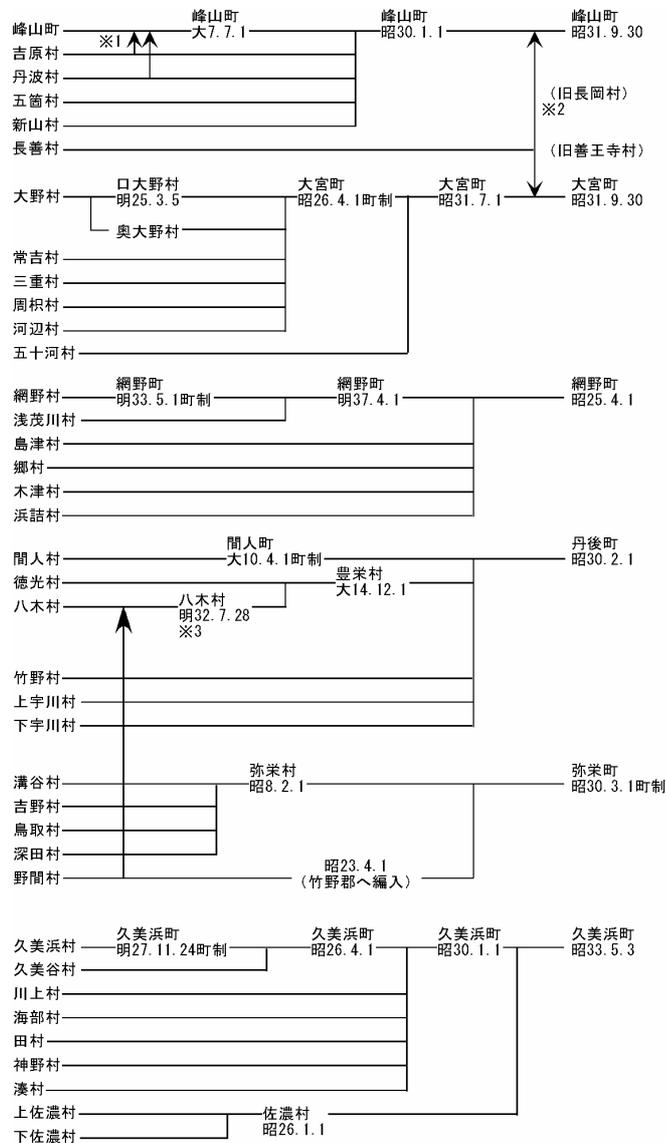
水と緑が調和した自然に恵まれ、資源も豊富であり、青くすきとおった海と白砂の日本海海岸一帯及び久美浜湾とその周辺は、山陰海岸国立公園に指定されている。

## 2 歴史・沿革

この地域では縄文時代早期にあたる宮の下遺跡に始まり、日本海側最大級の前方後円墳である「網野銚子山古墳」や日本最古の紀年銘鏡の「方格規矩四神鏡」など古代の繁栄をほうふつさせる多くの遺跡等が確認されている。約 2,000 年前の中国の貨幣「<sup>おうちゆう</sup>王莽の<sup>かせん</sup>貨泉」などから、古代から大陸との交易の跡が伺える。

また、明治の初めには、丹後・但馬、丹波、播磨、美作の五カ国を管轄した久美浜県の県庁舎が久美浜町内に建てられるなど、広域的な地域の中心地としても栄えた。

幾多の変遷を経て、38 町村が合併を繰り返し、現在の 6 町に至っている。



※1 大正7年7月1日、吉原村大字安の一部及び丹波村大字杉谷を峰山町へ編入。  
 ※2 昭和31年9月30日、長善村を大字善王寺は大宮町へ、大字長岡は峰山町へ。  
 ※3 与謝郡野間村（現弥栄町）大字野中小字大石を八木村へ編入。

### 各町の変遷

## 【各町の歴史・沿革】

### 峰山町

---

記録に残されたわが国最古の羽衣伝説の町として広く知られ、伊勢外宮の故地として、五穀・養蚕などわが国農業の発祥の地とも言われている。古代から大陸との交易の跡を残す古墳や遺跡が多く、特に平成6年、大田南5号墳から出土した「方格規矩四神鏡」は、日本最古の紀年銘鏡（青龍3年 西暦235年）として全国から注目を浴びるとともに古代丹後の繁栄を物語っている。また、享保5年（1720年）、峰山の絹屋佐平治（のちの森田治郎兵衛）によって「丹後ちりめん」が織り出され、その集散地となった。また丹後の農山漁村をつなぐ“商いの町、として栄えてきた。

昭和2年3月7日の丹後大震災により市街地の97%を焼失したが、まもなく復興。昭和30年から31年にかけて1町4村1地区が合併し、新しい峰山町として現在に至っている。北丹後唯一の城下町であり、現在も丹後の政治・経済・産業・文化の中心地となっている。

### 大宮町

---

古代の丹波国府、丹後国府の統合、中世の鎌倉・室町・安土桃山時代の変転極まりない統治時代を経て近世に至り、徳川幕府の全国統治の中で、峰山藩・宮津藩、直轄領に分割統治された。明治に入り藩籍奉還につづく廃藩置県により豊岡県に属したが、明治9年に京都府へ所属替えとなった。

明治22年町村制の施行により、いままで集落毎につくられていた16か村が大野・常吉・三重・五十河・周枳・河辺・長善の7か村になり、明治25年3月、大野村は口大野村・奥大野村に再び分村し、8か村となった。

昭和22年地方自治法が施行され、民主的な近代地方自治への転換、広域化が要請されるなかで、昭和26年4月、口大野村・奥大野村・常吉村・三重村・周枳村・河辺村の6か村が合併して大宮町が誕生した。その後、昭和31年7月に五十河村、同年9月に長善村のうち善王寺区域を編入合併し、現在の大宮町となった。

### 網野町

---

今から約7000年～8000年前の縄文時代早期にあたる宮の下遺跡から始まる。このほかにも日本海側では最大級の前方後円墳である網野銚子山古墳をはじめ、町内には古代丹後の繁栄をほうふつとさせる遺跡が数多く発見されている。また、浦嶋太郎、静御前にまつわる伝承なども伝えられている。

江戸時代には田辺、宮津、峰山の3藩のほか、ところどころに幕府の直轄地が混在し、一部は久美浜代官所の支配下に置かれることもあった。明治2年に久美浜県に属し、同4年廃藩置県によって豊岡県の管轄に入り、同9年に京都府に編入された。

このように幾多の変遷を経て、明治22年に町村制が実施されて網野村に、同37年には浅茂川村が網野村に組み入れられ、昭和25年に竹野郡西部5カ町村（網野町、島津村 郷村、木津村、浜詰村）が合併し、現在の網野町が誕生した。

## 丹後町

---

古く第9代開化天皇（前157）の妃となった竹野比売の昔から皇室との関係が深く、また出雲・大和両文化交流の接点、大陸文化導入の基地として重要な役割を果たした土地柄である。戦国時代に入り、徳川幕府直轄地を主として一部宮津藩に属していたが、明治4年廃藩置県により豊岡県に属し、同年9月京都府に編入された。明治22年町村施行に伴い、間人村、八木村、徳光村、竹野村、上宇川村、下宇川村が誕生した。

さらに大正10年間人村が町制施行、大正14年八木村、徳光村が合併して豊栄村となり昭和30年2月1町4か村が合併し丹後町が生まれ現在に至っている。

## 弥栄町

---

出雲文化の流れを受けて古くから開け、絹織物は遠く天平の昔から織り始められ、水稻は奈良時代から農業の中心として栽培されていたことは奈良正倉院に蔵されているあしぎぬ、奈良平城京跡から発掘された献米木簡からも明らかになっている。農業と織物の町として栄え、現在も伝統を受け継いでいる。また、平成6年には紀年銘鏡としては日本最古の『方格規矩四神鏡』、青龍三年鏡が出土し卑弥呼の鏡論争を全国に巻き起こし、平成8年に国指定重要文化財の指定を受けている。

天正年間には細川氏の領地に、江戸時代においては一部（字鳥取、黒部など6地区）は、徳川幕府の天領で久美浜代官の支配に、他は概ね宮津藩に属していた。明治2年に久美浜県に、その後、明治9年に京都府に編入、明治22年の町村制実施に伴い吉野・溝谷・深田・鳥取・野間の各村が誕生。昭和8年に野間村を除く4ヶ村が合併して弥栄村となる。昭和23年に野間村が与謝郡から竹野郡に編入され、同30年弥栄村と合併して弥栄町となる。

## 久美浜町

---

弥生時代に鉄と稲作の文化が伝えられ、日本海沿岸に位置することから、大陸文化の影響を受けながら農耕社会が形成されていった。江戸時代になると、久美浜は徳川幕府の直轄地となり、代官所が置かれた。また、海運業に適した地理的条件を生かし、廻船業を営む「五軒家」が栄え、主に日本海沿岸地域の物流には大きな役割を果たした。明治の始め、久美浜県が置かれ、丹後、但馬、丹波、播磨、美作の五か国・926か村を管轄。県庁舎が久美浜町内に建てられ、当時の県内各地から多くの人が集まって、町は大変にぎわった。その後、豊岡県に移り、しばらくすると豊岡県の廃止にともない京都府に編入された。

昭和30年に1町5か村が合併し、さらに昭和33年には佐濃村を編入して、現在の1郡1町の久美浜町となった。

### 3 人口

6 町の人口は、合計で 65,578 人であり、合併した場合、京都府内で 9 番目の規模となる。

総人口の推移は、減少傾向を示しており、ここ 20 年間で 10% の減少を示している。この中で、大宮町は、平成 7 年から平成 12 年にかけては、3.7% 増加している。逆に丹後町（5.8% 減）や網野町（3.8% 減）は大きく減少している。

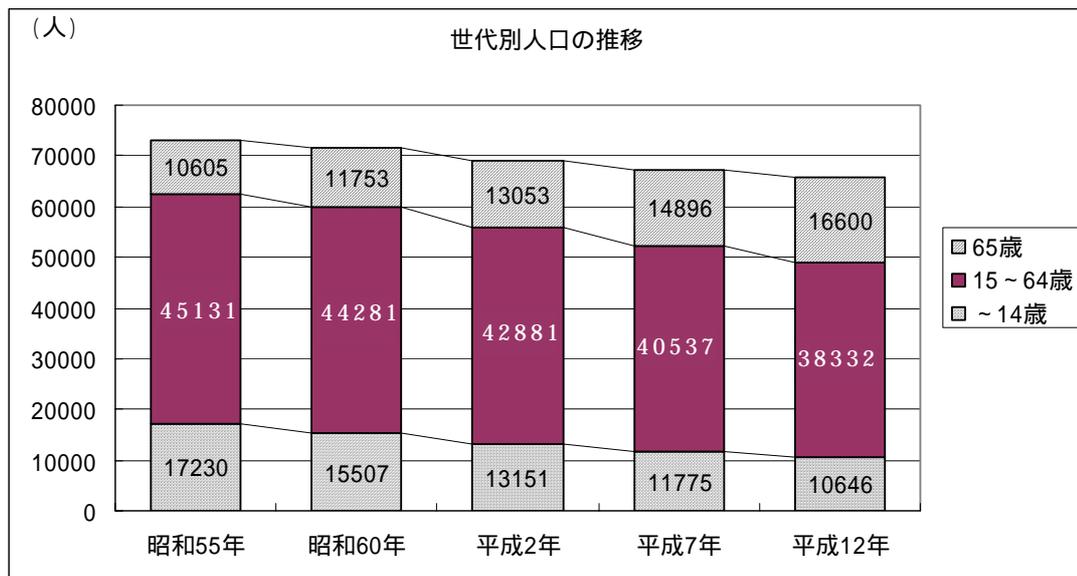
年齢別人口（3 区分）をみると、年少人口比率（15 歳未満）がここ 20 年間で 8% 減少する一方、高齢人口比率は 10% 増となっており、少子高齢化の傾向が顕著となっている。

また、高齢人口比率（25%）は、京都府全体（17%）と比較しても極めて高く、特に久美浜町（30%）丹後町（29%）は突出している。

人口の推移

年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	H7-H12 伸び率
峰山町	14,911	14,774	14,387	14,026	13,564	-3.29%
大宮町	10,597	10,486	10,291	10,416	10,805	3.73%
網野町	18,823	18,112	17,269	16,696	16,056	-3.83%
丹後町	8,956	8,611	8,042	7,607	7,164	-5.82%
弥栄町	6,501	6,388	6,275	6,125	6,132	0.11%
久美浜町	13,178	13,177	12,821	12,338	11,857	-3.90%
計	72,966	71,548	69,085	67,208	65,578	-2.43%

資料：国勢調査



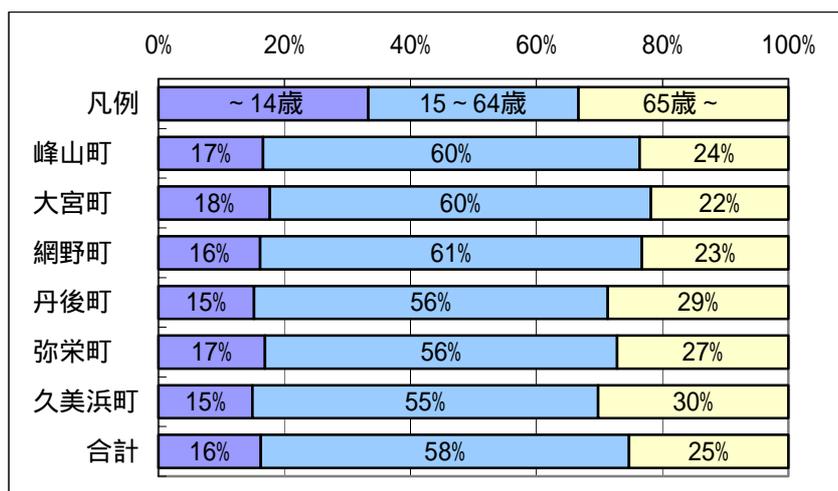
資料：国勢調査  
注）年齢不詳を除く

### 年齢別人口の推移

		昭和55年		昭和60年		平成2年		平成7年		平成12年	
		実数(人)	%								
峰山町	～14歳	3,667	25%	3,276	22%	2,741	19%	2,456	18%	2,251	17%
	15～64歳	9,241	62%	9,307	63%	9,266	64%	8,775	63%	8,109	60%
	65歳～	2,003	13%	2,191	15%	2,380	17%	2,795	20%	3,204	24%
	合計	14,911	100%	14,774	100%	14,387	100%	14,026	100%	13,564	100%
大宮町	～14歳	2,569	24%	2,300	22%	1,930	19%	1,871	18%	1,909	18%
	15～64歳	6,660	63%	6,609	63%	6,552	64%	6,440	62%	6,536	60%
	65歳～	1,368	13%	1,577	15%	1,809	18%	2,105	20%	2,360	22%
	合計	10,597	100%	10,486	100%	10,291	100%	10,416	100%	10,805	100%
網野町	～14歳	4,735	25%	4,096	23%	3,318	19%	2,906	17%	2,590	16%
	15～64歳	11,743	62%	11,390	63%	11,035	64%	10,499	63%	9,730	61%
	65歳～	2,345	12%	2,626	14%	2,916	17%	3,291	20%	3,736	23%
	合計	18,823	100%	18,112	100%	17,269	100%	16,696	100%	16,056	100%
丹後町	～14歳	2,013	22%	1,777	21%	1,492	19%	1,316	17%	1,089	15%
	15～64歳	5,472	61%	5,271	61%	4,823	60%	4,337	57%	4,020	56%
	65歳～	1,471	16%	1,563	18%	1,727	21%	1,954	26%	2,055	29%
	合計	8,956	100%	8,611	100%	8,042	100%	7,607	100%	7,164	100%
弥栄町	～14歳	1,474	23%	1,341	21%	1,224	20%	1,112	18%	1,037	17%
	15～64歳	3,915	60%	3,830	60%	3,750	60%	3,576	58%	3,428	56%
	65歳～	1,112	17%	1,217	19%	1,301	21%	1,437	23%	1,667	27%
	合計	6,501	100%	6,388	100%	6,275	100%	6,125	100%	6,132	100%
久美浜町	～14歳	2,772	21%	2,717	21%	2,446	19%	2,114	17%	1,770	15%
	15～64歳	8,100	61%	7,874	60%	7,455	58%	6,910	56%	6,509	55%
	65歳～	2,306	17%	2,579	20%	2,920	23%	3,314	27%	3,578	30%
	合計	13,178	100%	13,170	100%	12,821	100%	12,338	100%	11,857	100%
合計	～14歳	17,230	24%	15,507	22%	13,151	19%	11,775	18%	10,646	16%
	15～64歳	45,131	62%	44,281	62%	42,881	62%	40,537	60%	38,332	58%
	65歳～	10,605	15%	11,753	16%	13,053	19%	14,896	22%	16,600	25%
	合計	72,966	100%	71,541	100%	69,085	100%	67,208	100%	65,578	100%
(参考) 京都府 合計	～14歳	575,948	23%	538,628	21%	448,900	17%	390,138	15%	360,531	14%
	15～64歳	1,693,183	67%	1,757,517	68%	1,816,015	70%	1,842,467	70%	1,810,233	69%
	65歳～	257,836	10%	289,629	11%	327,429	13%	386,976	15%	459,273	17%
	合計	2,526,967	100%	2,585,774	100%	2,592,344	100%	2,619,581	100%	2,630,037	100%

(注) 年齢不詳を除く

### 各町の年齢別人口(H12)



#### 4 交通

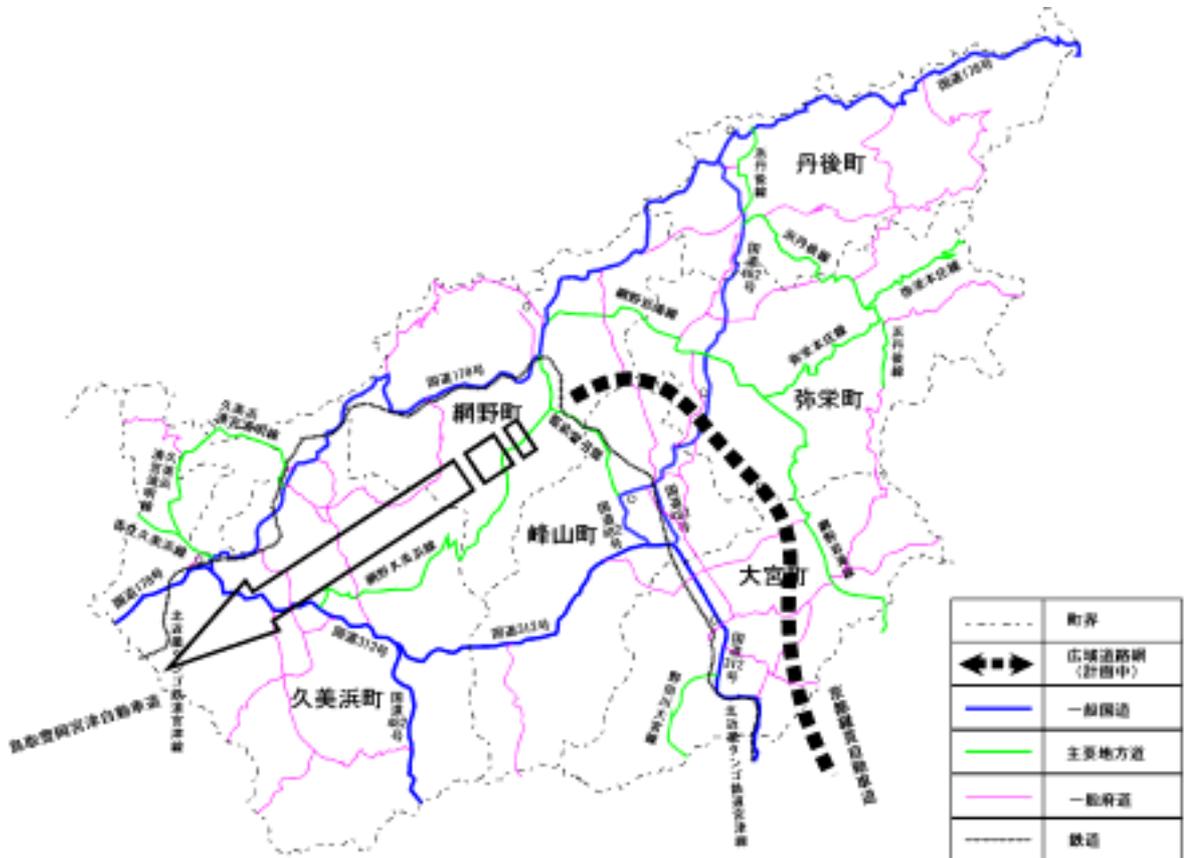
地域の交通網は、広域道路として、京都縦貫自動車道と鳥取豊岡宮津自動車道の計画が予定されているものの、未整備の段階である。当地区から京都市までの時間距離は、200分近くかかる現状であり、観光振興（都市圏からの集客）、各種産業振興（都市圏を対象とした展開など）の点においても、アクセスの強化が大きな課題の一つとなっている。

また、主要幹線として、国道178号、312号、482号線が6町を環状に結び、これを補完する形で、主要地方道及び府道が整備されている。

地区内の道路の整備状況は、道路改良率がどの町も50%に満たなく、特に弥栄町は23.5%と低い状況にある。また、自動車交通不能道比率も、弥栄町で53%、大宮町で42%を占めている。

公共交通機関については、鉄道網として、北近畿タンゴ鉄道が、大宮町 - 峰山町 - 網野町 - 久美浜町を結んで整備されているが、弥栄町、丹後町は通過していない。また、利用者数（乗車人員）は全体では若干増加しているものの、町ごとには増減が繰り返されている。

一方、乗合バスの利用者数は、年々減少の一途にある。



6 町周辺の道路網

京都市までの時間距離 単位：分

峰山町	202
大宮町	192
網野町	213
丹後町	223
弥栄町	208
久美浜町	215

注) ここで言う時間距離とは、役場間の最短ルートを道路設計速度によって走行した場合の時間(高規格道路を除く)

(1997年時点)

資料:市町村行財政研究調査会 研究調査報告平成13年2月市町村行財政研究調査会

	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計
実延長(m)	223,847	125,259	179,560	130,031	167,044	324,325	1,150,066
改良率(%)	47.0	42.3	46.5	28.1	23.5	37.8	
舗装率(%)	52.7	68.9	64.0	55.8	47.2	47.0	
自動車交通不能道比率(%)	26.2	42.1	37.0	53.4	21.4	29.6	

市町村公共施設状況調査

鉄道乗車人員(宮津線)

(単位:千人)

	旅客	昭和60年度	平成元年度	平成2年度	平成7年度	平成12年度
峰山町	乗車	170	146	140	126	99
	定期	66	39	49	61	64
	合計	236	185	189	187	163
大宮町	乗車	11	58	63	58	46
	定期	31	27	31	28	29
	合計	42	85	94	86	75
網野町	乗車	143	185	160	192	173
	定期	92	67	64	81	119
	合計	235	252	224	273	292
久美浜町	乗車	61	108	119	136	153
	定期	61	47	46	46	105
	合計	122	155	165	182	258
合計	乗車	385	497	482	512	471
	定期	250	180	190	216	317
	合計	635	677	672	728	788

定期は乗車のうち数、年間乗車人数

資料:北近畿タンゴ鉄道株式会社

乗合バス台数と利用者数(丹海バス)  
各年度末現在(単位:台、千人)

	台数	利用者
昭和60年	40	1,733
昭和61年	40	1,909
昭和62年	39	1,539
昭和63年	41	1,548
平成元年	41	1,436
平成2年	42	1,318
平成7年	42	1,064
平成12年	38	838

資料:丹後海陸交通株式会社

定期観光含む

## 5 地域間の連携の現状

### (1) 日常生活圏域の状況

居住者の通勤先は、概ね7割程度が町内で就業しているが、弥栄町や大宮町においては、他町に比べて低くなっており、地域外での就業が多くなっている。6町の中で自町外での就業先は、峰山町への流入が多くなっている。

その他の生活行動では、「買い物(衣服)」、「休日の外出」において、久美浜町から兵庫県への行動が見られるものの、6町全体でみると「買い物(食料品)」、「総合病院」及び上記の「買い物(衣服)」、「休日の外出」の行動において、自町内だけでなく6町内での活発な行動がみられる。

#### < 通勤先別就業者数 >

町名	就業者数 (常住地)	自町内就業者% (構成比)	就業上位3市町就業者数		
			第1位 (構成比)	第2位 (構成比)	第3位 (構成比)
峰山町	7,045	5,230 (74.2)	大宮町 493 (7.0)	網野町 297 (4.2)	弥栄町 263 (3.7)
大宮町	5,884	3,619 (61.5)	峰山町 1,009 (17.1)	宮津市 330 (5.6)	網野町 160 (2.7)
網野町	8,755	6,685 (76.4)	峰山町 922 (10.5)	大宮町 246 (2.8)	弥栄町 214 (2.4)
丹後町	3,682	2,764 (75.1)	峰山町 325 (8.8)	網野町 216 (5.9)	弥栄町 173 (4.7)
弥栄町	3,084	1,984 (64.3)	峰山町 538 (17.4)	網野町 161 (5.2)	大宮町 140 (4.5)
久美浜町	6,376	4,505 (70.7)	豊岡市 844 (13.2)	峰山町 371 (5.8)	網野町 228 (3.6)

平成12年国勢調査

< その他日常生活行動の動向 >

買物（食料品）



買物（衣服）



他市町村への移動	
----->	他市町村への移動が 5～10%未満
----->	他市町村への移動が10～30%未満
----->	他市町村への移動が30～50%未満
----->	他市町村への移動が50～70%未満
----->	他市町村への移動が70%以上
自市町村での行動	
市町村名	当該市町村内10%未満
市町村名	当該市町村内10～30%未満
市町村名	当該市町村内 30～50%未満
市町村名	当該市町村内 50～70%未満
市町村名	当該市町村内 70%以上
※市町村名に枠や下線がない市町村は、当該市町村内での行動がないことを示す。	



映画・コンサート等



かかりつけ医院



総合病院



スポーツ



他市町村への移動	
--->	他市町村への移動が 5~10%未満
--->	他市町村への移動が10~30%未満
--->	他市町村への移動が30~50%未満
--->	他市町村への移動が50~70%未満
--->	他市町村への移動が70%以上
自市町村での行動	
市町村名	当該市町村内10%未満
市町村名	当該市町村内10~30%未満
市町村名	当該市町村内 30~50%未満
市町村名	当該市町村内 50~70%未満
市町村名	当該市町村内 70%以上
※市町村名に枠や下線がない市町村は、当該市町村内での行動がないことを示す。	

教養・文化



図書館



資料：これからの市町村のあり方に関する府民意識調査各種団体関係者意識調査  
結果報告書平成 14 年 3 月 市町村行財政研究調査会

(2) 広域行政等の現状

現在 6 町は、峰山地方振興局等の管轄区域等で、一つの圏域として捉えられているだけでなく、消防やし尿、ごみ処理等の組合において、多岐に連携した事業が行われている。

	郡			JA	地方振興局 管内区域	税務署 管轄区域	簡易裁判所 管轄区域	公共職業 安定所 管轄区域
	中	竹野	熊野	京都丹後	峰山	峰山	峰山	峰山
峰山町								
大宮町								
網野町								
丹後町								
弥栄町								
久美浜町								
備考				他1市3町				

	火葬場	し尿	ごみ処理		消防	広域 市町村圏	府議会議員 選挙区区域	
	竹野川環境 衛生組合	竹野川環境 衛生組合	竹野郡塵芥処 理組合	丹後広域廃棄 物処理施設	丹後広域 消防組合	丹後地区 広域市町村圏	中郡及び 熊野郡	竹野郡
峰山町								
大宮町								
網野町								○
丹後町								○
弥栄町								○
久美浜町								
備考			不燃物ごみ	可燃ごみ 資源ごみ		他1市4町		

資料：市町村行財政研究調査会 研究調査報告平成 13 年 2 月  
市町村行財政研究調査会

## 6 産業

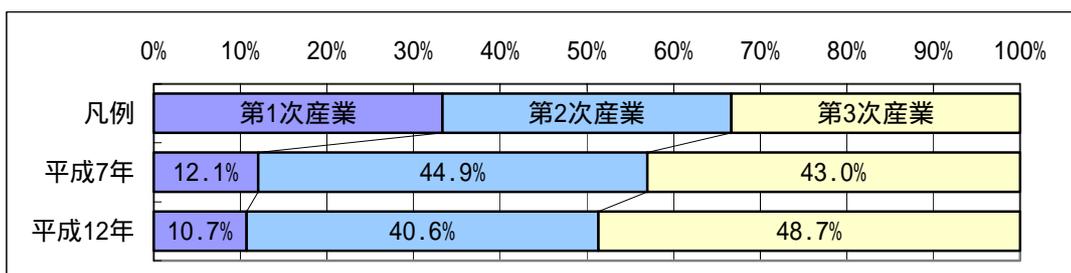
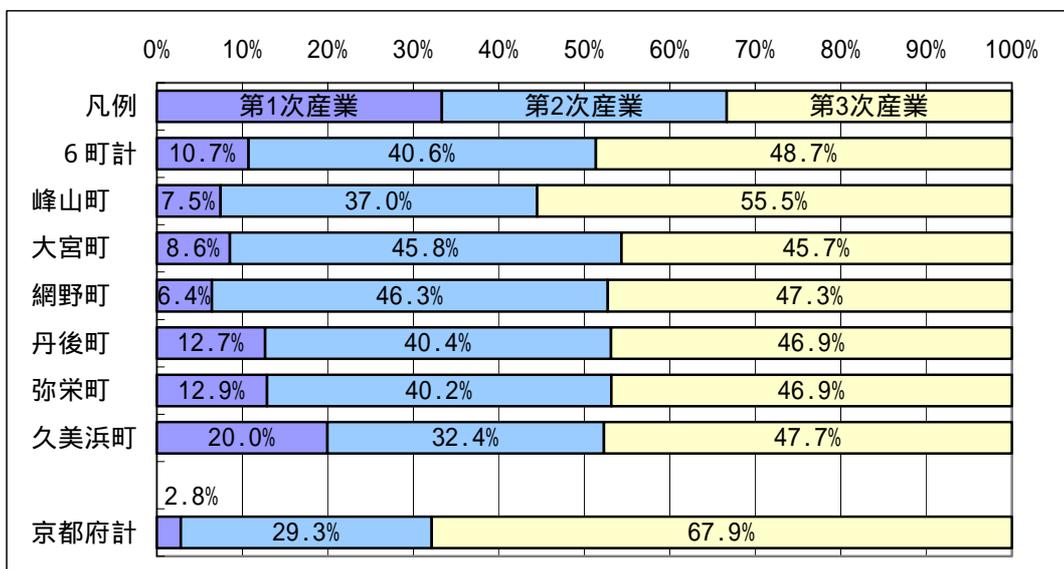
### (1) 産業別就業者数

6 町の産業別の就業者数は、第 1 次産業が 10.7%、第 2 次産業が 40.6%と、京都府全体の割合と比べても、極めて高くなっている。近隣市と比べても、特に 2 次産業の割合の高さが顕著である。この傾向は、概ね各町に共通してみられるが、久美浜町における 1 次産業の割合の高さ、網野町、大宮町における 2 次産業の割合の高さが際立っている。しかしながら、この 1 次産業及び 2 次産業は、就業者数、割合ともに近年低まる傾向にある。

産業分類別でみると、1 次産業は農業、2 次産業は製造業、3 次産業はサービス業の就業者数が多くなっている。このうち、農業及び製造業は、その人数が大幅に減少してきており、地区全体の産業構造の変化に大きく影響している。

65 歳以上の就業者割合をみると、1 次産業が峰山町の 71.3%を筆頭に、6 町全体でも 63.3%と特に高くなっており、就業者の高齢化の課題が伺える。

6 町の産業別就業者数の割合（平成 12 年）



6 町の分類別就業者数の推移

		総数	農業	林業	漁業	鉱業	建設業	製造業	電気・ガス・熱供給・水道業	運輸・通信業	卸売・小売業、飲食店	金融・保険業	不動産業	サービス業	公務(他に分類されないもの)	分類不能の産業	第1次産業	第2次産業	第3次産業
峰山町	H7	7,784	672	2	1		653	2,424	36	239	1,657	203	14	1,629	252	2	675	3,077	4,030
		100.0%	8.6%	0.0%	0.0%	0.0%	8.4%	31.1%	0.5%	3.1%	21.3%	2.6%	0.2%	20.9%	3.2%	0.0%	8.7%	39.5%	51.8%
	H12	7,045	511	15	1	11	705	1,892	45	214	1,524	139	20	1,717	251		527	2,608	3,910
	100.0%	7.3%	0.2%	0.0%	0.2%	10.0%	26.9%	0.6%	3.0%	21.6%	2.0%	0.3%	24.4%	3.6%	0.0%	7.5%	37.0%	55.5%	
大宮町	H7	-739	-161	13	0	11	52	-532	9	-25	-133	-64	6	88	-1	-2	-148	-469	-120
		-	-1.4%	0.2%	0.0%	0.2%	1.6%	-4.3%	0.2%	0.0%	0.3%	-0.6%	0.1%	3.4%	0.3%	0.0%	-1.2%	-2.5%	3.7%
	H12	6,094	615	10	1		526	2,401	15	163	956	93	9	1,113	189	3	626	2,927	2,538
	100.0%	10.1%	0.2%	0.0%	0.0%	8.6%	39.4%	0.2%	2.7%	15.7%	1.5%	0.1%	18.3%	3.1%	0.0%	10.3%	48.1%	41.7%	
網野町	H7	5,884	500	3		3	650	2,037	27	165	1,002	101	15	1,149	223	9	503	2,690	2,682
		100.0%	8.5%	0.1%	0.0%	0.1%	11.0%	34.6%	0.5%	2.8%	17.0%	1.7%	0.3%	19.5%	3.8%	0.2%	8.6%	45.8%	45.7%
	H12	5,884	500	3		3	650	2,037	27	165	1,002	101	15	1,149	223	9	503	2,690	2,682
	100.0%	8.5%	0.1%	0.0%	0.1%	11.0%	34.6%	0.5%	2.8%	17.0%	1.7%	0.3%	19.5%	3.8%	0.2%	8.6%	45.8%	45.7%	
丹後町	H7	-210	-115	-7	-1	3	124	-364	12	2	46	8	6	36	34	6	-123	-237	144
		-	-1.6%	-0.1%	0.0%	0.1%	2.4%	-4.8%	0.2%	0.1%	1.3%	0.2%	0.1%	1.3%	0.7%	0.1%	-1.7%	-2.3%	4.0%
	H12	9,537	555	8	116	35	800	4,274	17	180	1,537	170	4	1,627	213	1	679	5,109	3,748
	100.0%	5.8%	0.1%	1.2%	0.4%	8.4%	44.8%	0.2%	1.9%	16.1%	1.8%	0.0%	17.1%	2.2%	0.0%	7.1%	53.6%	39.3%	
弥栄町	H7	8,755	427	20	116	33	826	3,192	16	181	1,504	141	10	2,058	224	7	563	4,051	4,134
		100.0%	4.9%	0.2%	1.3%	0.4%	9.4%	36.5%	0.2%	2.1%	17.2%	1.6%	0.1%	23.5%	2.6%	0.1%	6.4%	46.3%	47.3%
	H12	8,755	427	20	116	33	826	3,192	16	181	1,504	141	10	2,058	224	7	563	4,051	4,134
	100.0%	4.9%	0.2%	1.3%	0.4%	9.4%	36.5%	0.2%	2.1%	17.2%	1.6%	0.1%	23.5%	2.6%	0.1%	6.4%	46.3%	47.3%	
久美浜町	H7	-782	-128	12	0	-2	26	-1,082	-1	1	-33	-29	6	431	11	6	-116	-1,058	386
		-	-0.9%	0.1%	0.1%	0.0%	1.0%	-8.4%	0.0%	0.2%	1.1%	-0.2%	0.1%	6.4%	0.3%	0.1%	-0.7%	-7.3%	8.0%
	H12	4,198	443	15	101	4	395	1,480	7	70	539	62	1	792	287	2	559	1,879	1,758
	100.0%	10.6%	0.4%	2.4%	0.1%	9.4%	35.3%	0.2%	1.7%	12.8%	1.5%	0.0%	18.9%	6.8%	0.0%	13.3%	44.8%	41.9%	
6町計	H7	3,682	365	3	98	6	406	1,073	7	77	502	46	2	842	247	8	466	1,485	1,723
		100.0%	9.9%	0.1%	2.7%	0.2%	11.0%	29.1%	0.2%	2.1%	13.6%	1.2%	0.1%	22.9%	6.7%	0.2%	12.7%	40.4%	46.9%
	H12	3,682	365	3	98	6	406	1,073	7	77	502	46	2	842	247	8	466	1,485	1,723
	100.0%	9.9%	0.1%	2.7%	0.2%	11.0%	29.1%	0.2%	2.1%	13.6%	1.2%	0.1%	22.9%	6.7%	0.2%	12.7%	40.4%	46.9%	
京都府計	H7	-516	-78	-12	-3	2	11	-407	0	7	-37	-16	1	50	-40	6	-93	-394	-35
		-	-0.6%	-0.3%	0.3%	0.1%	1.6%	-6.1%	0.0%	0.4%	0.8%	-0.2%	0.0%	4.0%	-0.1%	0.2%	-0.6%	-4.4%	5.0%
	H12	3,391	513	7	1	5	324	1,237	6	74	318	59	7	734	108	5	521	1,566	1,299
	100.0%	15.1%	0.2%	0.0%	0.1%	9.6%	36.5%	0.2%	2.2%	9.4%	1.7%	0.0%	21.6%	3.2%	0.1%	15.4%	46.2%	38.4%	
舞鶴市	H7	3,084	388	9	1	12	336	891	12	66	345	54	8	850	117	3	398	1,239	1,444
		100.0%	12.6%	0.3%	0.0%	0.4%	10.9%	28.9%	0.4%	2.1%	11.2%	1.8%	0.0%	27.6%	3.8%	0.1%	12.9%	40.2%	46.9%
	H12	3,084	388	9	1	12	336	891	12	66	345	54	8	850	117	3	398	1,239	1,444
	100.0%	12.6%	0.3%	0.0%	0.4%	10.9%	28.9%	0.4%	2.1%	11.2%	1.8%	0.0%	27.6%	3.8%	0.1%	12.9%	40.2%	46.9%	
宮津市	H7	-307	-125	2	0	7	12	-346	6	-8	27	-5	0	116	9	-2	-123	-327	145
		-	-2.5%	0.1%	0.0%	0.2%	1.3%	-7.6%	0.2%	0.0%	1.8%	0.0%	0.0%	5.9%	0.6%	-0.1%	-2.5%	-6.0%	8.5%
	H12	6,999	1,470	6	40	2	714	1,789	11	176	801	80	9	1,679	204	18	1,516	2,505	2,960
	100.0%	21.0%	0.1%	0.6%	0.0%	10.2%	25.6%	0.2%	2.5%	11.4%	1.1%	0.1%	24.0%	2.9%	0.3%	21.7%	35.9%	42.4%	
福知山市	H7	6,376	1,193	13	66	10	783	1,269	18	165	839	87	5	1,694	232	2	1,272	2,062	3,040
		100.0%	18.7%	0.2%	1.0%	0.2%	12.3%	19.9%	0.3%	2.6%	13.2%	1.4%	0.1%	26.6%	3.6%	0.0%	20.0%	32.4%	47.7%
	H12	6,376	1,193	13	66	10	783	1,269	18	165	839	87	5	1,694	232	2	1,272	2,062	3,040
	100.0%	18.7%	0.2%	1.0%	0.2%	12.3%	19.9%	0.3%	2.6%	13.2%	1.4%	0.1%	26.6%	3.6%	0.0%	20.0%	32.4%	47.7%	
京都府計	H7	-623	-277	7	26	8	69	-520	7	-11	38	7	-4	15	28	-16	-244	-443	80
		-	-2.3%	0.1%	0.5%	0.1%	2.1%	-5.7%	0.1%	0.1%	1.7%	0.2%	-0.1%	2.6%	0.7%	-0.2%	-1.8%	-3.5%	5.3%
	H12	38,003	4,268	48	260	46	3,412	13,605	92	902	5,808	667	37	7,574	1,253	31	4,576	17,063	16,333
	100.0%	11.2%	0.1%	0.7%	0.1%	9.0%	35.8%	0.2%	2.4%	15.3%	1.8%	0.1%	19.9%	3.3%	0.1%	12.1%	44.9%	43.0%	
京都府計	H7	34,826	3,384	63	282	75	3,706	10,354	125	868	5,716	568	52	8,310	1,294	29	3,729	14,135	16,933
		100.0%	9.7%	0.2%	0.8%	0.2%	10.6%	29.7%	0.4%	2.5%	16.4%	1.6%	0.1%	23.9%	3.7%	0.1%	10.7%	40.6%	48.7%
	H12	34,826	3,384	63	282	75	3,706	10,354	125	868	5,716	568	52	8,310	1,294	29	3,729	14,135	16,933
	100.0%	9.7%	0.2%	0.8%	0.2%	10.6%	29.7%	0.4%	2.5%	16.4%	1.6%	0.1%	23.9%	3.7%	0.1%	10.7%	40.6%	48.7%	
京都府計	H7	-3,177	-884	15	22	29	294	-3,251	33	-34	-92	-99	15	736	41	-2	-847	-2,928	600
		-	-1.5%	0.1%	0.1%	0.1%	1.7%	-6.1%	0.1%	0.1%	1.1%	-0.1%	0.1%	3.9%	0.4%	0.0%	-1.3%	-4.3%	5.6%
	H12	2,990	311	10	53	11	311	1,033	11	111	637	111	11	1,033	111	11	311	1,033	1,033
	100.0%	10.5%	3.1%	24.4%	9.5%	3.2%	4.6%	1.3%	1.2%	1.8%	1.8%	0.2%	2.2%	3.0%	0.2%	10.6%	4.2%	1.9%	
京都府計	H7	2,790	311	10	53	11	311	1,033	11	111	637	111	11	1,033	111	11	311	1,033	1,033
		100.0%	10.5%	3.1%	24.4%	9.5%	3.2%	4.6%	1.3%	1.2%	1.8%	1.8%	0.2%	2.2%	3.0%	0.2%	10.6%	4.2%	1.9%
	H12	2,790	311	10	53	11	311	1,033	11	111	637	111	11	1,033	111	11	311	1,033	1,033
	100.0%	10.5%	3.1%	24.4%	9.5%	3.2%	4.6%	1.3%	1.2%	1.8%	1.8%	0.2%	2.2%	3.0%	0.2%	10.6%	4.2%	1.9%	
京都府計	H7	-0.1%	-0.2%	2.0%	5.4%	4.1%	0.3%	-0.6%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.2%	0.1%	0.0%	0.1%	-0.4%	0.1%
		1,315,528	40,584	1,545	1,065	483	105,813	295,278	7,109	72,845	324,381	37,479	16,275	351,502	41,921	19,248	43,194	401,574	851,512
	H12	1,315,528	40,584	1,545	1,065	483	105,813	295,278	7,109	72,845	324,381	37,479	16,275	351,502	41,921	19,248	43,194	401,574	851,512
	100.0%	3.1%	0.1%	0.1%	0.0%	8.0%	22.4%	0.5%	5.5%	24.7%	2.8%	1.2%	26.7%	3.2%	1.5%	3.3%	31.0%	65.7%	
京都府計	H7	1,270,485	32,679	1,227	947	551	104,488	260,727	6,463	72,013	317,183	32,351	17,539	358,353	42,214	23,750	34,853	365,766	846,116
		100.0%	2.6%	0.1%	0.1%	0.0%	8.2%	20.5%	0.3%	5.7%	25.0%	2.5%	1.4%	28.2%	3.3%	1.9%	2.8%	29.3%	67.9%
	H12	11,543	859	27	188	18	1,459	1,510	120	504	2,629	277							

65歳以上就業者の割合（平成12年）

		第1次産業	第2次産業	第3次産業
峰山町	就業者数	527	2,608	3,910
	65歳以上就業者	376	246	368
	65歳以上比率	71.3%	9.4%	9.4%
大宮町	就業者数	503	2,690	2,682
	65歳以上就業者	348	350	180
	65歳以上比率	69.2%	13.0%	6.7%
網野町	就業者数	563	4,051	4,134
	65歳以上就業者	268	553	331
	65歳以上比率	47.6%	13.7%	8.0%
丹後町	就業者数	466	1,485	1,723
	65歳以上就業者	290	193	153
	65歳以上比率	62.2%	13.0%	8.9%
弥栄町	就業者数	398	1,239	1,444
	65歳以上就業者	257	161	90
	65歳以上比率	64.6%	13.0%	6.2%
久美浜町	就業者数	1,272	2,062	3,040
	65歳以上就業者	823	241	272
	65歳以上比率	64.7%	11.7%	8.9%
6町計	就業者数	3,729	14,135	16,933
	65歳以上就業者	2,362	1,744	1,394
	65歳以上比率	63.3%	12.3%	8.2%

分類不能を除く

資料：事業所・企業統計

(2) 農業

農業について、農業粗生産額をみると、6町全体で京都府の11.1%（H12）を占めており、近隣市と比べてもその額は大きい。特に久美浜町及び網野町において高い額を示している。

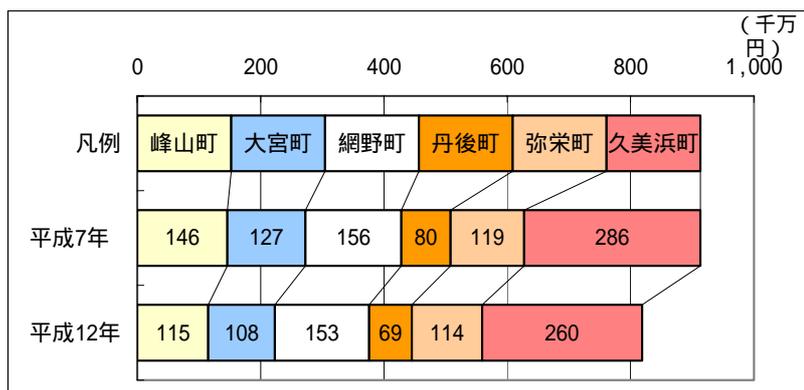
平成7年から12年の推移をみると、特に峰山町（-31千万円）、久美浜町（-26千万円）における減少が著しく、6町全体でも95千万円の減少となっている。

耕種別の内訳をみると、すべての町において、米の生産額が最も多く、6町全体でも京都府全体の約17%を占めている。また、丹後国営農地開発事業地区を中心に多品種栽培されている野菜のほか、網野町等における畜産や、久美浜町等における果実の生産額も高くなっている。

一方、農家の状況を専業・兼業別でみると、兼業農家の割合が87%を占めている。特に農業が従である第2種兼業農家の割合が、峰山町の83%を筆頭に、6町全体でも78%を占め、京都府全体と比較しても高い割合を示している。

		農業 粗生産額
峰山町	H7	146
	H12	115
	H12-H7	-31
大宮町	H7	127
	H12	108
	H12-H7	-19
網野町	H7	156
	H12	153
	H12-H7	-3
丹後町	H7	80
	H12	69
	H12-H7	-11
弥栄町	H7	119
	H12	114
	H12-H7	-5
久美浜町	H7	286
	H12	260
	H12-H7	-26
6町計	H7	914
	H12	819
	H12-H7	-95
	府シェア	
京都計	H7	11.4%
	H12	11.1%
	H12-H7	-0.4%
京都計	H7	8,007
	H12	7,406
宮津市	H7	166
	H12	133
福知山市	H7	359
	H12	304
舞鶴市	H7	250
	H12	239

### 農業粗生産額の推移



### 耕種別農業粗生産額 (平成12年)

(単位: 千万円)

	総数	第1位	第2位	第3位
峰山町	115	米	野菜	畜産
		78 (67.8%)	20 (17.4%)	7 (6.1%)
大宮町	108	米	野菜	工芸農作物 種苗・苗木 その他
		69 (63.9%)	23 (21.3%)	4 (3.7%) 4 (3.7%)
網野町	153	米	畜産	野菜
		47 (30.7%)	43 (28.1%)	27 (17.6%)
丹後町	69	米	野菜	畜産
		42 (60.9%)	12 (17.4%)	6 (8.7%)
弥栄町	114	米	畜産	野菜
		57 (50.0%)	19 (16.7%)	15 (13.2%)
久美浜町	260	米	野菜	果実
		109 (41.9%)	58 (22.3%)	54 (20.8%)
6町計	819	米	野菜	畜産
		402 (49.1%)	155 (18.9%)	81 (9.9%)
京都府	7,406	野菜	米	畜産
		2,381	2,344	1,164
宮津市	133	米	野菜	花き
		58	45	10
福知山市	304	米	野菜	畜産
		163	61	52
舞鶴市	239	米	野菜	畜産
		96	71	43

資料: 京都府統計書

専業・兼業農家数 (単位：戸)

販売農家計	計	専業農家	兼業農家	兼業農家	
				農業が主 第1種兼業	農業が従 第2種兼業
6町計	3,271	432	2,839	330	2,509
	100.0%	13.2%	86.8%	10.1%	76.7%
峰山町	616	63	553	44	509
	100.0%	10.2%	89.8%	7.1%	82.6%
大宮町	490	70	420	64	356
	100.0%	14.3%	85.7%	13.1%	72.7%
網野町	328	58	270	40	230
	100.0%	17.7%	82.3%	12.2%	70.1%
丹後町	335	41	294	38	256
	100.0%	12.2%	87.8%	11.3%	76.4%
弥栄町	419	62	357	48	309
	100.0%	14.8%	85.2%	11.5%	73.7%
久美浜町	1,083	138	945	96	849
	100.0%	12.7%	87.3%	8.9%	78.4%
京都府	28,857	4,788	24,069	3,024	21,045
	100.0%	16.6%	83.4%	10.5%	72.9%

資料：京都府統計書

(3) 漁業

京都府内では、6町内の丹後町、網野町、久美浜町を含めた日本海側2市4町で漁業が営まれているが、地域内の3町で、京都府の36%にあたる経営体数を有している。この内訳は、海面養殖においては、久美浜町が府内の45%にあたる81の経営体を有していることも特徴的である。

経営体階層別海面漁業経営体数（平成11年）

	総数	漁船非使用	漁船使用	大型定置網	小型定置網	地引網	海面養殖
丹後町	169	3	162	1	1	0	2
	41.4%	100.0%	51.3%	25.0%	50.0%		2.4%
網野町	106		103	2	1	0	
	26.0%	0.0%	32.6%	50.0%	50.0%		0.0%
久美浜町	133		51	1	0	0	81
	32.6%	0.0%	16.1%	25.0%	0.0%		97.6%
計	408	3	316	4	2	0	83
	府シェア	36.0%	60.0%	37.0%	21.1%	3.0%	0.0%
京都計	1,133	5	853	19	66	5	185

資料：京都府統計書

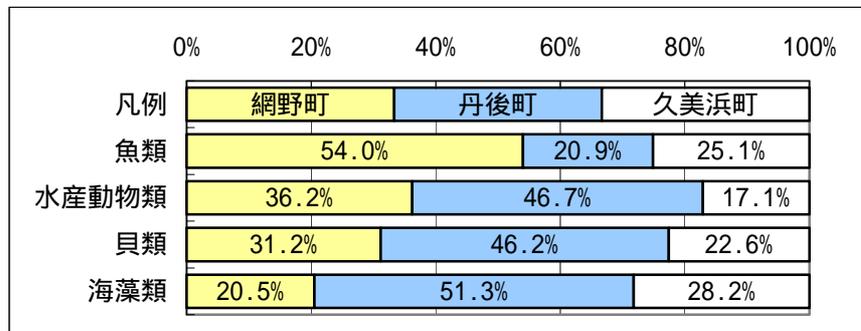
魚類別漁獲量の割合をみると、6町全体で京都府全体の14%（平成12年）のシェアを占めている。その内訳は、網野町を中心に魚類が最も高くなっているほか、カニ等の水産動物類が丹後町を中心に多く、全体で京都府の30%（平成12年）のシェアを占めており、平成7年と比較しても高い漁獲量となっている。

魚類別漁獲量

(単位:t)

		計	魚類	水産動物類	貝類	海藻類
網野町	H7	1,213	1,040	147	28	5
	H12	1,322	1,102	184	29	8
	H12-H7	109	62	37	1	3
丹後町	H7	785	557	141	30	18
	H12	729	426	237	43	20
	H12-H7	-56	-131	96	13	2
久美浜町	H7	600	438	33	99	4
	H12	631	513	87	21	11
	H12-H7	31	75	54	-78	7
計	H7	2,598	2,035	321	157	27
	H12	2,682	2,041	508	93	39
	H12-H7	84	6	187	-64	12
府シェア	H12	13.8%	12.0%	29.2%	18.7%	21.0%
京都府計	H12	19,427	17,005	1,740	498	186

魚類別漁獲量の割合（平成12年）



資料：京都府漁業の動き

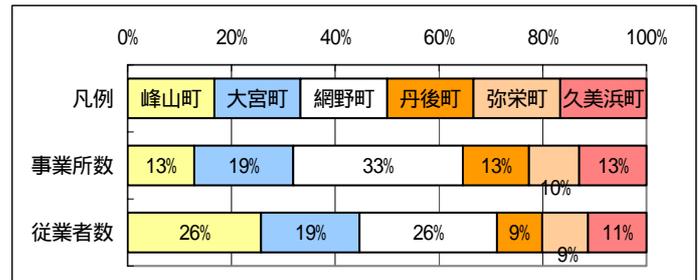
#### (4)工業

工業は、事業所数、従業者数共に近隣市と比べてもその数が多いが、平成8年から11年の間に大きく減少している（事業所数21%減、従業者数18%減）。

事業所数では網野町が6町全体の約1/3、従業者数においては、峰山町及び網野町がそれぞれ約1/4を占めている。平成8年から11年の間の推移は、すべての町において事業所数、従業者数共に減少している。

工業事業者数及び従業者数の推移

		事業所数	従業者数
峰山町	H8	606	3,768
	H11	490	3,507
	H11-H8	-116	-261
大宮町	H8	933	3,144
	H11	731	2,582
	H11-H8	-202	-562
網野町	H8	1,470	4,669
	H11	1,246	3,607
	H11-H8	-224	-1,062
丹後町	H8	682	1,705
	H11	488	1,187
	H11-H8	-194	-518
弥栄町	H8	446	1,381
	H11	369	1,195
	H11-H8	-77	-186
久美浜町	H8	721	2,044
	H11	496	1,539
	H11-H8	-225	-505
6町計	H8	4,858	16,711
	H11	3,820	13,617
	H11-H8	-1,038	-3,094
	府シニア	H11	11%
京都計	H11	34,707	315,863
宮津市	H11	437	2,557
福知山市	H11	787	11,104
舞鶴市	H11	889	10,818



資料：事業所・企業統計

製造業についてその内訳をみてみると、事業所数では「繊維工業」が6町全体の82%を占め、すべての町においても最も多く、6割以上を占めている。事業所ごとの従業者数は、6町全体の89%が4人未満となっており、京都府全体や近隣市と比較しても、その割合は非常に高くなっている。

従業者数においても、「繊維工業」が6町全体の過半数を占めており、最も多くなっているが、峰山町で「輸送用機械器具製造業」が最も多くなっている。

製造品出荷額等では、6町全体で「輸送用機械器具製造業」が最も高く、次いで「繊維工業」となっている。

主要な業種（6町全体の事業所数、従業者数、製造品出荷額等がそれぞれ上位3位以内）について、事業所数、従業者数、製造品出荷額等の推移をみてみると、「繊維工業」においてその減少が著しく、特に製造品出荷額等は50%以上の減少率となっている。一方、「一般機械器具製造業」や「輸送用機械器具製造業」については、製造品出荷額等において伸びを示している。

〔事業所数〕

	総数	第1位	第2位	第3位
峰山町	321	繊維工業 193 (60.1%)	一般機械器具製造業 26 (8.1%)	衣服その他の繊維製品製造業 17 (5.3%)
大宮町	559	繊維工業 453 (81.0%)	一般機械器具製造業 34 (6.1%)	衣服その他の繊維製品製造業 25 (4.5%)
網野町	1,036	繊維工業 939 (90.6%)	一般機械器具製造業 25 (2.4%)	衣服その他の繊維製品製造業 23 (2.2%)
丹後町	386	繊維工業 333 (86.3%)	一般機械器具製造業 8 (2.1%)	食料品製造業 8 (2.1%)
弥栄町	234	繊維工業 181 (77.4%)	一般機械器具製造業 15 (6.4%)	衣服その他の繊維製品製造業 7 (3.0%)
久美浜町	325	繊維工業 248 (76.3%)	なめしかわ・同製品・毛皮製造業 14 (4.3%)	家具・装備品製造業 9 (2.8%)
6町計	2,861	繊維工業 2,347 (82.0%)	一般機械器具製造業 111 (3.9%)	衣服その他の繊維製品製造業 83 (2.9%)
京都府	18,153	衣服その他の繊維製品製造業 7,483	一般機械器具製造業 1,266	金属製品製造業 1,136
宮津市	217	繊維工業 100	食料品製造業 58	衣服その他の繊維製品製造業 23
福知山市	300	金属製品製造業 36	食料品製造業 31	その他の製造業 24
舞鶴市	327	食料品製造業 79	金属製品製造業 41	衣服その他の繊維製品製造業 40

事業所数の内訳（平成12年）

	事業所総数		
	事業所総数	4人未満	4人未満の割合
峰山町	321	250	77.9%
大宮町	559	491	87.8%
網野町	1,036	950	91.7%
丹後町	386	357	92.5%
弥栄町	234	204	87.2%
久美浜町	325	291	89.5%
6町計	2,861	2,543	88.9%
京都府計	18,153	10,554	58.1%
宮津市	217	157	72.4%
福知山市	300	121	40.3%
舞鶴市	327	111	33.9%

〔従業者数〕

（単位：人）

	総数	第1位	第2位	第3位
峰山町	2,511	輸送用機械器具製造業 872 (34.7%)	繊維工業 469 (18.7%)	一般機械器具製造業 382 (15.2%)
大宮町	1,942	繊維工業 943 (48.6%)	食料品製造業 295 (15.2%)	一般機械器具製造業 242 (12.5%)
網野町	2,574	繊維工業 2,115 (82.2%)	一般機械器具製造業 94 (3.7%)	衣服その他の繊維製品製造業 79 (3.1%)
丹後町	779	繊維工業 553 (71.0%)	金属製品製造業 77 (9.9%)	一般機械器具製造業 49 (6.3%)
弥栄町	644	繊維工業 347 (53.9%)	窯業・土石製品製造業 94 (14.6%)	プラスチック・石炭製品製造業 72 (11.2%)
久美浜町	1,032	繊維工業 371 (35.9%)	その他の製造業 212 (20.5%)	衣服その他の繊維製品製造業 114 (11.0%)
6町計	9,482	繊維工業 4,798 (50.6%)	輸送用機械器具製造業 988 (10.4%)	一般機械器具製造業 833 (8.8%)
京都府	195,947	電気機械器具製造業 30,914	繊維工業 25,185	食料品製造業 22,812
宮津市	1,127	衣服その他の繊維製品製造業 448	食料品製造業 294	繊維工業 173
福知山市	6,784	電気機械器具製造業 1,034	精密機械器具製造業 852	化学工業 657
舞鶴市	5,945	窯業・土石製品製造業 1,120	輸送用機械器具製造業 889	衣服その他の繊維製品製造業 747

〔製造品出荷額等〕

(単位：百万円)

	総数	第1位	第2位	第3位
峰山町	36,083	輸送用機械器具製造業 18,376 (50.9%)	一般機械器具製造業 5,773 (16.0%)	電気機械器具製造業 3,047 (8.4%)
大宮町	17,638	食料品製造業 7,679 (43.5%)	繊維工業 3,139 (17.9%)	一般機械器具製造業 2,900 (16.4%)
網野町	10,274	繊維工業 7,415 (72.2%)	一般機械器具製造業 653 (6.4%)	木材・木製品製造業 437 (4.3%)
丹後町	3,198	繊維工業 1,391 (43.5%)	金属製品製造業 909 (28.4%)	一般機械器具製造業 500 (15.6%)
弥栄町	4,421	繊維工業 1,287 (29.1%)	窯業・土石製品製造業 1,240 (28.1%)	プラスチック・石炭製品製造業 898 (20.3%)
久美浜町	8,646	その他の製造業 4,464 (51.6%)	一般機械器具製造業 769 (8.9%)	食料品製造業 616 (7.1%)
6町計	80,260	輸送用機械器具製造業 19,920 (24.8%)	繊維工業 16,216 (20.2%)	一般機械器具製造業 10,988 (13.7%)
京都府	5,971,858	電気機械器具製造業 1,157,052	輸送用機械器具製造業 737,241	飲料・たばこ・飼料 679,001
宮津市	14,589	衣服その他の繊維製品製造業 7,705	食料品製造業 4,180	繊維工業 859
福知山市	214,856	精密機械器具製造業 40,661	電気機械器具製造業 31,666	化学工業 28,943
舞鶴市	202,297	窯業・土石製品製造業 66,938	飲料・たばこ・飼料 39,453	輸送用機械器具製造業 33,999

産業中分類別製造業の推移(平成12年 6町合計 上位項目のみ)

(単位：百万円)

		繊維工業	衣服その他の繊維製品製造業	一般機械器具製造業	輸送用機械器具製造業
事業所数	H7	3,712	87	111	29
	H12	2,347	83	111	25
	H12-H7	-1,365	-4	0	-4
	(増減率)	-36.8%	-4.6%	0.0%	-13.8%
従業員数	H7	7,871	638	868	1,016
	H12	4,798	434	833	988
	H12-H7	-3,073	-204	-35	-28
	(増減率)	-39.0%	-32.0%	-4.0%	-2.8%
製造品出荷額等	H7	36,605	2,672	9,010	17,712
	H12	16,216	1,575	10,988	19,920
	H12-H7	-20,389	-1,097	1,978	2,208
	(増減率)	-55.7%	-41.1%	22.0%	12.5%

資料：京都府の工業

## (5) 商業

商店数は峰山町、網野町の割合が高く、6町全体で京都府全体の2.9%、近隣の福知山市とほぼ同程度の数を有している。

一方、従業者数及び年間商品販売額等は、6町における峰山町の割合が商店数と比べて大きくなるが、京都府全体に対する割合はそれぞれ1.9%、1.4%と商店数に比べ低くなっており、一店舗当たりの従業者数及び年間商品販売額等も少ない。

平成6年から11年までの推移をみると、従業者数がほぼ横ばいなのに対し、商店数で9%減、年間商品販売額等で12%減と、特に減少の傾向が

強くなっている。

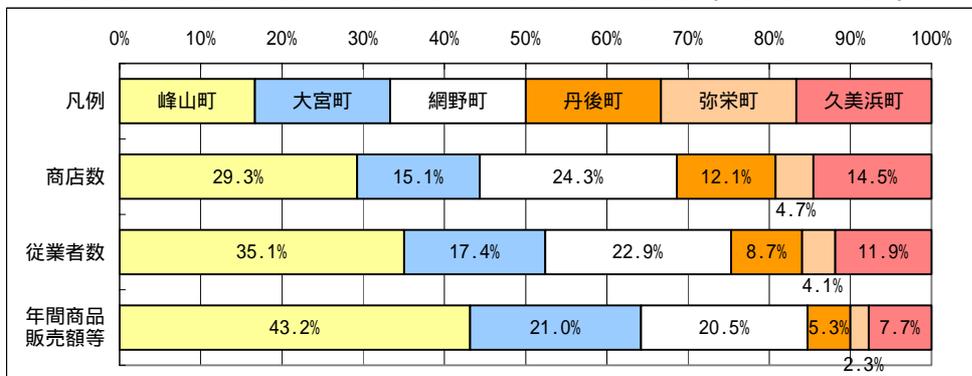
また、大規模店舗は、峰山町に集中して立地している。

商店数、事業者数、年間販売額等

(単位：人、百万円)

		商店数	従業者数	年間商品販売額等
峰山町	H11	364	1,794	52,205
		29.3%	35.1%	43.2%
大宮町	H11	188	888	25,433
		15.1%	17.4%	21.0%
網野町	H11	302	1,172	24,829
		24.3%	22.9%	20.5%
丹後町	H11	151	447	6,366
		12.1%	8.7%	5.3%
弥栄町	H11	58	209	2,731
		4.7%	4.1%	2.3%
久美浜町	H11	181	607	9,368
		14.5%	11.9%	7.7%
6町計	H6	1,364	5,200	137,259
	H11	1,244	5,117	120,932
	H11-H6	-120	-83	-16,327
府シェア	H11	2.9%	1.9%	1.4%
京都計	H11	42,480	275,904	8,824,399
宮津市	H11	529	2,538	44,999
福知山市	H11	1,322	8,727	260,195
舞鶴市	H11	1,681	8,848	230,606

商店数、事業者数、年間販売額等の割合（平成11年）



資料：京都府統計書

大規模店舗の数

	第一種	第二種	合計
峰山町	31	4	35
大宮町		1	1
網野町	1	4	5
丹後町		1	1
弥栄町			0
久美浜町		1	1
6町計	32	11	43

資料：平成11年 京都府の商業

注) 第1種：1つの建物内の店舗面積の合計が3,000㎡(京都市においては6,000㎡)以上である建物

第2種：1つの建物内の店舗面積の合計が500㎡を超え3,000㎡(京都市においては6,000㎡)未満である建物

(6) 観光

年間観光客数は、網野町、久美浜町、丹後町の海側3町で特に多くなっている。その内訳をみると、6町全体では日帰り客が全体の7割を占めているが、網野町では過半数が宿泊客となっている一方で、峰山町及び弥栄町では1割に満たないなど、町ごとのばらつきが大きくなっている。

年間観光客数

平成12年実績

		峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計
		143,345	114,534	589,200	401,700	368,183	502,730	2,119,692
内訳	日帰り客	140,567	103,441	265,400	269,800	358,951	390,880	1,529,039
	割合	98%	90%	45%	67%	97%	78%	72%
	宿泊客	2,778	11,093	323,800	131,900	9,232	111,850	590,653
	割合	2%	10%	55%	33%	3%	22%	28%

観光客の傾向について、6町を含む丹後地域11市町を対象としたアンケート結果をみると、2回以上の観光客が全体の約8割を占めており、冬期においてはさらに高い割合を示している。また、夏期においては5回以上繰り返して訪れる割合が高くなっている。

旅行の目的は、夏期における「キャンプ・アウトドア」の割合が高く、海水浴客の集客の高さが伺える。また、冬期においては、「料理・特産品」、次いで「休養・保養」の割合が高く、カニ料理や温泉といった地域資源を対象とした旅行が多くなっていると考えられる。

丹後地域入れ込みニーズに関する調査（丹後地域11市町を対象）

丹後地域に来られたのは何回目ですか。

単位：人・%

	総合計		夏		秋		冬	
	合計	構成比	合計	構成比	合計	構成比	合計	構成比
初めて	135	21.4	43	21.3	56	26.2	36	16.7
2回目	89	14.1	20	9.9	32	15.0	37	17.1
3～4回目	137	21.7	36	17.8	53	24.8	48	22.2
5回以上	97	15.3	40	19.8	25	11.7	32	14.8
10回以上	123	19.5	50	24.8	35	16.4	38	17.6
地域出身	25	4.0	7	3.5	9	4.2	9	4.2
地域内在住	26	4.1	6	3.0	4	1.9	16	7.4
合計	632	100.0	202	100.0	214	100.0	216	100.0

旅行目的は何ですか。

単位：人・%

	総合計		夏		秋		冬	
	合計	構成比	合計	構成比	合計	構成比	合計	構成比
(1)キャンプ・アウトドア	166	26.3	160	79.2	4	1.9	2	0.9
(2)自然景勝地の観光	130	20.6	9	4.5	77	36.0	44	20.4
(3)歴史・文化などの鑑	56	8.9	3	1.5	44	20.6	9	4.2
(4)休養・保養	87	13.8	11	5.5	31	14.5	45	20.8
(5)町並みや施設などの	32	5.1	1	0.5	15	7.0	16	7.4
(6)行事・イベント	45	7.1	8	4.0	12	5.6	25	11.6
(7)料理・特産品	117	18.5	2	1.0	20	9.3	95	44.0
(8)仕事・学業	10	1.6	3	1.5	7	3.3	0	0.0
(9)温泉	69	10.9	2	1.0	29	13.6	38	17.6
(10)帰省	15	2.4	7	3.5	5	2.3	3	1.4
(11)その他	24	3.8	5	2.5	15	7.0	4	1.9
合計	751	120.4	211	104.5	259	121.0	281	130.1

資料：丹後半島「健康と保養の郷づくり」に関するビジョン調査報告書

## 7 観光視点を中心とした地域資源の分布

### (1) 自然資源

この地域は、海、山等に代表される豊富な自然資源を有し、本地域を特徴づける魅力となっており、代表的な観光資源などとして活用されている。

○代表的な自然資源
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 山陰海岸国立公園、若狭湾国定公園海に代表される海の魅力（海水浴場、マリンスポーツ等での活用）</li> <li>・ 磯砂山（峰山町）等に代表される山々の魅力（ハイキングコース等での活用）</li> <li>・ 野間川（弥栄町）等の渓谷の魅力（鮎釣り等の活用）</li> <li>・ 離湖（網野町）(京都府下最大の淡水湖) 等</li> </ul>
○希少な自然資源
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 琴引浜（網野町）の鳴き砂</li> <li>・ 内山山系（大宮町）のブナ等の自生植物 等</li> </ul>
○景勝地
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 丹後松島（丹後町） 夕日ヶ浦海岸などの海岸沿いの景勝</li> <li>・ 七竜峠（網野町）等の山地部の景勝</li> <li>・ 内陸部の田園風景</li> </ul>
○自然を活用した施設
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 八丁浜シーサイドパーク（網野町）等の海岸のレクリエーション施設</li> <li>・ 森林公園スイス村（弥栄町）等の高原の観光施設（キャンプ場 等）</li> <li>・ 山村体験交流センターせせらぎ（網野町）等の体験施設</li> </ul>

### (2) 歴史資源

この地域は、縄文時代早期にあたる宮の下遺跡から始まる、古代より大陸との玄関として栄えた歴史があり、数多くの文化財も有している。また、丹後七姫伝説のうち5つの伝説（羽衣天女（峰山町）や静御前（網野町）など）など、数多くの伝説を有し、古きをしのばせる歴史的資源の宝庫となっている。

これらの歴史的資源を活かし、古代の里資料館（丹後町）が整備されるなど、観光への展開も一部みられる。

地域の歴史的資源(文化財)の数

	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計
国指定文化財	3	2	2	2	1	4	14
府指定文化財	6	3	0	9	9	20	47
町指定文化財	15	20	11	11	7	16	80
埋蔵文化財	201	230	182	113	187	304	1,217

H13.4.1現在

### (3) 祭り・イベント

この地域には、「水無月まつり（網野町）」、「しかか踊り（弥栄町）」といった、古くから続く伝統的な祭りが各地に存在する一方で、「ドラゴンカヌー選手権大会（久美浜町）」、「フェスタみねやま『飛天』」、「おおみや楽市・楽座」など、新たなイベントも開催され、新しい地域の風物詩となっている。

また、地域産業と連携した「碓高原祭り（丹後町）」、「ちりめん祭り（網野町）」といったイベントや丹後4町を駆け抜ける「丹後ウルトラマラソン（網野町）」も開催されるなど、多様な交流の機会を創出している。

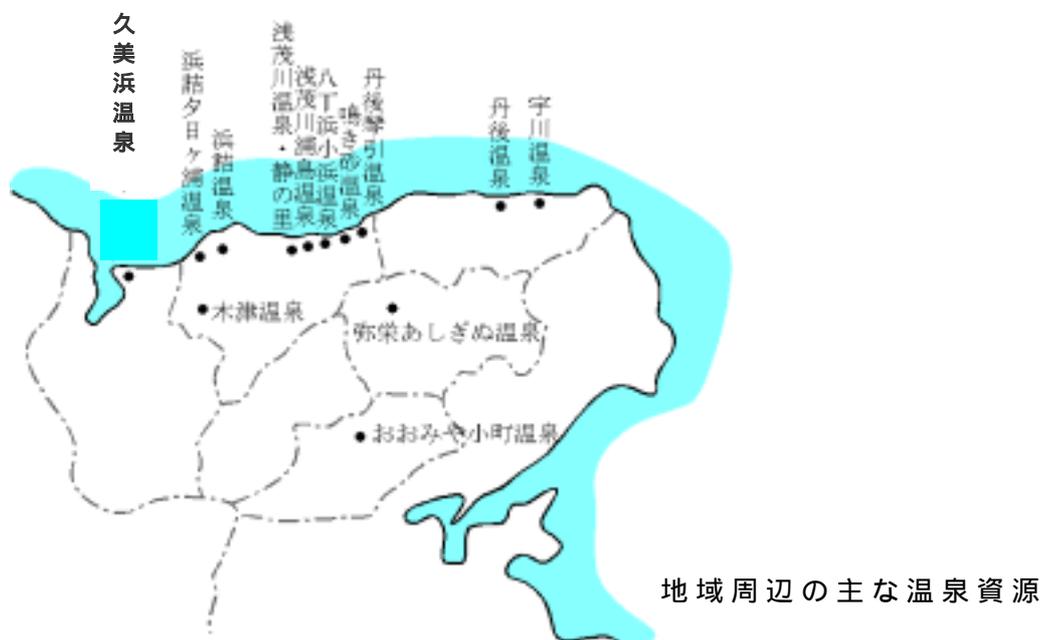
### (4) 地場産業資源

この地域の水産物を活かしたカニ料理は、既に知名度も高く、多くの観光客を招いている。これ以外にもカキ料理（久美浜町）、国営農地を中心に栽培されているモモ、ナシといったフルーツなど、多様な1次産品も生産されている。また、古くからの地場産業である丹後ちりめんは、土産物としても各種生産されている。

これらの地場産業資源を活かし、「丹後あじわいの郷（弥栄町）」に代表される体験型施設等も整備されている。

### (5) 温泉

地域内には、泉温、湧出量に優れた温泉が数多く存在する。これらは特に海岸部に多く位置しているが、内陸部でも整備が進んできており、地域に広く多様な施設が分布している。



地域周辺の主な温泉資源

## 8 主な公共・公益施設

この地域の主な公共・公益施設の分布をみると、官公署が峰山町に集中している。また、文化的施設は、峰山町に図書館が1箇所整備されているが、この他、博物館・美術館といった文化的施設はみられない。

主要な公共・公益施設

		峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	計
官公署		6	0	0	0	0	1	7
	法務局出張所 検察庁 裁判所 税務署 保健所 府総合庁舎						農政局事務所	
教育・文化施設	小学校数	7	3	6	4	5	7	32
	中学校数	1	1	2	2	1	2	9
	公立高等学校数	1 峰山高校	0	1 網野高校	1 網野間人分校	1 峰山弥栄分校	1 久美浜高校	5
	図書館箇所数	1	0	0	0	0	0	1
	体育館箇所数	0	1	1	1	2	0	5
	陸上競技場箇所数	1	0	0	0	0	0	1
	野球場箇所数	1	1	0	0	0	0	2
	プール	0	0	1	1	0	0	2
医療・福祉	総合病院	1	0	1	0	1	1	4
	町立	0	0	0	0	1	1	2
	町立以外	1	0	1	0	0	0	2
	老人福祉施設(民間を除く)	0	0	0	1	3	3	7

## 9 既存計画にみるまちづくりの考え方

ここでは、まちづくり上の課題に対する認識、まちの将来像・基本目標について、既存計画を踏まえる中で、今後のまちづくりに向けた基本的考え方を整理する。

### (1)まちづくり上の課題に関する認識

#### 情勢の変化に対する認識

近年の全国総合開発計画は、地球規模の視点(地球環境問題、国際交流)、人口減少、高齢化、高度情報化といった時代背景を踏まえたものとなっている。

一方、各町の総合計画における情勢の変化に対する認識は、上記の視点について共通して認識されているほか、概ね、価値観の多様化、環境問題(自然の保全・回復)、産業構造に関する課題(経済の安定化、産業構造の転換の必要性)といったキーワードが抽出される。

#### 主要課題

各町の総合計画から、特に主要な課題に関する事項として、概ね、少子・高齢化への対応、定住の促進、環境問題への対応、産業構造の転換、住民参画のまちづくりといったキーワードが、共通認識としてあげられている。

全国総合開発計画や京都府総合計画においても、これらのキーワードが踏まえられているほか、地域の自立(自主性・主体性)あるまちづくりがうたわれている。

### (2)まちの将来像・基本目標

各町の総合計画では、将来像、基本的視点に関して、豊かな自然・歴史資源の重視と地域個性の創出、住民参加のまちづくり、交流の促進(人、地域)、若者の定着、生活環境の充実といったキーワードが共通認識として抽出される。

加えて、基本目標としては、少子高齢化への対応(いきがづくり)、産業の活性化といったキーワードが抽出される。

全国総合開発計画などの上位計画においても、概ねこうした考え方は踏襲されているが、より多様な交流連携、持続性のある発展、地域の個性をいかした新たな文化の創出といった視点が特に重要視されているものと考えられる。

各町の総合計画

	峰山町 第4次峰山町総合計画 (H14.3~H24.3)	大宮町 第3次大宮町総合計画 (H12.3~H22.3)	網野町 第4次網野町振興計画 (H11.3~H21.3)	丹後町 第4次丹後町総合計画 (H14.3~H24.3)	弥栄町 第2次弥栄町総合計画 (H4.3~H13.3)	久美浜町 第4次久美浜町総合計画 (H13.3~H23.3)	傾向のまとめ
情勢の変化に対する認識	まちづくりをとりまく社会背景 環境問題 情報化 少子高齢化 価値観の変化 国際化	時代の潮流(本文よりキーワードを抽出) 地域の自立と共生 多様な主体の参加と地域間の連携 自然の保全・回復 文化の創造 多様な暮らしを選択する可能性の提供	人口の少子・高齢化の進行 高度情報化・国際化の進展 産業構造の転換 (「はじめに」よりキーワードを抜粋)	これからのまちづくり課題 少子・高齢化、人口減少の進行 自然との共生、地球環境への意識の高まり IT(情報技術)による産業・社会構造の変化 交流と連携の時代 価値観の多様 地方分権の進展と広域行政の推進	人々の価値観の多様化 物質的豊かさの追求から精神的豊かさの追求へ (「計画策定の目的と性格」よりキーワードを抜粋)	人口の減少 経済の低成長 情報化、国際化の進展 (「計画策定の意義」よりキーワードを抜粋)	<キーワード> 斜体は3町以上共通  人口の課題(少子高齢化、人口減少) 価値観の多様化(多様な暮らしの選択性、精神的豊かさ) 環境問題(自然の保全・回復、自然との共生、地球環境問題) 高度情報化 国際化 産業構造(経済の低成長、産業構造の転換) 行政等(地域の自立と共生、地方分権、広域行政) 住民参加 交流(地域間連携、交流と連携の時代) 文化の創造
主要課題	まちづくりの課題 少子高齢化への対応 まちの活性化と若者定住 自然との共生 郷土への愛着と誇り 住民と行政の協働	まちの現況と課題 安定した人口と地域の人口格差 地域経済の低迷・複合経営による産業振興 少子・高齢化の進展、地域福祉・医療の充実と健康社会の現実 学習と創造の場、生涯学習の推進と文化の継承 環境問題に対する意識の変化と循環型社会の構築 快適生活空間の創造と安全で安心な社会の構築 地域コミュニティ環境の形成 共に造る地域づくりの推進 高度情報化の進展と国際文化への対応 地方分権・行政改革の推進	定住化促進のための基盤整備 産業の構造改善 (「総論」よりキーワードを抜粋)	これからのまちづくり課題 豊かな自然、歴史文化資源を活かしたまちづくり 産業のむすびつきによる交流の創出 少子高齢化、人づくりへの取り組み 農山漁村集落の機能維持 住民が主役、主体のまちづくり 広域行政、町村合併の具体的な取り組み	自然と快適な都市的機能の共存 魅力ある働き場 思いやり豊かな福祉、保健環境 創造的な教育文化環境 (新しいまちづくりの基本目標に向けた4要素)	地域経済の低迷 若者の流出と過疎化の進行 少子・高齢化の進行 (「計画策定の意義」よりキーワードを抜粋)	<キーワード> 斜体は3町以上共通  少子・高齢化への対応 定住促進(人づくり) 環境(自然との共生、環境問題対策) 産業構造(働く場づくり、構造改革、一次産業基盤維持) 住民参加(行政との協働、住民主体) 文化(歴史資源の活用、教育環境の充実) 交流(人、地域間、国際間、産業間) 郷土への愛着 生活環境整備(福祉・医療、安全・安心なまち) 行政(地方の自立、広域行政促進) 高度情報化

	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	傾向のまとめ
将来像	将来像 住む人の心と心がやさしく響きあう町 ハーモニータウン みねやま	将来像 美しく大好きなふるさと・大宮 - やさしく、たくましい挑戦 -	まちづくりのタイトル 海がきれい、まちが楽しい、人がかがやくふるさと網野 ~ 未来の仲間へ贈るまちづくり ~	町の将来像 ふれあい（交流） めぐりあい（循環） むすびあう（きずな） まちづくり	町の将来像（総合計画タイトルより） 生き活きと豊かに暮らせる弥栄町	町の将来像 「うみ、さと、やま」 交流でありなす、うるおいとやすらぎのまち	< 主要な視点 >  豊富な自然資源の活用 様々な歴史資源の活用 住民の参加と行政と協働 交流の促進（人、地域） 若者の定着（ひとづくり、働く場の創出） 生活基盤の充実
基本的視点	まちづくりの視点 「人」と「自然」との調和 「人」と「人」との調和 「古さ」と「新しさ」との調和 「都市的機能」と「村落的機能」との調和 「住民」と「行政」との調和	地域づくりの理念と視点 大宮町にくらす人の視点にたった地域づくり 集落自治を基礎とした、住民が参画し築く地域づくり 自然と文化を活かした個性ある地域づくり 広域的視野にたった地域づくり	まちづくりのテーマ 仕事があって、毎日が充実し、安心できる暮らしがあるまちをめざす	まちづくりの視点 人としての重視 多様な交流の創出 新たな価値の創造	弥栄町の将来目標像 人づくりを推進し、住んで誇りのもてる町づくりを推進 だれもが快適な生活をおくれる生活基盤が整備された町づくりの推進 緑豊かでうるおいを感じる田園都市的整備の推進 新しい観光産業の推進と地域イメージアップ施策の展開 若者が定着できる地場産業活性化施策の展開 だれもが安心して暮らせる健康・福祉施策の充実 ふるさと文化の創造と国際交流推進の町づくり	まちづくりの視点 自然美 絆の心 町の個性 町の誇り 人材育成 情報化	
基本目標	施策の柱 住んでよかったと言えるまちをつくる（少子高齢化への対応） 住んでみたいと思えるまちをつくる（まちの活性化と若者定住） 未来へ引き継ぐまちをつくる（自然との共生） まちを支える人をつくる（郷土への愛着と誇り） まちはみんなで作る（住民と行政の協働）	地域づくりへの挑戦課題（基本目標） 地域と産業が輝く地域づくりの挑戦 生きがいとやすらぎのある地域づくりへの挑戦 人と文化の花開くふるさとづくりへの挑戦 水とみどりが調和するうるおいのある地域づくりへの挑戦 いきいきと人がふれあう地域づくりへの挑戦	まちづくりのドラマのストリー きれいな海とまちの誇りづくり ~ 人と環境にやさしいまちづくり ~ 楽しいまちのもてなしづくり ~ 交流で育むにぎわいと活気 ~ かがやく人の輪づくり ~ みんなで築く生きがいと安心 ~ 共有できるまちづくり ~ 「だれかがやる」から「自分たちがやる」 ~	まちづくりの基本目標 美しい自然がつながる住みよいまちづくり めぐりあう産業がなく住み続けたいまちづくり ふれあいとやさしさがあるまちづくり 豊かな心がむすぶ生きがいのあるまちづくり 住民と行政の協働のまちづくり	基本目標 快適で住みよい環境の機能的な町づくり 活力にみちた魅力ある地域産業発展の町づくり 健やかでうるおいある福祉のまちづくり	まちづくりのプログラム 人・もの・情報が交流するまちづくり 生きるよろこびが実感できるまちづくり ふれあいの中で学び育むまちづくり 町民と共にすすめるまちづくり	< 主要な視点 >  少子高齢化への対応（いきがいづくり） 若者の定住 自然との共生 個性ある郷土づくり 住民参加のまちづくり 産業の活性化 交流の促進 生活環境充実のまちづくり

全国総合開発計画

	第四次全国総合開発計画（四全総）	21世紀の国土のグランドデザイン
背景	1 人口、諸機能の東京一極集中 2 産業構造の急速な変化等により、地方圏での雇用問題の深刻化 3 本格的国際化の進展	1 地球時代 （地球環境問題、大競争、アジア諸国との交流） 2 人口減少・高齢化時代 3 高度情報化時代
基本目標	<多極分散型国土の構築> 安全でうるおいのある国土の上に、特色ある機能を有する多くの極が成立し、特定の地域への人口や経済機能、行政機能等諸機能の過度の集中がなく地域間、国際間で相互に補完、触発しあいながら交流している国土を形成する。	<多軸型国土構造形成の基礎づくり> 多軸型国土構造の形成を目指す「21世紀の国土のグランドデザイン」実現の基礎を築く。 地域の選択と責任に基づく地域づくりの重視。
基本的課題	1 定住と交流による地域の活性化 2 国際化と世界都市機能の再編成 3 安全で質の高い国土環境の整備	1 自立の促進と誇りの持てる地域の創造 2 国土の安全と暮らしの安心の確保 3 恵み豊かな自然の享受と継承 4 活力ある経済社会の構成 5 世界に開かれた国土の形成
開発方式等	<交流ネットワーク構想> 多極分散型国土を構築するため、地域の特性を生かしつつ、創意と工夫により地域整備を推進、基幹的交通、情報・通信体系の整備を国自らあるいは国の先導的な指針に基づき全国にわたって推進、多様な交流の機会を国、地方、民間諸団体の連携により形成。	<参加と連携> - 多様な主体の参加と地域連携による国土づくり - （4つの戦略） 1 多自然居住地域（小都市、農山漁村、中山間地域等）の創造 2 大都市のリノベーション （大都市空間の修復、更新、有効活用） 3 地域連携軸（軸状に連なる地域連携のまとまり）の展開 4 広域国際交流圏（世界的な交流機能を有する圏域）の形成

京都府総合開発計画

名称	第4次京都府総合開発計画	新京都府総合計画
副題	京都府民 21世紀への設計図	
キャッチフレーズ	真の豊かさと均衡ある発展をめざして	むすびあい、ともにひらく新世紀・京都
策定期期	平成2年1月	平成13年1月
中心となる考え方	・一極集中構造を是正し、府域全体の均衡ある発展を目指す ・公平・公正で豊かさの実感できる京都府社会を構築すること	・府民の自助・自立や府民・地域の自主性・主体性をいかした地域づくりを尊重し、府民の府政への参加・協働のもとに魅力ある京都府社会を築いていくこと ・4府総までの成果をさらにいかしていくこと
計画の課題施策展開等	<基本的課題> ・府域の多極構造の実現 ・次の時代を先取りする産業構造の確立 ・豊かさを実感できる社会 ・生活環境の実現 ・健やかで充実した長寿社会の創造 ・新しい京都文化の創造と発信 ・京都を支える人づくり ・個人の尊厳と人権が尊重される社会の実現 <課題別施策展開> ・未来を開く生活と産業の基盤づくり ・活力ある地域経済の確立 ・健やかでゆとりある生活の実現 ・世界に通じる京都文化の創造と心豊か「ひと」づくり	<京都府のめざす将来像> 1 一人ひとりがいきいきと暮らせる社会 2 人と自然が共生する循環型社会 3 文化・学術を創造し、世界に発信する社会 4 たくましい地域経済のもとで持続可能な発展をめざす社会 5 豊かな社会基盤が支える快適でうるおいある社会 <基本計画（施策の体系）> 1 いきいきと生きがいを持って暮らせる社会づくり 2 明るく健やかな健康福祉社会の確立 3 人と自然が共生し、文化がいきづく京都府づくり 4 たくましい地域経済と安定して働ける社会の確立 5 生活と産業を支える基盤の整備
圏域（丹後地域（1市10町））の将来像		自然と歴史をいかしたやすらぎ、ふれあい交流圏の形成

広域圏計画

第2次丹後地区ふるさと市町村圏計画（平成12年3月）	
対象地域	丹後地域（宮津市、加悦町、岩滝町、伊根町、野田川町、峰山町、大宮町、網野町、丹後町、弥栄町、久美浜町）
主要課題	<p>圏域の現状と課題</p> <p>地域環境の変化（新たなプロジェクトの進捗度の勢い低下、織物業の構造不況への対応、産業構造変革）</p> <p>生活環境の変化（生活・文化の重視、圏域内外の交流の促進、魅力ある都市機能の集積）</p> <p>経済環境の変化（産業動向、社会的課題への対応、人材育成、情報発信力の強化等）</p> <p>地域文化の確立</p> <p>広域行政への対応</p>
将来像	<p>圏域の将来像</p> <p>「海と山野が織りなす活力ある交流ゾーン“丹後”」</p>
基本目標	<p>圏域の発展方向</p> <p>「人・モノ・情報の交流ゾーン」の実現</p> <p>「自然環境立地型の産業交流ゾーン」の実現</p> <p>「四季型・ネットワーク型集客交流ゾーン」の実現</p> <p>「多自然居住型交流ゾーン」の実現</p>

### 3 . 6 町合併の必要性

市町村は、住民に最も身近で基礎的な自治体として、これまでも教育、社会福祉、消防等、住民に密着したサービスの提供や地域の特色を活かしたまちづくりなどについて、重要な役割を果たしてきたところであるが、市町村の区域・規模は、普遍ではなく、実際、現在の市町村のほとんどが、「明治の大合併」、「昭和の大合併」を経て、各時代の社会環境・ニーズの変化・要請に応じて規模を拡大してきている。

今日の市町村を取り巻く情勢は厳しく、右肩上がりの人口や経済成長が基調であった時代の終焉、国・地方を通じての厳しい財政状況の中にあって、地方分権の推進、少子・高齢化の急速な進行、その他住民ニーズの多様化・高度化に適切に対応しながら、住民サービスの維持・向上を図り、まちの活力を維持・強化していける都市づくりが求められている。

特に、人口規模の小さい市町村においては、総じて人口減少率や高齢化率が高く、産業等の財政基盤が弱い傾向にあり、このまま推移すれば必要な住民サービスの維持、向上が困難となることも予想されている。

また、介護保険制度の施行やごみ処理の問題など広域的対応が従来にも増して求められて来ている状況にある。

このように市町村を取り巻く環境が大きく変わりつつある中、地域の一体的な整備、社会福祉等の身近な行政サービスの充実等、将来にわたる地域全体の持続的な発展を確保するために、地域の人的・自然資源・公共施設等を有効活用し、地域の自然特性を最大限活かしながら、自主・自立と自己責任によるまちづくりを簡素で効率的な行政体制で行っていくことが求められており、その手法として市町村合併は地方分権推進委員会の意見（平成12年11月28日）にもあるように、喫緊に検討すべき課題である。

以上が、全国的な市町村を取り巻く状況であるが、この状況は丹後6町においても同様であり、これを整理すると次のようになる。

#### (1) 暮らしやすい地域づくりにおける市町村の役割強化

##### 生活圏の拡大への対応

交通機関・ネットワークの発達やモータリゼーションの進展に伴い、住民の日常生活圏はますます増大しており、丹後6町においても、2-11~2

- 16にあるように通勤・通学、買物や通院など、この地域において日常生活におけるつながりは、歴史的にも深い。町の区域界にとらわれない公共施設の柔軟な利用のように、広域的な視点に立ったまちづくりの推進・一体的なまちづくりが課題となっている。

### 少子・高齢化への対応

本格的な少子・高齢化が急速に進み、今後、人口、とりわけ生産年齢人口が減少すると見込まれることにより、社会構造は大きな転換期を迎えようとしている。

丹後6町においても、人口は減少傾向を示し、少子化傾向とともに高齢化率も高くなっている中で、雇用の場や産業の活性化とともに「子育て支援体制等の充実」・「福祉施設、体制の充実」・「保健・医療施設、体制の強化」等の暮らしやすい地域づくりの視点からの施策強化が強く求められている。（住民意識調査結果による（3-5）参照）

このために必要となる行政経費を負担する納税者（生産人口）の減少と行政サービス需要の増加というアンバランスが予想される中、共通する地域課題に効果的効率的に対応していくことが喫緊の現実的課題となっている。

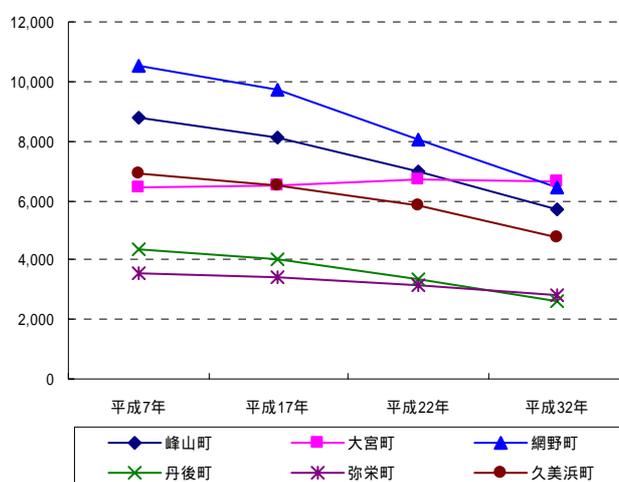
<将来の高齢化の予測>

町 名			実績値(人)		推計値(人)	
			平成7年 (1995)	平成12年 (2000)	平成22年 (2010)	平成32年 (2020)
峰山町	0～14才	人口	2,456	2,251	1,889	1,450
		構成比	17.5	16.6	15.3	13.5
	15～64才	人口	8,775	8,109	6,955	5,697
		構成比	62.3	59.8	56.1	52.9
	65才～	人口	2,795	3,204	3,543	3,618
		構成比	19.9	23.6	28.6	33.6
大宮町	0～14才	人口	1,871	1,909	2,006	2,115
		構成比	18.0	17.7	17.6	17.9
	15～64才	人口	6,440	6,536	6,690	6,659
		構成比	61.8	60.5	58.6	56.3
	65才～	人口	2,105	2,360	2,729	3,048
		構成比	20.2	21.8	23.9	25.8
網野町	0～14才	人口	2,906	2,590	2,221	1,776
		構成比	17.4	16.1	15.4	14.2
	15～64才	人口	10,499	9,730	8,042	6,405
		構成比	62.9	60.6	55.6	51.1
	65才～	人口	3,291	3,736	4,204	4,348
		構成比	19.7	23.3	29.1	34.7
丹後町	0～14才	人口	1,316	1,089	828	770
		構成比	17.3	15.2	13.2	14.1
	15～64才	人口	4,337	4,020	3,351	2,621
		構成比	57.0	56.1	53.4	48.1
	65才～	人口	1,954	2,055	2,099	2,057
		構成比	25.9	28.7	33.4	37.8
弥栄町	0～14才	人口	1,112	1,037	891	819
		構成比	18.2	16.9	15.0	14.4
	15～64才	人口	3,576	3,428	3,132	2,816
		構成比	58.4	55.9	52.6	49.6
	65才～	人口	1,437	1,667	1,930	2,047
		構成比	23.5	27.2	32.4	36.0
久美浜町	0～14才	人口	2,114	1,770	1,489	1,499
		構成比	17.1	14.9	13.6	15.0
	15～64才	人口	6,910	6,509	5,851	4,763
		構成比	56.0	54.9	53.5	47.7
	65才～	人口	3,314	3,578	3,592	3,717
		構成比	26.9	30.2	32.9	37.2
合 計	0～14才	人口	11,775	10,646	9,334	8,431
		構成比	17.5	16.2	15.2	15.0
	15～64才	人口	40,537	38,332	34,020	28,961
		構成比	60.3	58.5	55.4	51.5
	65才～	人口	14,896	16,600	18,098	18,834
		構成比	22.2	25.3	29.4	33.5

<生産年齢人口(15歳～64歳)の予測>

(単位:人)

町 名	平成7年	平成17年	平成22年	平成32年
峰山町	8,775	8,109	6,955	5,697
大宮町	6,440	6,536	6,690	6,659
網野町	10,499	9,730	8,042	6,405
丹後町	4,337	4,020	3,351	2,621
弥栄町	3,576	3,428	3,132	2,816
久美浜町	6,910	6,509	5,851	4,763
合 計	40,537	38,332	34,021	28,961



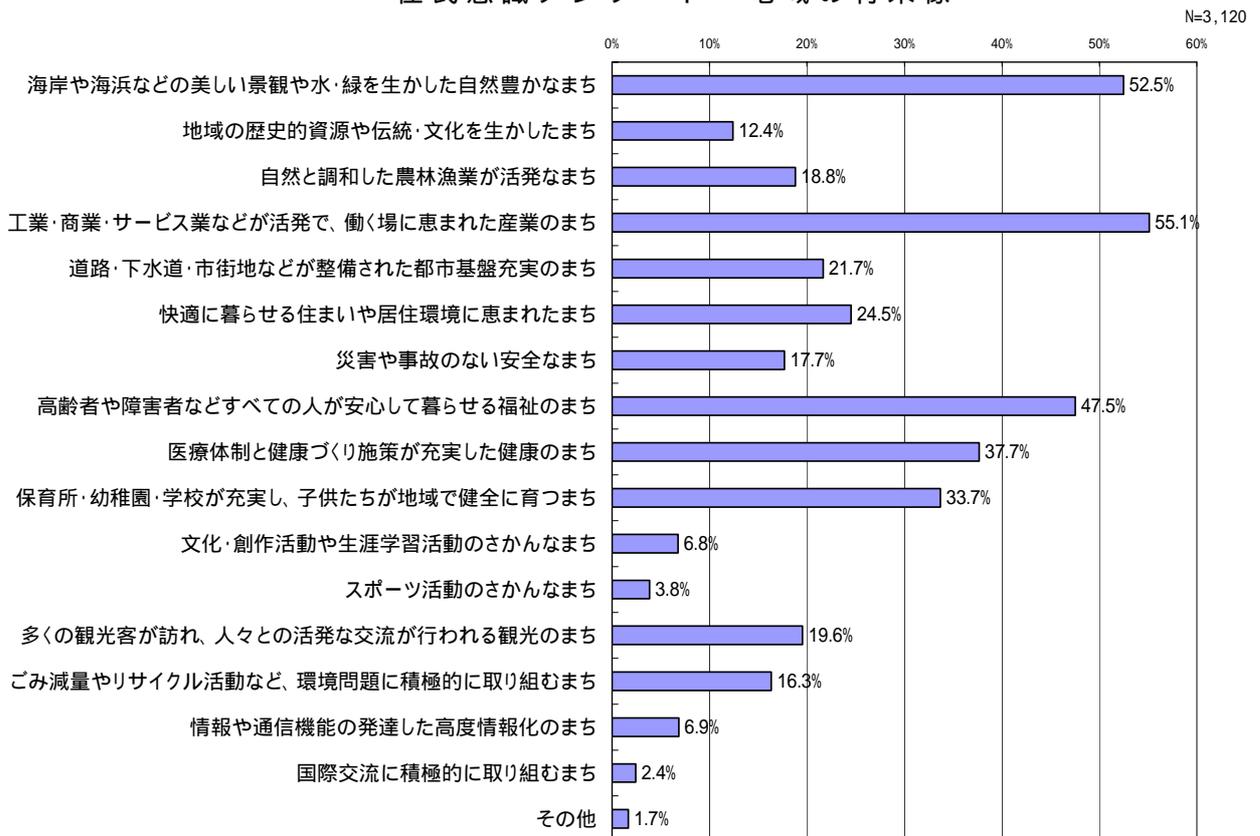
## 多様化する住民ニーズへの対応

住民の価値観・ニーズは多様化しており、また、環境問題・介護、その他の様々な行政課題等に対して、市町村行政が適切に応えていけるような体制づくり・施策の強化を進めていく必要性が高まっている。

丹後6町においては、住民意識調査結果にも表れているように、自然環境を活かしたまちづくり、産業振興や新たな雇用創出への一層の取組強化が大きな課題であり、また、将来の地域間競争を考えると、高度情報社会、環境対策、教育等の様々な面に留意しながら、いかに魅力ある個性的な取組を行っていくかが重要である。

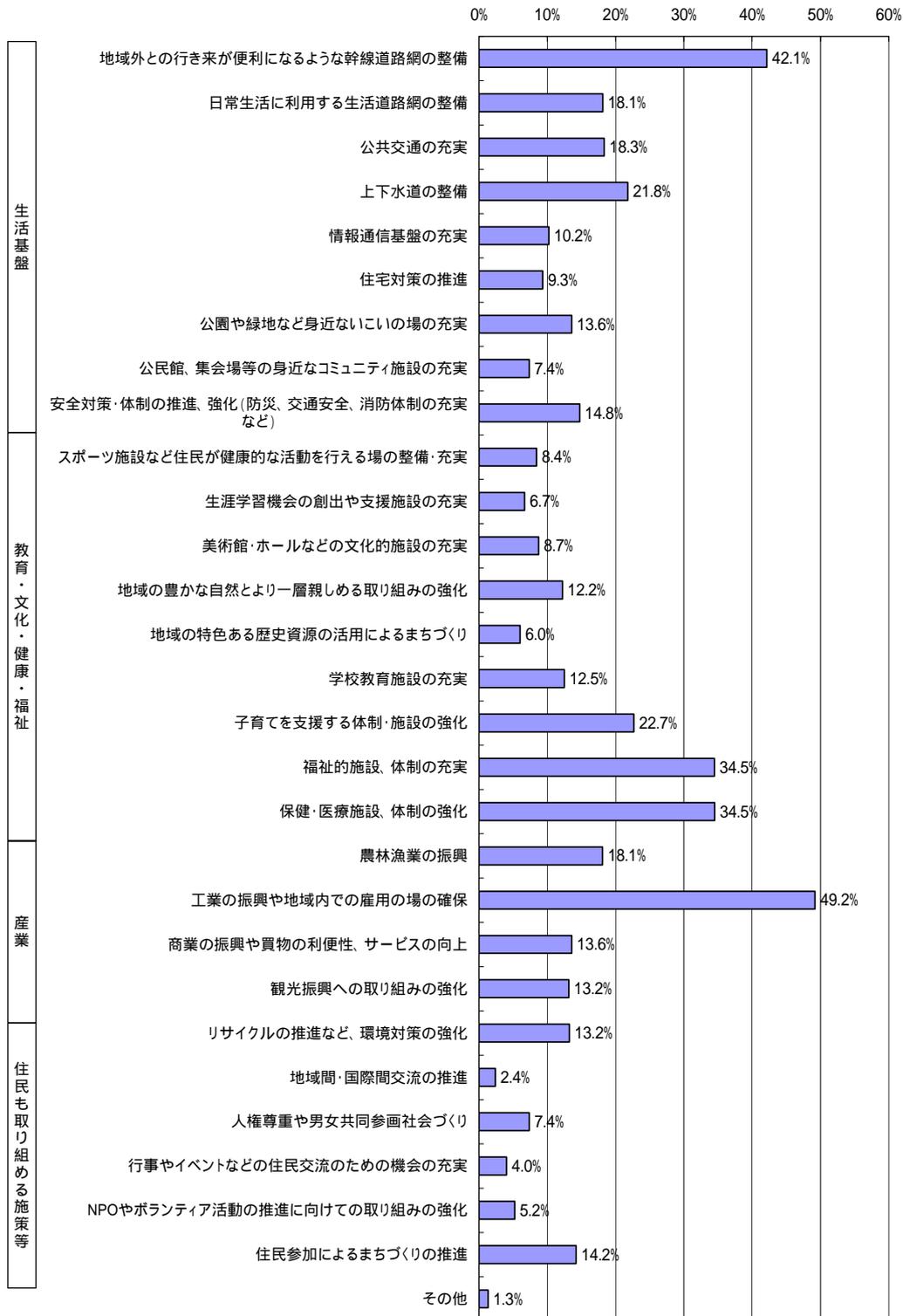
このような課題にそれぞれの町が単独で対応するには限界があり、人的・財政的な対応を可能とし、積極的な役割を果たすための新しい仕組みが必要となっている。

住民意識アンケート 地域の将来像



# 住民意識調査 将来望まれる施策

N=2,553



## ( 2 ) 地域の活力の向上と市町村の役割

人口減少が見込まれる状況の中、地域の活力を維持・強化していくためには、「未来を担う人づくり」とともに、「まちのにぎわい」が重要である。

そのためには、「( 地域内外の ) 交流人口」が大きな鍵をにぎっており、交流の増大・活発化が強く望まれる。

こうした「交流」を活性化するためには、丹後 6 町が地域資源を共有し、積極的に活用することや、多彩な人材・アイデアを共有することにより、広域的に一体となって戦略的にテーマに取り組んで行くことが大変大きなメリットを生み出すと考えられる。

こうした取組を行うに当たっては、合併に伴う新市の誕生が、まちのイメージアップ効果にもつながり、加えて、広域的・一体的な取組の進展により、地域活力の向上につながることを期待される。

## ( 3 ) 地方分権で高まる市町村の役割強化

個性豊かで活力に満ちた地域社会を目指す分権社会において、地方分権の推進主体である市町村の役割は、一層重要となってきた。

すなわち、地方分権の推進は、住民に身近な行政に対して国や府県から、権限の委譲が大幅に進むため、町に「自己企画・決定・責任」能力が強く求められることになり、分権型社会においては、町の人的・財政的能力の違いが、地域住民への行政サービスの差や地域振興、活性化などに直接的に影響することが予想される。

このため、住民ニーズ、地域特性、時代の変化に応じたまちづくりを適切に進めていく「主体性」や、町財政基盤の改善や社会経済環境等の変化に強い「自立( 律 ) 性」が重要であり、新たな行政サービスへの対応も含めて、従来のように国や府に依存して事務を処理するのではなく、自ら政策を企画立案し、地域に説明し、実施することが求められている。

こうした地方分権の推進に適切に対応し、自主性・自己責任・自立( 律 ) 性ある強固な行政推進体制を確立していくためには、権限移譲に対応したより有能な職員の確保、専門的人材の育成などを進めていくとともに、簡素で効率的な行政運営を図っていくことが必要で、現在の町の体制のままでは対応が厳しい状況にある。

#### (4) 行財政の効率化に対する市町村の積極的な取組

##### 厳しい財政状況への対応

国、地方を合わせた長期債務残高は、平成 13 年度末で 675 兆円（国民 1 人当たり約 530 万円）に達する見込みであるなど極めて厳しい状況にある。

このような状況の中、地方交付税制度の見直しが論議されるなど、地方自治体はさらに厳しい財政運営を強いられることは必至である。また、地方分権の進展による市町村の住民サービス向上への取組などにおいて、自立と自己責任による行政運営が求められる中で、将来的には小規模市町村ほど厳しい財政運営を迫られることが予想される。

丹後 6 町においては、その財源が国や府からの交付金や補助金に依存する割合が高く、自主財源は 18～32%となっている。（平成 12 年度）

また、地方債残高（平成 13 年度からは、地方交付税の原資の不足分も地方自治体が自ら借り入れることとなっており、さらに増加が予想される。）は各町ともに増加し、一方、貯金である積立金残高は近年減少の傾向を示している。また、公債費、扶助費、補助費等の経常的経費が、近年高まる状況にあり、新しい行政ニーズに対する財政的余力が減少している。

このように 6 町の財政は、どの切り口から見ても極めて厳しい状況にある。現状の住民サービスを維持することでさえ困難な状況下で、更に、将来の環境問題や住民ニーズの変化に対応して、新たに適切な住民サービスを向上させていくことは至難と言わざるを得ない。合併を活かして、限られた財源の中で、より効率的な財政運営を確立するためには、人件費など管理経費の削減等による経費の効率化を図るなど、行財政基盤の強化が必要である。

##### 納税者としての住民の意識への対応

厳しい地方財政状況の下、地方税の充実確保を図っていくうえで、納税者、生活者である住民の幅広い理解を得なければならない。そのためには、民間企業等において雇用調整等の経営合理化策等が講じられている社会経済情勢の下で、現行の地方行財政運営の仕組みや公務員に対して住民の中には厳しい意見もあることなどに鑑み、徹底した行財政改革を実施するためにも、市町村合併を強力に推進する必要がある。

## 新市の将来像（素案）

参考（キャッチフレーズ・素案）

（注）新市建設の基本方針として記載されるもの

## 丹後 6 町における現状の課題

### 若年層を中心とする定住魅力の強化

- ・ 地域内人口（特に若年層）の流出の抑制
- ・ 若年層にとって魅力ある環境づくりによる人口バランスの改善  
（雇用の場づくり、商業施設の充実）  
（教育環境・子育て環境等の充実、等）

### 福祉長寿高齢社会への適切な対応の強化

- ・ 福祉サービスの強化
- ・ 健康を支える医療・保健サービスの強化
- ・ 心豊かに住み続けられる、支えあう環境づくり

### 産業基盤の強化

- ・ 既存産業の付加価値化による競争力・魅力の強化
- ・ 農林漁業の振興と、後継者の育成
- ・ 新たな産業や雇用機会の創出

### 自然等の地域資源の多面的な活用の促進

- ・ 1次産業・観光振興等への積極的な活用
- ・ 地域の広域的な魅力・ブランド力の強化への多面的な活用の促進
- ・ 環境問題への対応

### 交通利便性の強化

- ・ 大都市等への広域幹線道路基盤の強化
- ・ 地域内の円滑な移動を支える幹線道路網の強化
- ・ 公共交通サービス網の強化

### 生活環境・基盤の向上

- ・ 地域バランスに配慮した生活環境・基盤の向上  
（上下水道、文化・スポーツ施設、身近な憩いの場等）

## 新市の将来像

### 社会的環境の変化を踏まえた まちづくりの基本的な視点

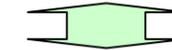
- ・ 地方分権化に対応できる自立したまちづくりの推進
- ・ 不透明な社会経済環境の変化や、都市間競争の増大に柔軟に対応できるまちづくりの推進
- ・ 住民主役のまちづくりの推進

### 合併により期待される効果の積極的な活用

- ・ 拡大する財政・人口・資源を活かし、地域全体の広域的魅力を強化・創造する施策を重点的に行う
- ・ 各町間の施策調整により、新市全体への波及効果の高い施策の推進や重複投資の抑制を図り、広域的・総合的視点に立ったまちづくりを図る
- ・ 各町の既存の公共施設や地域資源を活かし、多面的利用や相互利用の促進等を図ることにより、効率的な行政サービスの強化や活性化を図る

### 新市の将来像

人・自然・歴史のふれあいから生まれる輝き  
のびやか都市 . . .



### 新市のまちづくりの基本理念

#### 地域の豊かな自然の恵みと住民の豊かさが融合するまちづくり

- ・ 地域の特色である「自然の恵み」（自然・歴史・1次産業資源等）を、地域の誇り・宝として、より良いかたちで次世代に引き継いでいきます。
- ・ 観光交流振興、1次産業振興、生涯学習振興、文化創造活動の強化、身近な生活環境のアメニティ化、健康・教育等への多面的な活用促進、新たな自然資源等の利活用への取り組み強化など、住民生活の豊かさに、まちの魅力・個性づくりに、積極的に活かしていくようなまちづくりをめざします。

#### ひとの内発力を育てる創造的文化的なまちづくり

- ・ 企業・行政を含めた「住民」自らが、自主的に「健康づくり」や「創造的な文化・産業活動」等を育てていくような、「創造的で文化的な、内発的な都市づくり」、「環境変化に強い住民の活力あふれるまちづくり」をめざしていきます。
- ・ 創造性・自主性・個性等を尊重しつつ、教育・育児環境の充実や、企業育成の支援など、未来の地域を担う豊かな人材が育っていくようなまちづくりをめざします。

#### 地域のにぎわいや思いやりを育て、未来に飛躍する交流盛んなまちづくり

- ・ 合併により広がる活用可能な地域のエネルギー（公共施設、地域資源、企業、ひと、知恵）を結集し、「個」の特色を活かしながら、それらの「連携」と「交流」を活性化することにより、活力あふれる相乗効果の高いまちづくりを進めていきます。
- ・ 交通・情報基盤など多様な交流基盤・環境づくりと併せて、「人と人、人と地域、地方と大都市（海外）との交流促進」を図り、「地域（資源やひと）への愛着」、「支えあうやさしさと思いやり」、「生きがいや刺激」、「にぎわい」、「新たな文化・知恵」等を育て、地域文化の発信力を高めていくようなまちづくりをめざします。

## 新市の将来像（キャッチフレーズ）案について

### 【新市のまちづくりの基本理念】

地域の豊かな自然の恵みと住民の豊かさが融合するまちづくり  
ひとの内発力を育てる創造的文化的なまちづくり  
地域のにぎわいや思いやりを育て、未来に飛躍する交流盛んなまちづくり

### 【新市の将来像（案）】

案 人・自然・歴史のふれあいから生まれる輝き  
のびやか創造元気都市

案 人・自然・歴史のふれあいから生まれる感動とやすらぎ  
生活にぎわい創造都市

案 人・自然・歴史が共鳴し 未来に輝きを放つまち

案 みのりに輝く笑顔 夢追う出会い 美・浪漫あふれるまち

案 大地の恵み 夢追う笑顔 時かける浪漫  
親自然いきいき都市

案 大地のみのり やさしい潮の薫り 歴史ロマンの織りなす  
ひといきいきマイタウン

案 自然の恵みとともに創る みんなの笑顔 輝く未来  
大好きマイタウン

協議第2号

新市建設計画の財政計画の策定の考え方について

新市建設計画の財政計画の策定の考え方について、別紙のとおり協議する。